添付資料 6

鎌倉市名越中継施設整備発注支援等業務委託

（アスベスト調査業務）

報告書

令和６年３月

中外テクノス株式会社

目次

１　調査概要 1

⑴　調査件名 1
⑵　調査場所 1
⑶　調査目的 1
⑷　調査方法 1
⑸　調査対象 2
⑹　調査工程 5
⑺　実施体制 5
⑻　調査立会者 5

２　調査結果 6

⑴　目視確認できなかった建材 6
⑵　分析調査結果 6

３　総括 9

別添１「資格証」 11

別添２「アスベスト含有建材範囲図」 15

別添３「分析結果報告書」 75

1　調査概要

⑴　調査件名

鎌倉市名越中継施設整備発注支援等業務委託（アスベスト調査業務）

⑵　調査場所

神奈川県鎌倉市大町５丁目 11 番 16 号（名越クリーンセンター）

⑶　調査目的

大気汚染防止法第 18 条の 15、石綿障害予防規則第３条第１項及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例第 52 条の８に基づく建築物等の解体・改修時の事前調査の参考とするため、調査対象施設における石綿等の存在状況を把握することを目的とした。

⑷　調査方法

調査対象施設について、「書面調査」、「現地調査」及び「分析調査」を実施し、石綿を含む建材を抽出・整理した。

建築物石綿含有建材調査者講習テキスト第２版（一般財団法人日本環境衛生センター）を参考にして、調査及び結果のとりまとめを行った。

ア　書面調査

表 1-1 に示す設計図書を参照し、調査対象施設において使用されている建材及び部屋等を確認した。

表 1-1　設計図書

施設名	設計図書名（作成年）
工場棟（既存部） 管理棟 第１計量棟	鎌倉市名越清掃工場建設工事　竣工図　建築意匠図（1980）

イ　現地調査

調査対象施設において、現在使用されている建材を調査が可能な範囲で目視により確認した。

レベル３の建材については、使用量や石綿を含む可能性等を勘案し、分析調査の対象とするか若しくは「みなしアスベスト含有」とすることを判断した。

ウ　分析調査

レベル１及び２の建材については、必要量を採取し、分析試料とした。

レベル３の建材については、使用量や石綿を含む可能性等を勘案し、分析調査の対象とした場合は、必要量を採取した。

調査対象施設で採取した建材は JIS A 1481-1（2016）に準じて分析した。

分析結果の詳細、採取箇所図及び写真を別添３「分析結果報告書」に示す。

⑸　調査対象

ア　調査対象施設

調査対象施設の概要を表 1-2 に、配置図を図 1-1 に示す。

なお、調査対象施設内には持込みごみ受入れ施設が含まれるが、建設着工年は平成 28 年（2016 年）であり、石綿含有建材の使用が全面禁止された平成 18 年（2006 年）９月１日以降であることから、石綿含有建材が使用されていないことが明らかなため、調査対象外とした。

表 1-2　調査対象施設の概要

建物番号	施設名	構造	竣工年
1	工場棟（増設部）	Ｓ造　地上３階	平成 14 年 (2002 年)
2	工場棟（既存部）	ＲＣ造、一部Ｓ造　地下１階、地上５階※	昭和 57 年 (1982 年)
3	管理棟	ＲＣ造　地上４階	昭和 57 年 (1982 年)
4	第１計量棟	Ｓ造　地上１階	昭和 57 年 (1982 年)
5	危険物庫	ＲＣ造　地上１階	昭和 57 年 (1982 年)
6	煙突棟	ＲＣ造	昭和 57 年 (1982 年)

※クレーンガーダー階を５階とみなした場合の階数を示した。

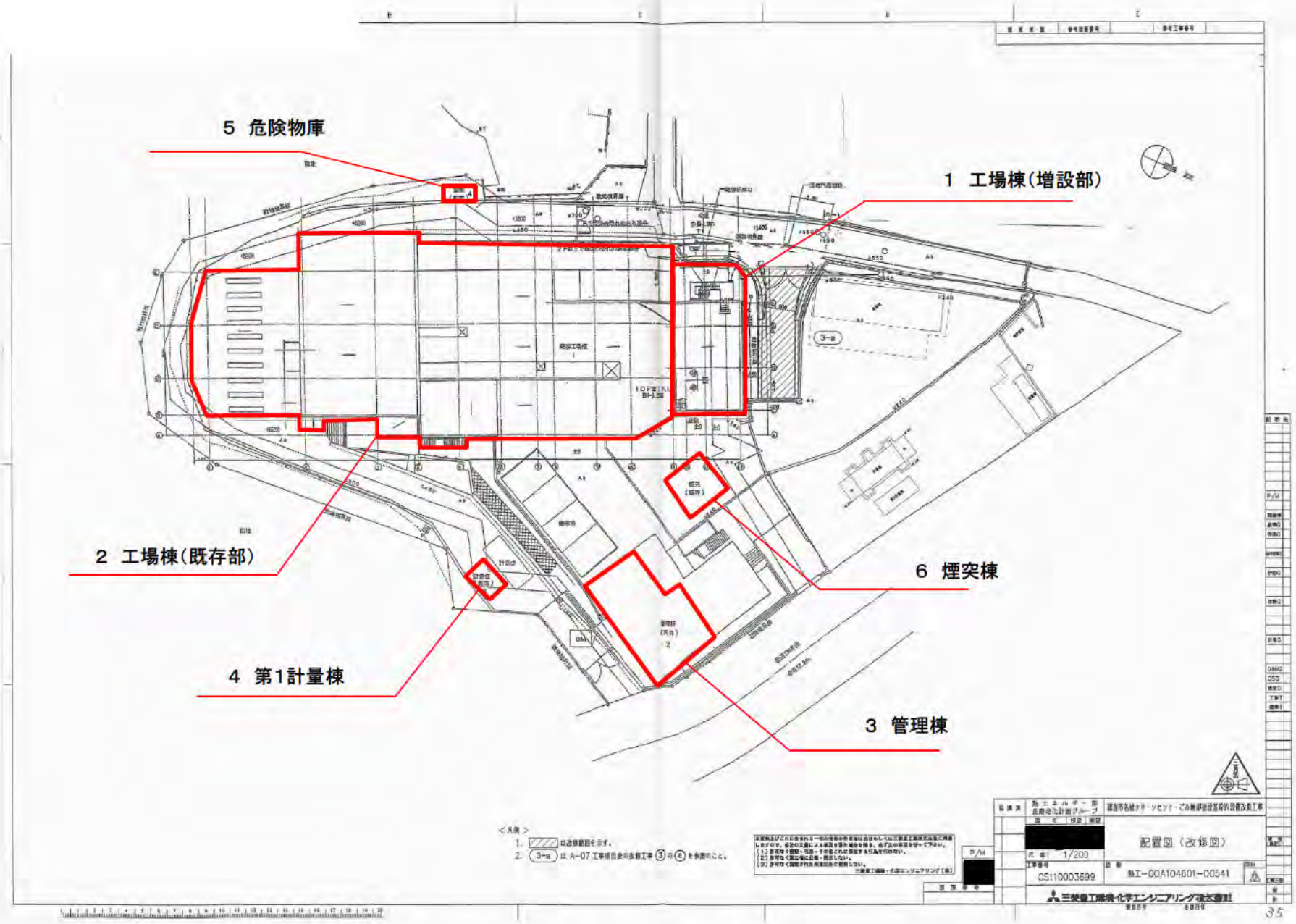


図 1-1　調査対象施設の配置図

イ　調査対象建材

調査対象として想定した主な建材を表 1-3 に示す。

表 1-3　調査対象建材

区　分	名　称	レベル（発じん性）
石綿吹付材	吹付石綿 石綿含有吹付けロックウール（乾式・湿式） 石綿含有吹付けバーミキュライト 石綿含有吹付けパーライト	レベル１ （著しく高い）
石綿耐火被覆材	けい酸カルシウム板第２種 貫通部充填剤	レベル２ （高い）
石綿断熱材	屋根用折板裏石綿断熱材 煙突用石綿断熱材	
石綿保温材	配管エルボ部保温材	
その他石綿含有成形材 （接着剤含む）	スレート（波板・ボード） 屋根用化粧スレート サイディング 石綿セメント板 けい酸カルシウム板第１種 パルプセメント板 スラグ石膏板 押出成形品 ロックウール吸音天井板 石膏ボード 石綿円筒 ビニル床タイル ビニル床シート フランジパッキン 耐熱シール材 延焼防止塗料 フリーアクセスフロア その他石綿含有成形板	レベル３ （比較的低い）
仕上塗材 （下地調整材含む）	吹付タイル リシン吹付	

「建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」に基づく石綿飛散防止対策徹底マニュアル[2.20 版]　（厚生労働省、平成 30 年 3 月）　P5、「表－1　レベル分類」を一部抜粋・改変した。

⑹　調査工程

調査工程を表 1-4 に示す。

表 1-4　調査工程

項　目	実施期間
書面調査	令和４年(2022 年)8 月 31 日～9 月 2 日
現地調査	令和４年(2022 年)8 月 30 日、12 月 5 日
試料採取	令和４年(2022 年)10 月 12 日、12 月 5 日
分析調査	令和４年(2022 年)10 月 14 日～11 月 24 日、12 月 6 日～12 月 9 日

⑺　実施体制

実施体制を表 1-5 に示す。

表 1-5　調査実施体制

区　分	名称・氏名	備　考
調査 実施機関	中外テクノス株式会社 関東環境技術センター	住所：千葉県千葉市緑区大野台 2-2-16 TEL：043-295-1105 作業環境測定機関　登録番号　12-7 濃度計量証明事業　登録番号　千葉県　第 521 号 労働保険番号：34-1-01-332625-000
調査 責任者	[redacted]	建築物石綿含有建材調査者（[redacted]号）※1※3
現地調査	[redacted] [redacted]（補助）	建築物石綿含有建材調査者（[redacted]号）※1※3 建築物石綿含有建材調査者（[redacted]号）※1※3
分析調査	[redacted]	石綿分析技術評価事業（JIS A 1481-1,5 Ａランク※2※3）

※１　講習実施機関の名称：一般財団法人　日本環境衛生センター

※２　講習実施機関の名称：公益社団法人　日本作業環境測定協会

※３　別添１に資格証を添付した。

⑻　調査立会者

現地調査　　星川　浩　（鎌倉市）

２　調査結果

⑴　目視確認できなかった建材

設計図書に記載されている建材のうち、目視確認をするには部分的な解体が必要なため、目視確認できなかったものを表 2-1 に示す。こうしたものについては解体工事時に改めて確認することが必要となる可能性がある。

表 2-1　目視確認できなかった建材

部屋名など		部位	建材名
第１計量棟	１Ｆ　第１計量室	天井裏（折板屋根裏）	折板断熱材

⑵　分析調査結果

分析調査による建材のアスベスト含有及びみなしアスベスト含有の判定結果を表 2-2 に示す。

また、アスベスト含有と判定した建材（みなし含有含む）の使用面積等を表 2-3 に、使用範囲を別添２「アスベスト含有建材範囲図」に示す。

表 2-2　アスベスト含有の判定結果

対象施設	No.※1	部屋名など※2		部位	建材・試料名	判定
工場棟（増設部）	1	外部	外壁	壁	吹付タイル	含有
	2	３Ｆ	空気タンク室	梁	吹付け材	不含
	3	３Ｆ	誘引送風機電気室	壁	石膏ボード	不含
	4	２Ｆ	空気圧縮機室	柱	けい酸カルシウム板第２種	不含
	5	１Ｆ	ブロア室	壁	けい酸カルシウム板第２種	不含
	6	１Ｆ	ブロア室	壁	耐熱シール材	不含
	7	１Ｆ	ブロア室	壁	吹付タイル	不含
	8	１Ｆ	受水槽室	設備	ガスケット	含有
	－	３Ｆ	誘引送風機-電気室	天井	化粧石膏ボード	みなし含有
	－	３Ｆ	誘引送風機-電気室	巾木	ソフト巾木	みなし含有
	－	３Ｆ	誘引送風機-電気室	床	ビニル床シート	みなし含有
	－	２Ｆ	空気圧縮機室	壁	けい酸カルシウム板第１種	みなし含有
	－	１Ｆ	受水槽室	設備	たわみ継手	みなし含有
工場棟（既存部）	9	外部	外壁	壁	リシン吹付	不含
	10	外部	ボイラー室　外壁	壁	リシン吹付	含有
	11	外部	ボイラー室	設備	ガスケット	不含
	12	５Ｆ	折板屋根	屋根	折板断熱材	不含
	13	５Ｆ	ゴミピット	壁	フレキシブルボード	含有
	14	４Ｆ	倉庫	天井	木毛セメント板	不含
	15	４Ｆ～２Ｆ	階段室	段裏	リシン吹付	不含
	16	３Ｆ	パッケージルーム	天井	化粧石膏ボード	不含
	17	３Ｆ	ロッカー室	壁	石膏ボード	不含
	18	３Ｆ	１号炉内	壁	キャスタブル	不含
	19	２Ｆ	誘引通風機室屋根	設備	角ダクトパッキン	不含
	20	１Ｆ	受変電室	壁	けい酸カルシウム板第２種	不含
	21	１Ｆ	受変電室	壁	耐熱シール材	不含
	22	１Ｆ	油圧ユニット室、押込送風機室	壁	吹付け材	含有
	23	１Ｆ	油圧ユニット室	設備	配管エルボ保温材	含有
	－	外部	バルコニー	壁	サイディング	みなし含有
	－	４Ｆ	便所	床	ビニル床シート	みなし含有
	－	Ｍ４Ｆ	破砕機操作室	床	ビニル床タイル（水色）	みなし含有
	－	３Ｆ	脱衣室	天井	フレキシブルボード	みなし含有
	－	３Ｆ	和室	天井	化粧石膏ボード（柾目）	みなし含有
	－	３Ｆ	控室	巾木	ソフト巾木（灰）	みなし含有
	－	３Ｆ	控室	床	ビニル床タイル（白）	みなし含有
	－	２Ｆ	便所	天井	けい酸カルシウム板第１種	みなし含有
	－	１Ｆ	灰押出装置室	設備	ガスケット	みなし含有
	－	１Ｆ	誘引送風機室、押込送風機室	設備	たわみ継手	みなし含有
管理棟	24	外部	外壁	壁	吹付タイル	含有
	25	３Ｆ	和室	壁	ジュラク塗＋石膏ボード（２重張）	不含
	26	３Ｆ～２Ｆ	階段室	段裏	リシン吹付	含有
	27	２Ｆ	会議室	天井	化粧石膏ボード	含有
	28	２Ｆ	更衣室	床	塗床	含有
	29	１Ｆ	カッパ置場	天井・壁	リシン吹付	含有
	30	１Ｆ	ロッカー室	設備	配管エルボ保温材	含有
	－	外部	屋上（４Ｆ）	床	シート防水（茶）	みなし含有
	－	外部	屋上（３Ｆ）	床	塗膜防水（灰）	みなし含有
	－	外部	屋上及び２Ｆポーチ	床	アスファルト防水	みなし含有
	－	４Ｆ	福利厚生室	天井	石膏ボード	みなし含有
	－	４Ｆ	福利厚生室	巾木	ソフト巾木（灰）	みなし含有
	－	４Ｆ	福利厚生室	床	ビニル床タイル（青）	みなし含有
	－	４Ｆ	階段室	巾木	ソフト巾木（茶）	みなし含有
	－	３Ｆ	和室	天井	化粧石膏ボード（柾目）	みなし含有
	－	２Ｆ	湯沸室	天井	けい酸カルシウム板第１種	みなし含有
	－	２Ｆ	湯沸室	巾木	ソフト巾木（濃茶）	みなし含有
	－	２Ｆ	湯沸室	床	ビニル床タイル（桃）	みなし含有
	－	２Ｆ	会議室	床	ビニル床タイル（茶）	みなし含有
	－	４Ｆ	階段室	床	ビニル床タイル（赤）	みなし含有
	－	１Ｆ	浴室（脱衣所）	床	ビニル床タイル（白）	みなし含有
第１計量棟	31	外部	外壁	壁	リシン吹付	不含
	32	１Ｆ	第１計量室	天井	化粧石膏ボード	不含
	－	１Ｆ	第１計量室	壁	石膏ボード	みなし含有
危険物庫	33	外部	外壁	壁	リシン吹付	不含
	－	外部	屋根	屋根	波型スレート（小波）	みなし含有
煙突棟	34	内部	１号炉煙突	煙道内壁	ライニング材	不含

※１　数字は分析結果報告書における試料番号を示す。

※２　分析調査対象とした建材については建材を採取した場所を記載し、「みなし含有」とした建材については代表的な使用場所を記載した。

表 2-3　アスベスト含有と判定した建材の使用面積等

対象施設	No.※1	建材名	代表的な使用場所	レベル	使用面積等
工場棟（増設部）	1	吹付タイル	外壁	3	446 m^2
	8	ガスケット	３Ｆ 空気タンク室 １Ｆ 受水槽室、ブロワ室	3	19 箇所
	みなし	化粧石膏ボード	３Ｆ 誘引送風機-電気室 天井	3	35 m^2
	みなし	ソフト巾木	３Ｆ 誘引送風機-電気室	3	2 m^2
	みなし	ビニル床シート	３Ｆ 誘引送風機-電気室	3	13 m^2
	みなし	けい酸カルシウム板第１種	３Ｆ 空気圧縮機室、誘引送風機-電気室、空気タンク室 壁 ２Ｆ 空気圧縮機室、資材置場 壁	3	120 m^2
	みなし	たわみ継手	１Ｆ 受水槽室	3	2 箇所
工場棟（既存部）	10	リシン吹付	外部 ボイラー室 外壁	3	37 m^2
	13	フレキシブルボード	５Ｆ ゴミピット 壁 ４Ｆ 便所 天井 ４Ｆ クレーン操作室、便所、クレーン電気室 壁 ３Ｆ 脱衣室、便所、湯沸室 天井	3	327 m^2
	22	吹付け材	２Ｆ 粗大ゴミ投入室 壁 １Ｆ 破砕機室、油圧ユニット室、押込送風機室、誘引通風機室、誘引通風機室（前室） 壁・梁	1	1,090 m^2
	23	配管エルボ保温材	４Ｆ ２号投入ホッパ付近 ３Ｆ 階段室 １Ｆ 油圧ユニット室、押込送風機室	2	19 箇所
	みなし	サイディング	外部 バルコニー 壁	3	20 m^2
	みなし	ビニル床シート	４Ｆ 便所 ３Ｆ 便所	3	2 m^2
	みなし	ビニル床タイル（水色）	Ｍ４Ｆ 破砕機操作室	3	9 m^2
	みなし	化粧石膏ボード（柾目）	３Ｆ 和室 天井	3	12 m^2
	みなし	ソフト巾木（灰）	４Ｆ クレーン操作室 Ｍ４Ｆ 破砕機操作室 ３Ｆ 控室、パッケージルーム、ロッカー室、湯沸室 ２Ｆ 中央監視室	3	7 m^2
	みなし	ビニル床タイル（白）	３Ｆ 控室、パッケージルーム、ロッカー室、湯沸室 ２Ｆ 中央監視室	3	57 m^2
	みなし	けい酸カルシウム板第１種	２Ｆ 便所 天井	3	6 m^2
	みなし	ガスケット※2	３Ｆ １号炉及び２号炉 ２Ｆ パイプスペース、１号炉及び２号炉 １Ｆ 灰押出装置室	3	127 箇所
	みなし	たわみ継手	５Ｆ～３Ｆ １号炉及び２号炉減温塔 ２Ｆ 誘引通風機室屋根 １Ｆ 誘引送風機室、押込送風機室	3	29 箇所
管理棟	24	吹付タイル	外壁	3	646 m^2
	26、29	リシン吹付	３Ｆ、２Ｆ 階段室 段裏 １Ｆ カッパ置場 天井・壁	3	147 m^2
	27	化粧石膏ボード	２Ｆ 会議室、事務室、更衣室（男子、女子） 天井	3	152 m^2
	28	塗床	２Ｆ 更衣室（男子）	3	16 m^2
	30	配管エルボ保温材	１Ｆ ロッカー室	2	1 箇所
	みなし	シート防水（茶）	外部 屋上（４Ｆ）	3	108 m^2
	みなし	塗膜防水（灰）	外部 屋上（３Ｆ）	3	86 m^2
	みなし	アスファルト防水	外部 屋上（４Ｆ）、屋上（３Ｆ）及び２Ｆポーチ	3	201 m^2
	みなし	石膏ボード	４Ｆ 福利厚生室、階段室、洗濯室、物置 天井 ３Ｆ 食堂、便所、湯沸室 天井	3	234 m^2
	みなし	ソフト巾木（灰）	４Ｆ 福利厚生室、物置 ３Ｆ 食堂、湯沸室 ２Ｆ 更衣室（男子）、会議室 １Ｆ 浴室（脱衣所）	3	8 m^2
	みなし	ビニル床タイル（青）	４Ｆ 福利厚生室、物置	3	70 m^2
	みなし	ソフト巾木（茶）	４Ｆ 階段室	3	4 m^2
	みなし	化粧石膏ボード（柾目）	３Ｆ 和室 天井	3	33 m^2
	みなし	けい酸カルシウム板第１種	２Ｆ 湯沸室 天井	3	7 m^2
	みなし	ソフト巾木（濃茶）	２Ｆ 湯沸室、事務室、更衣室（女子） １Ｆ ロッカールーム、下足置場	3	8 m^2
	みなし	ビニル床タイル（桃）	２Ｆ 湯沸室、事務室、更衣室（女子）	3	118 m^2
	みなし	ビニル床タイル（茶）	３Ｆ 食堂、湯沸室、和室踏込 ２Ｆ 会議室	3	150 m^2
	みなし	ビニル床タイル（赤）	４Ｆ～１Ｆ 階段室	3	53 m^2
	みなし	ビニル床タイル（白）	１Ｆ 浴室（脱衣所）	3	14 m^2
第１計量棟	みなし	石膏ボード	第１計量室 壁	3	40 m^2
危険物庫	みなし	波型スレート（小波）	危険物室 屋根	3	9 m^2

※１　数字は分析結果報告書における試料番号を表す。“みなし”はみなしアスベスト含有と判定したことを表す。

※２　ボイラー室のガスケットについて分析調査を行った結果、アスベスト不含であった。しかし、当該調査対象施設には多数のガスケットが認められ、アスベストを含有する製品がある可能性があると考えられたため、箇所数を示す。

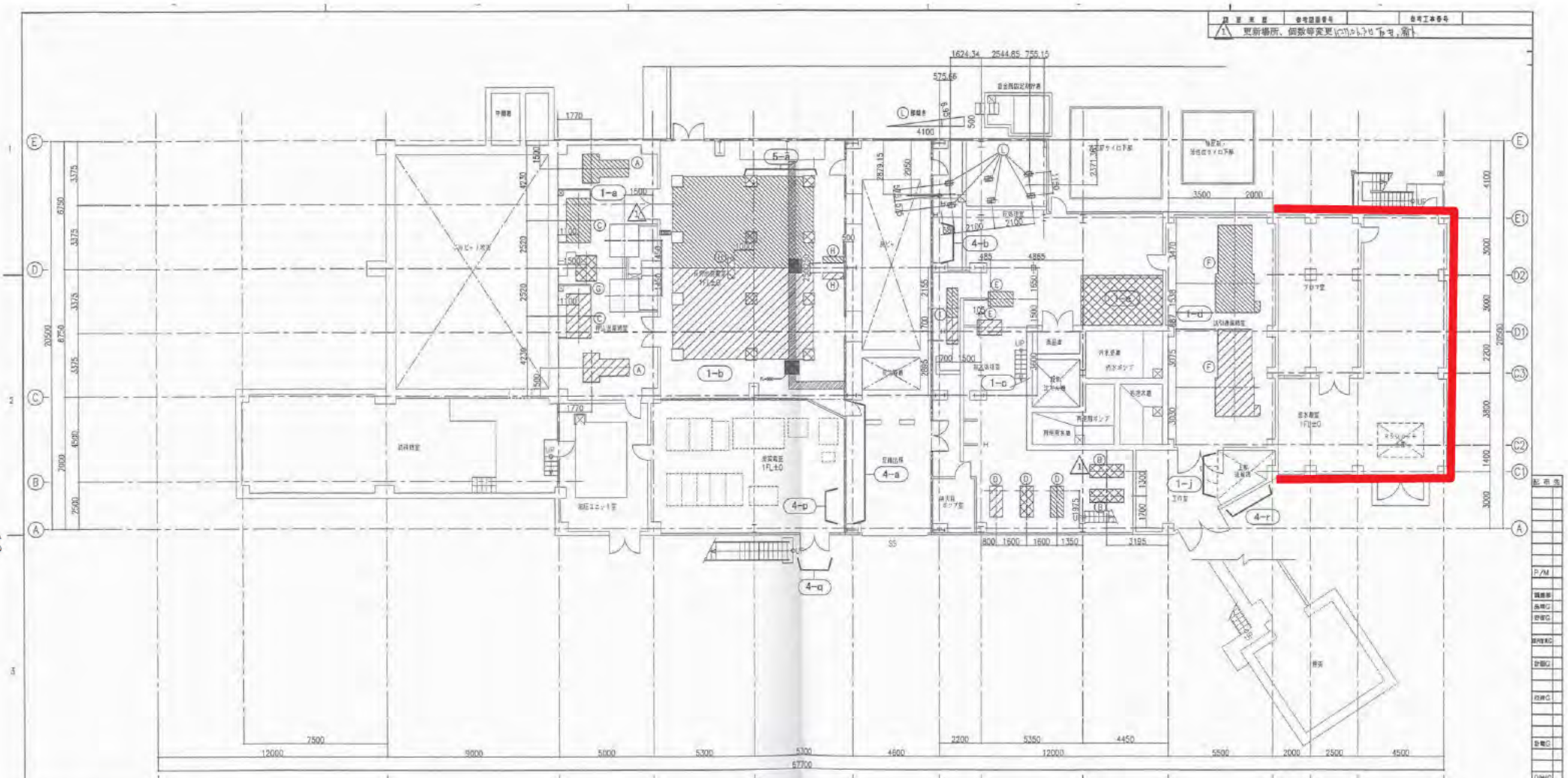
３　総括

本調査・分析の結果、名越クリーンセンターの一部の建材にアスベストが含まれていることを確認した。

なお、本調査結果は、解体工事元請業者が行う事前調査のために提供しなければばらない。

別添２「アスベスト含有建材範囲図」

（赤色で示す）



符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	室名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(雑用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引通風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	階段用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	減温水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

<凡例>

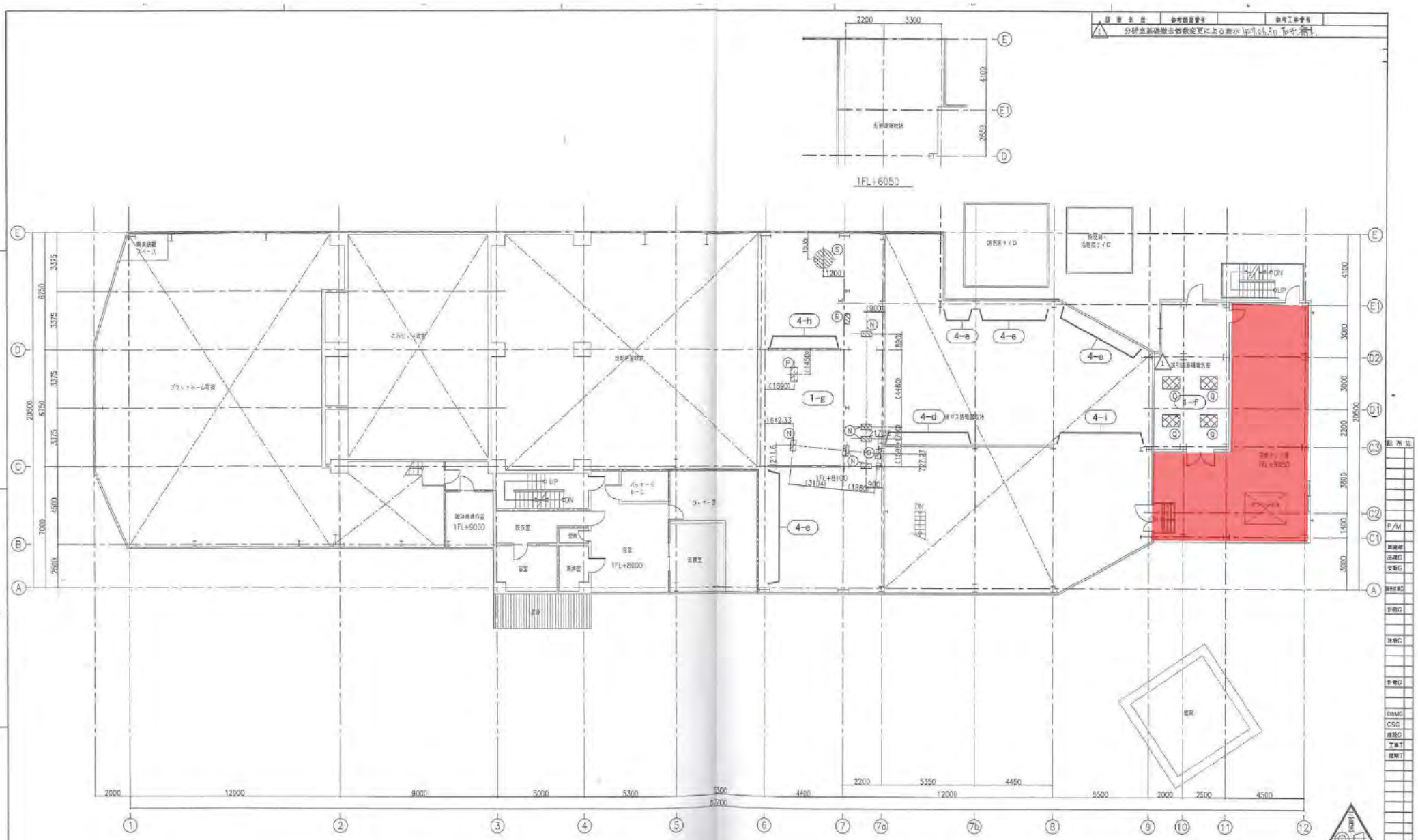
1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▩ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社にあります。当社の文書による承認を得た場合を除き、当社(1)許可なく複製・引用・その他これに関連する行為を(2)許可なく第三者に公開・開示しない。(3)許可なく指定された用途以外に使用しない。

協議先 | 施工ネルギー部 長寿命化計画グループ | 諫早市名護クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事

アスベスト含有建材範囲図
（外壁　吹付タイル）

工場棟（増設部）
1F～3F

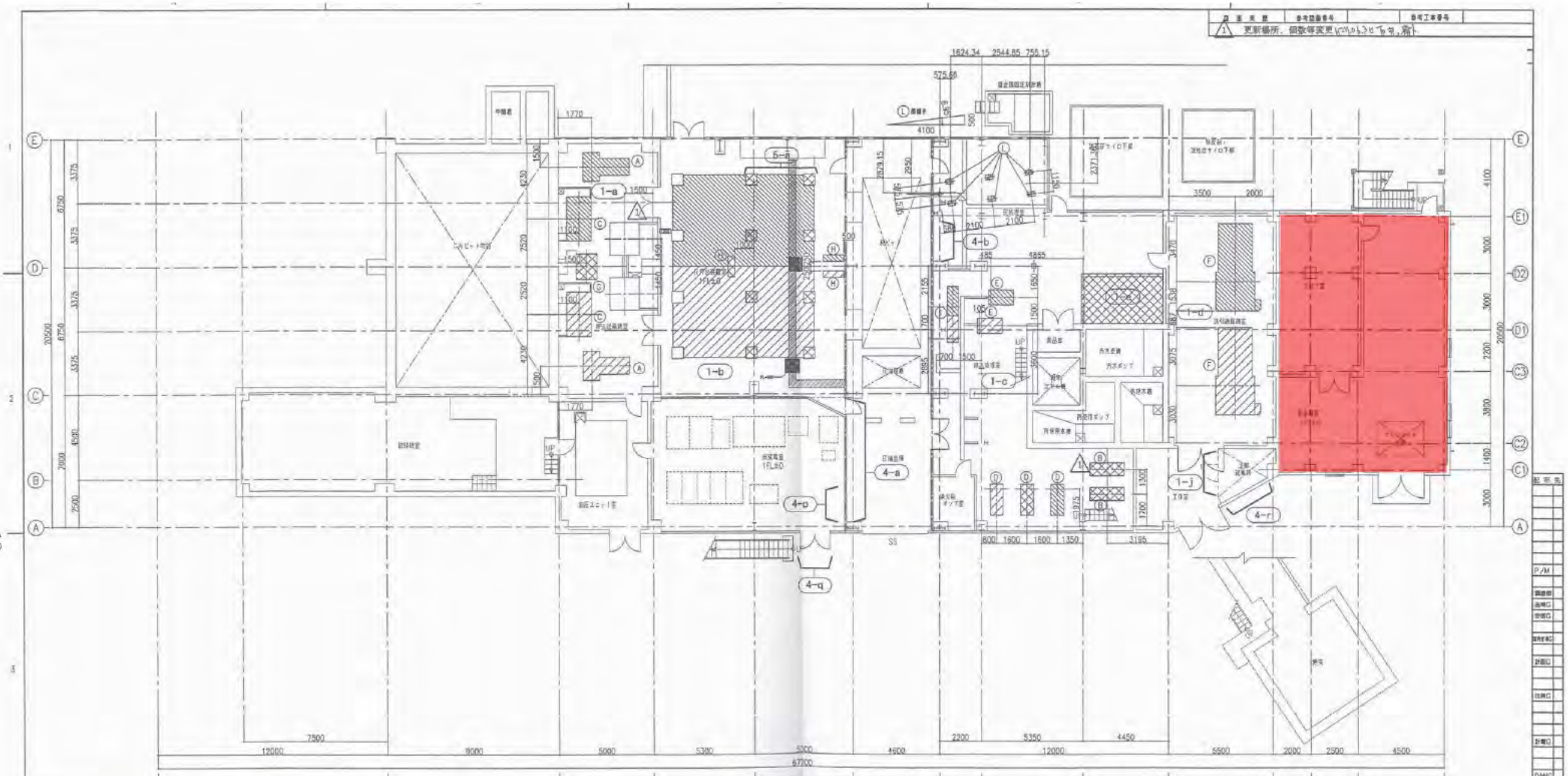


＜凡例＞

1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▨ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-f) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (f) を参照のこと。

アスベスト含有建材範囲図（ガスケット）

工場棟（増設部）3F



符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	名称	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(給用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引通風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	階段用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	純粗水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

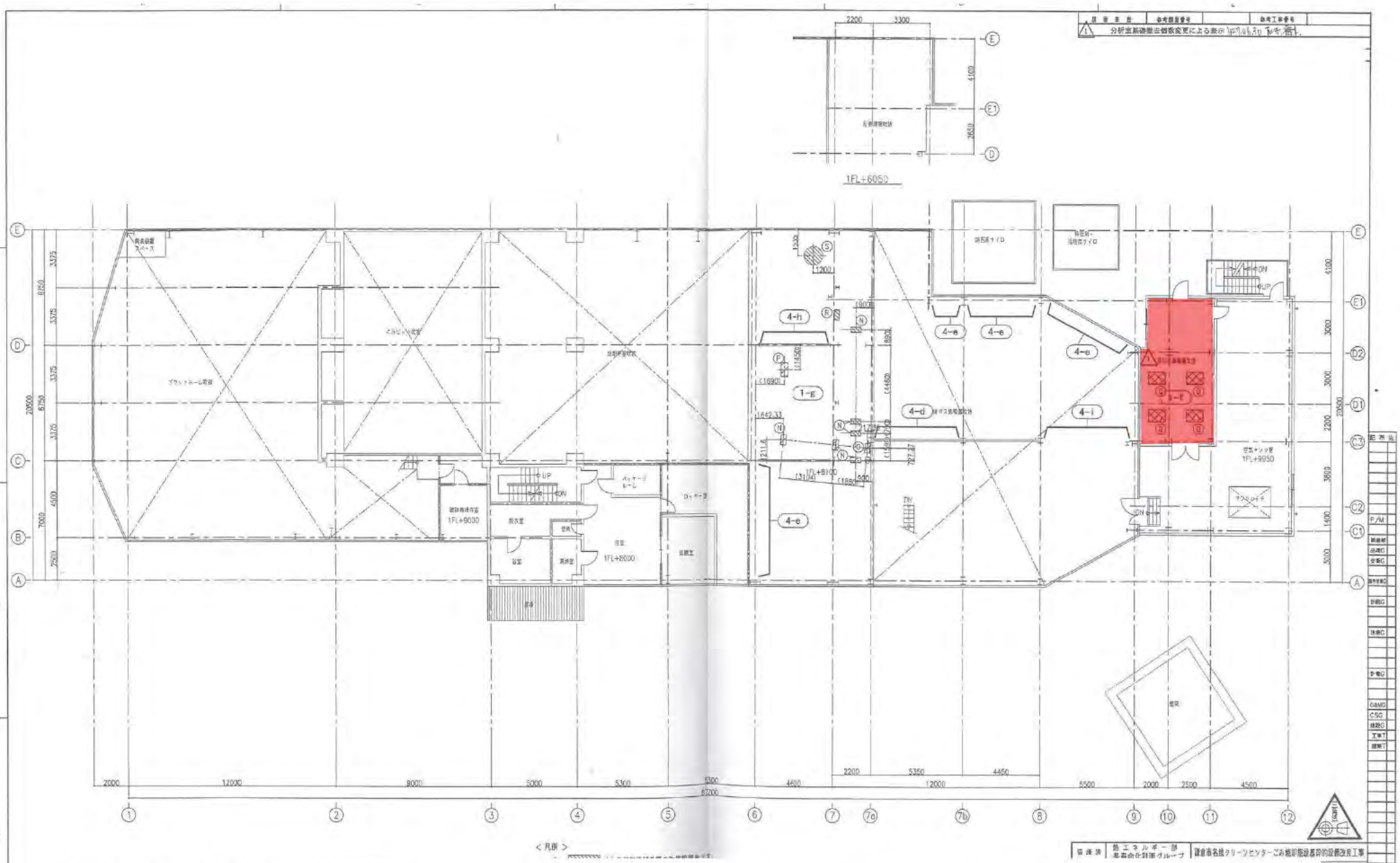
＜凡例＞
1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▨ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 ① の ⓐ を参照のこと。

本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社もしくは第三者に帰属しますので、当社の文書による承諾を得た場合を除き、当社の文書による承諾を得た場合を除き、(1) 許可なく複製・引用・その他これに類似する行為をすること。(2) 許可なく第三者に公開・提示しないこと。(3) 許可なく設定された用途以外に使用しないこと。

施設名称 | 施工エネルギー部 長期延命化計画グループ | 鎌倉市名越クリーンセンターごみ処理施設基幹的設備改良工事

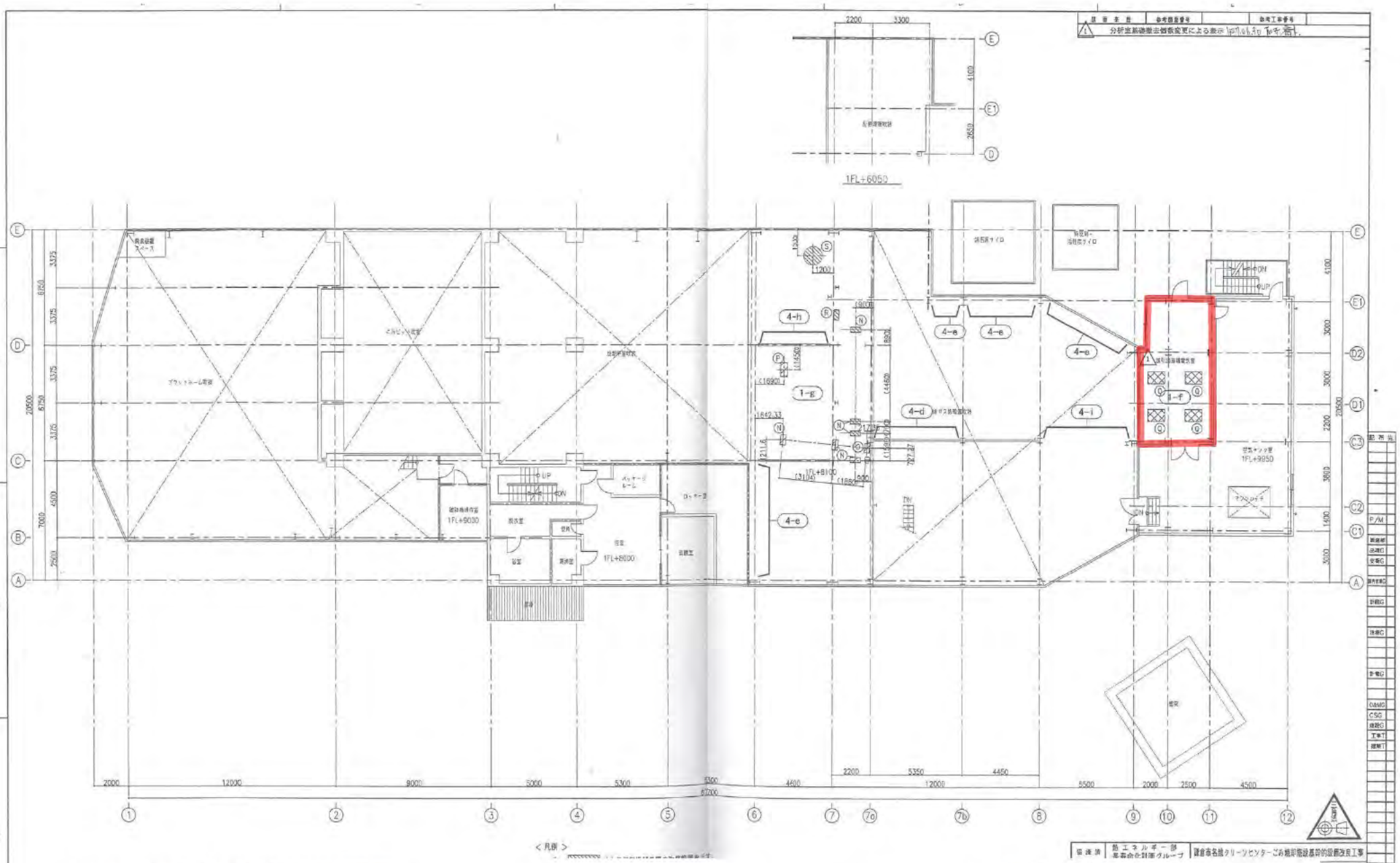
アスベスト含有建材範囲図（ガスケット）

工場棟（増設部）1F



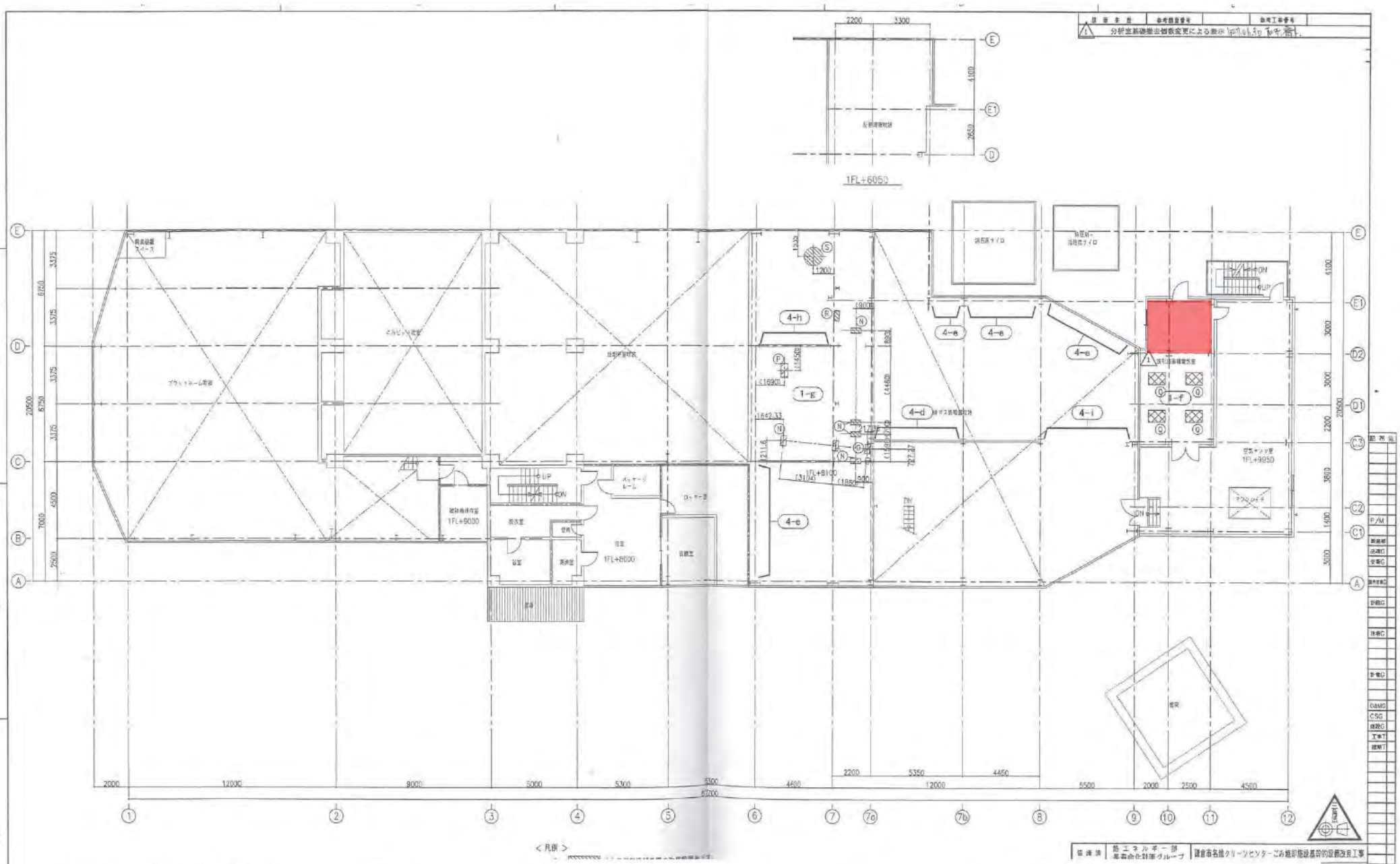
アスベスト含有建材範囲図
（天井　化粧石膏ボード）

工場棟（増設部）
3F



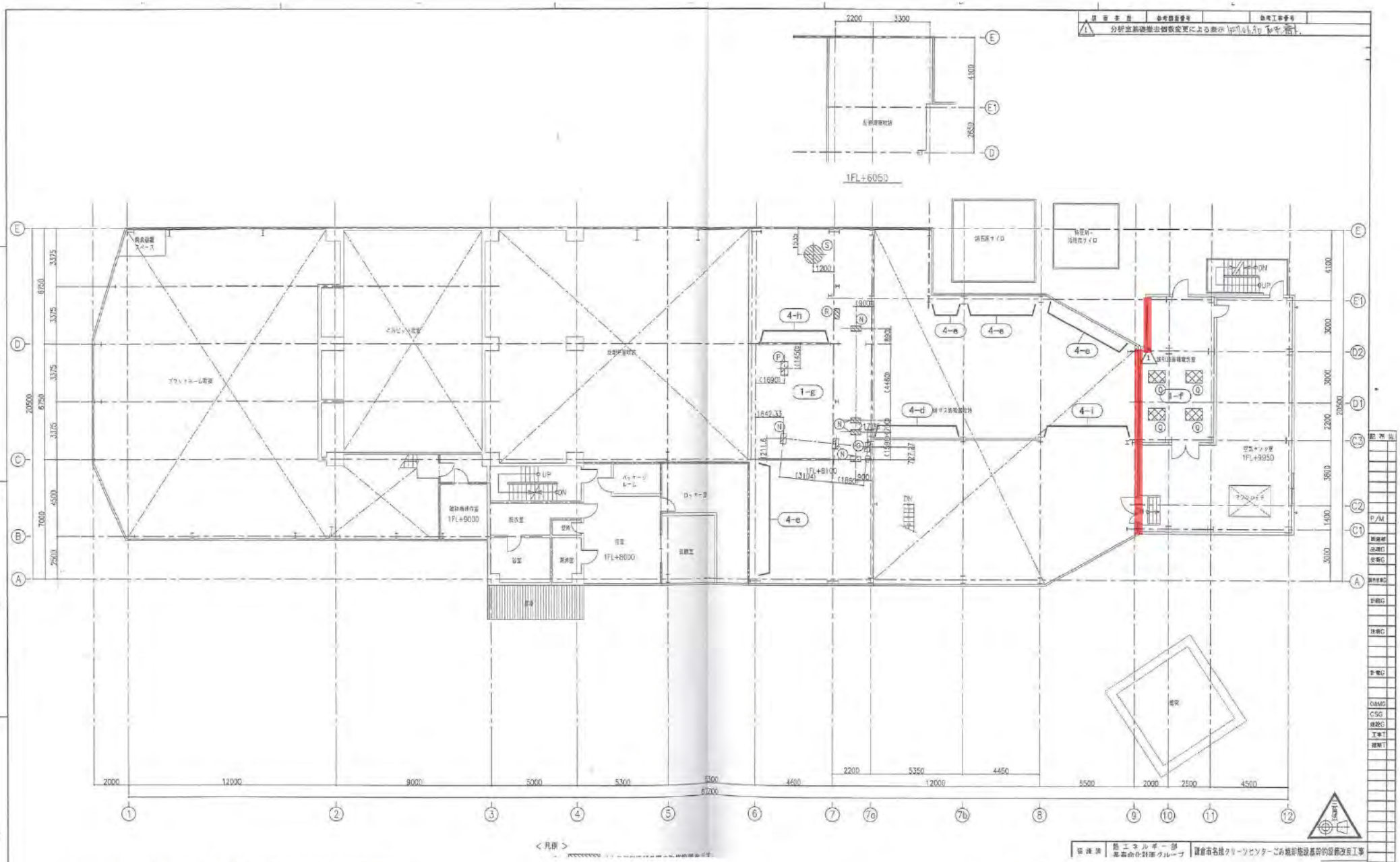
アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木）

工場棟（増設部）
3F



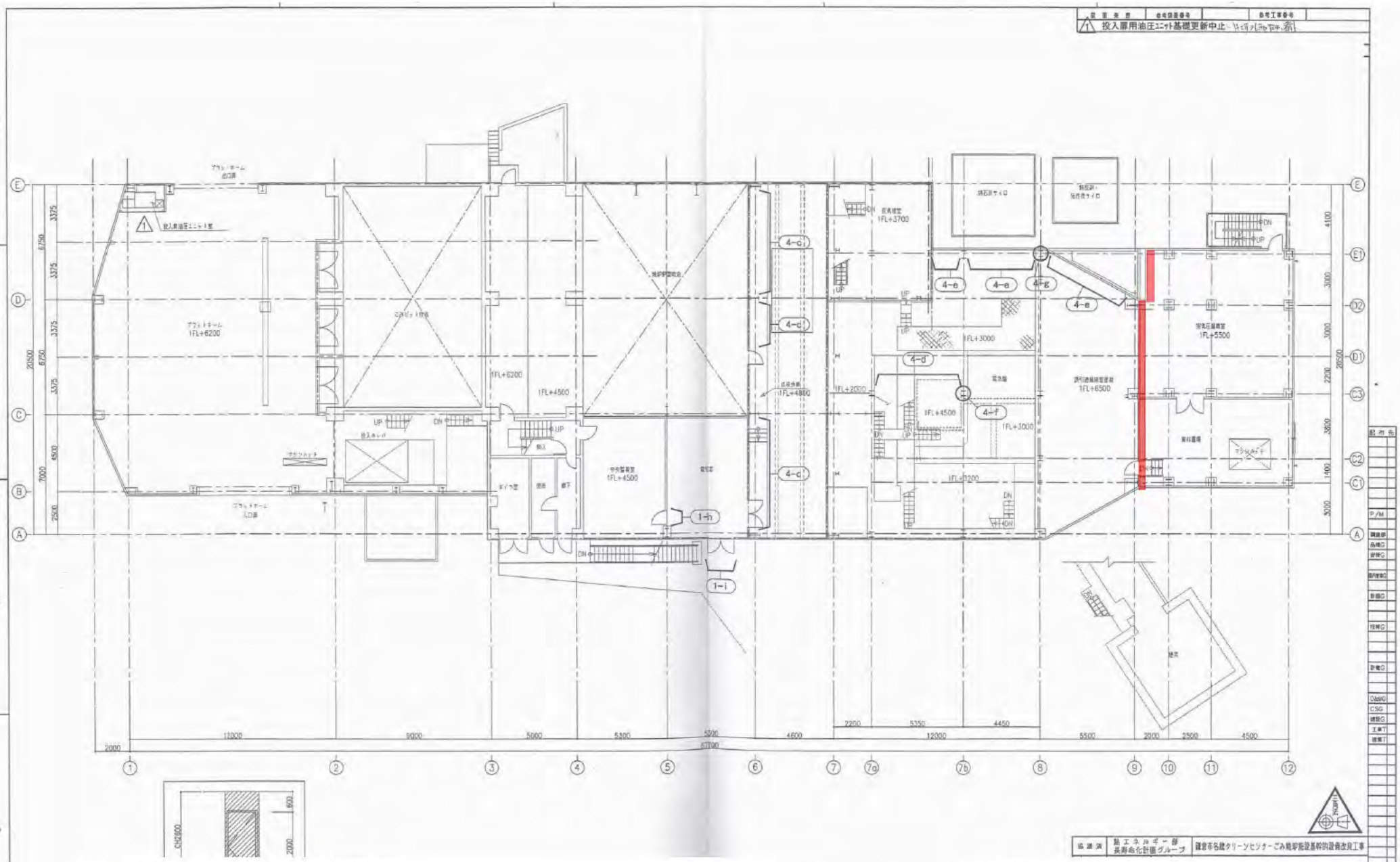
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床シート）

工場棟（増設部）
3F



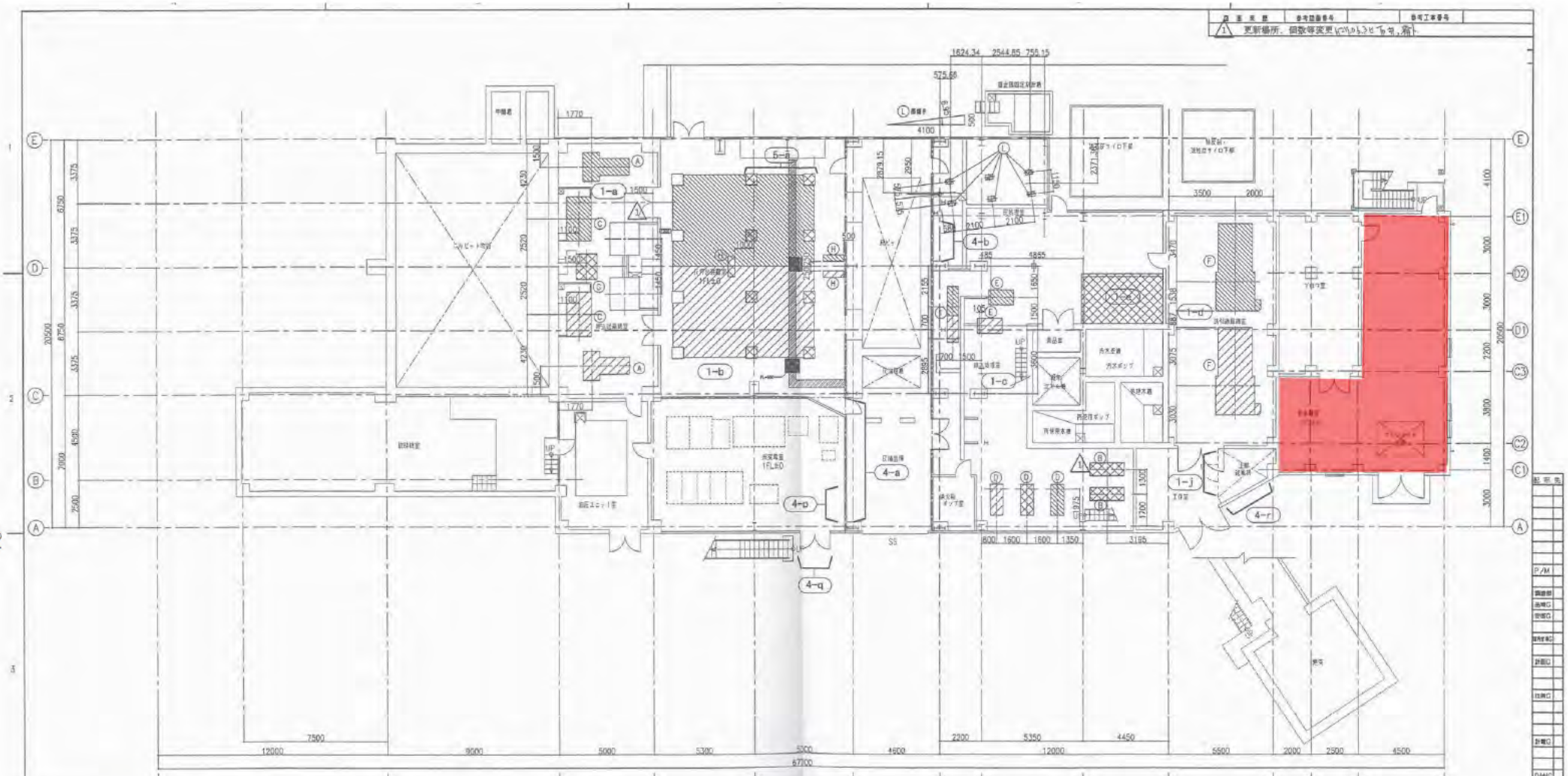
アスベスト含有建材範囲図
（壁　けい酸カルシウム板第１種）

工場棟（増設部）
3F



アスベスト含有建材範囲図
（壁　けい酸カルシウム板第１種）

工場棟（増設部）
2F

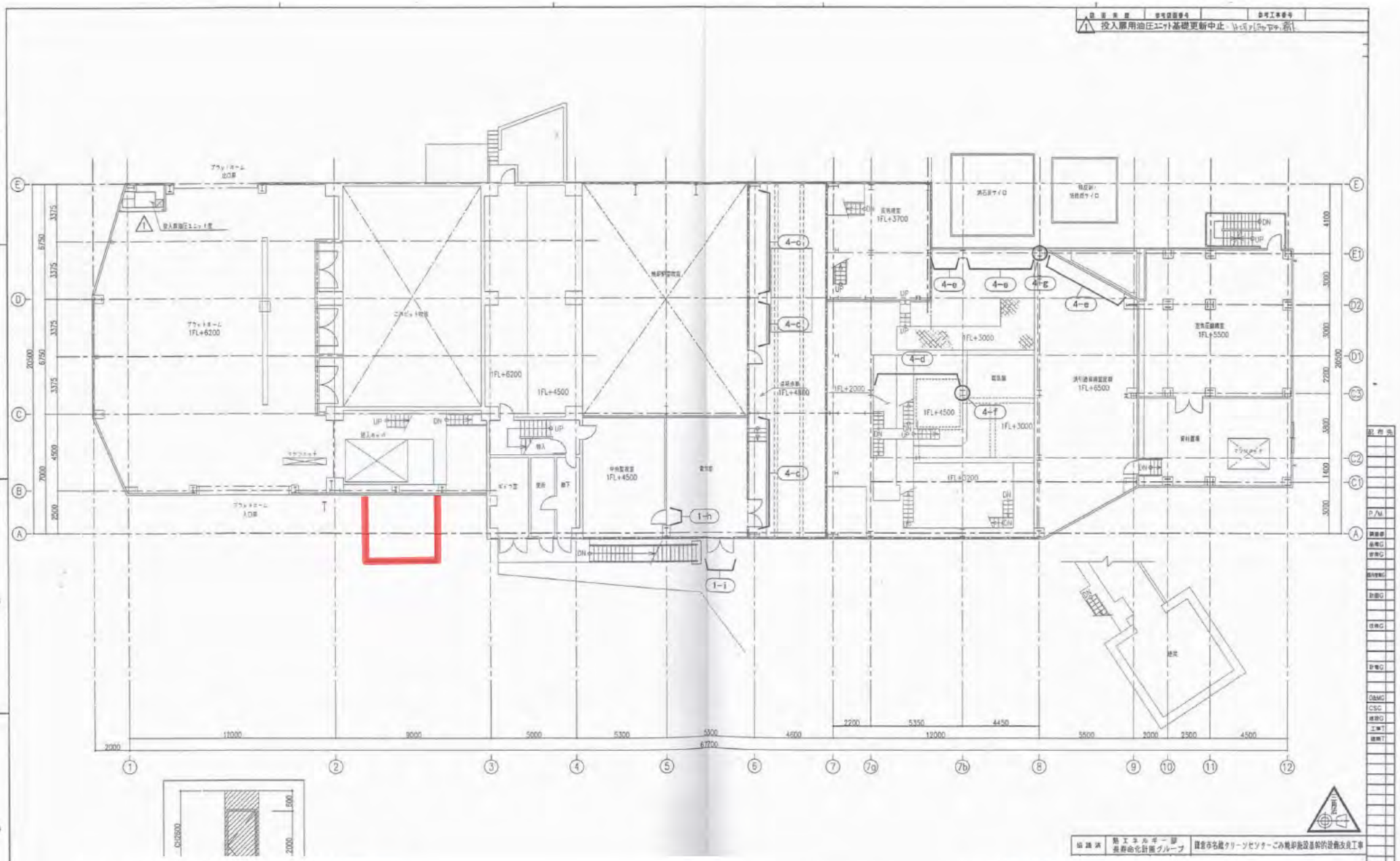


符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	室名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(給用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引通風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	階段用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	純粋水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

＜凡例＞
1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▨ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

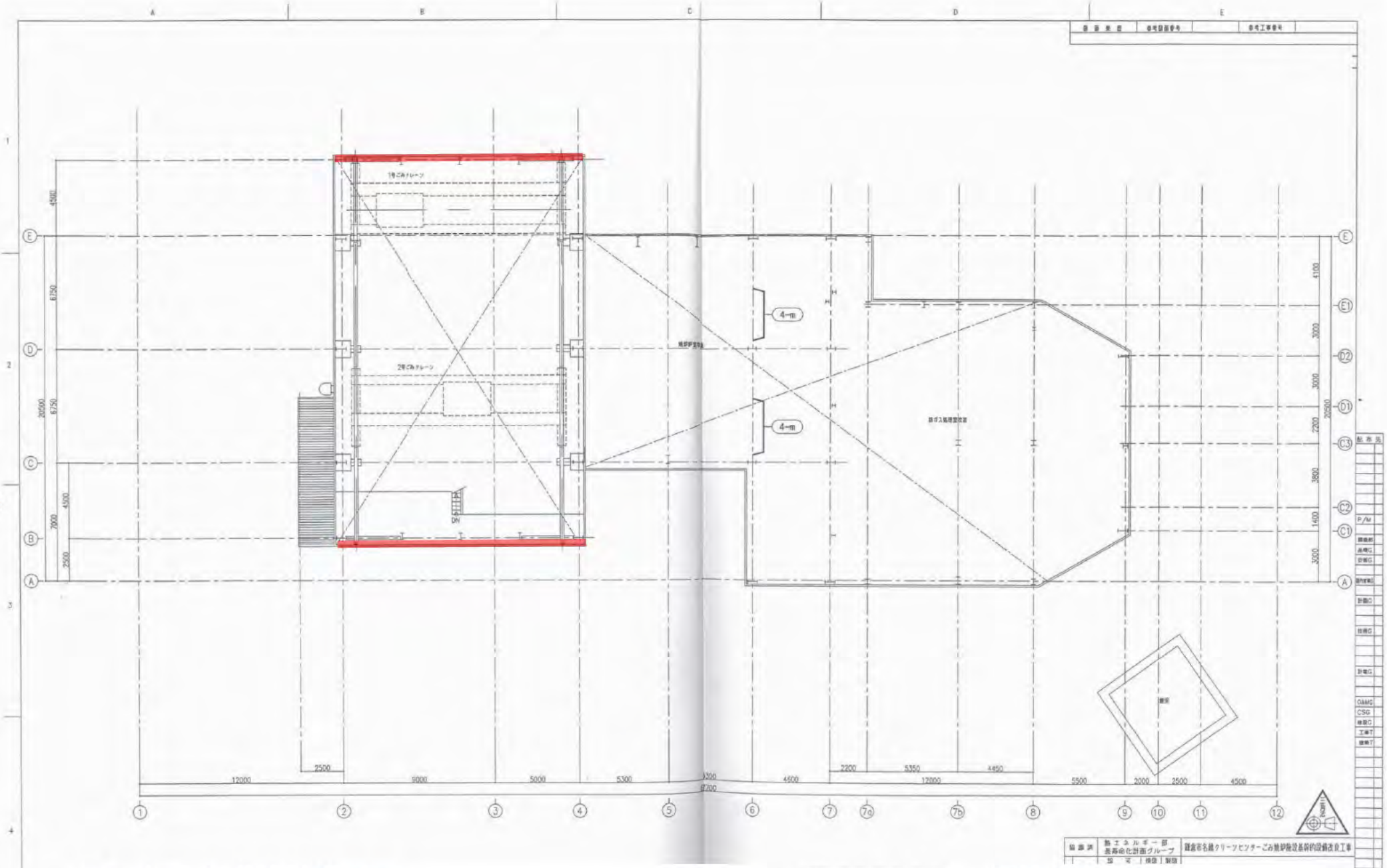
アスベスト含有建材範囲図（たわみ継手）

工場棟（増設部）1F



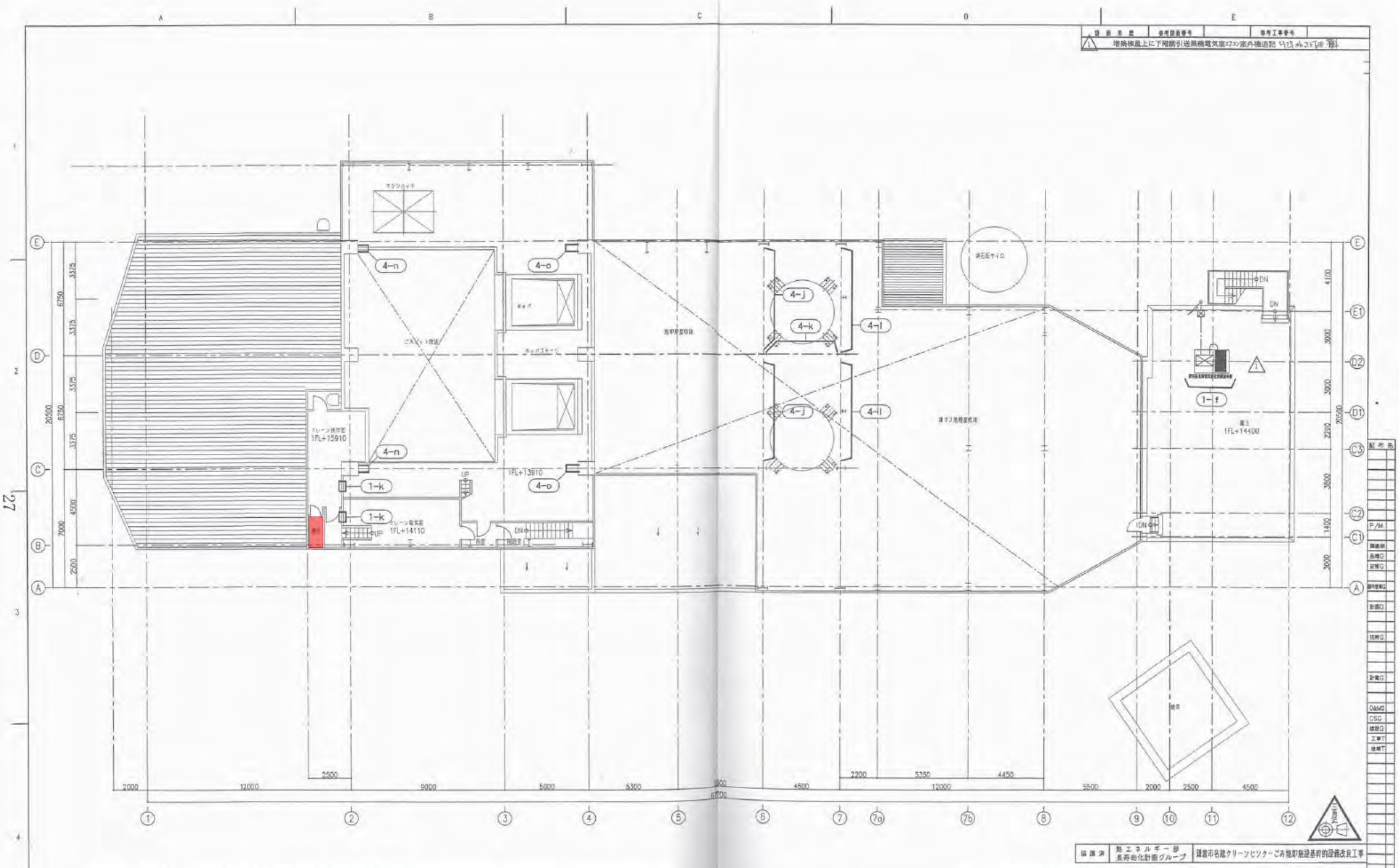
アスベスト含有建材範囲図
（外壁　リシン吹付）

工場棟（既存部）
外部



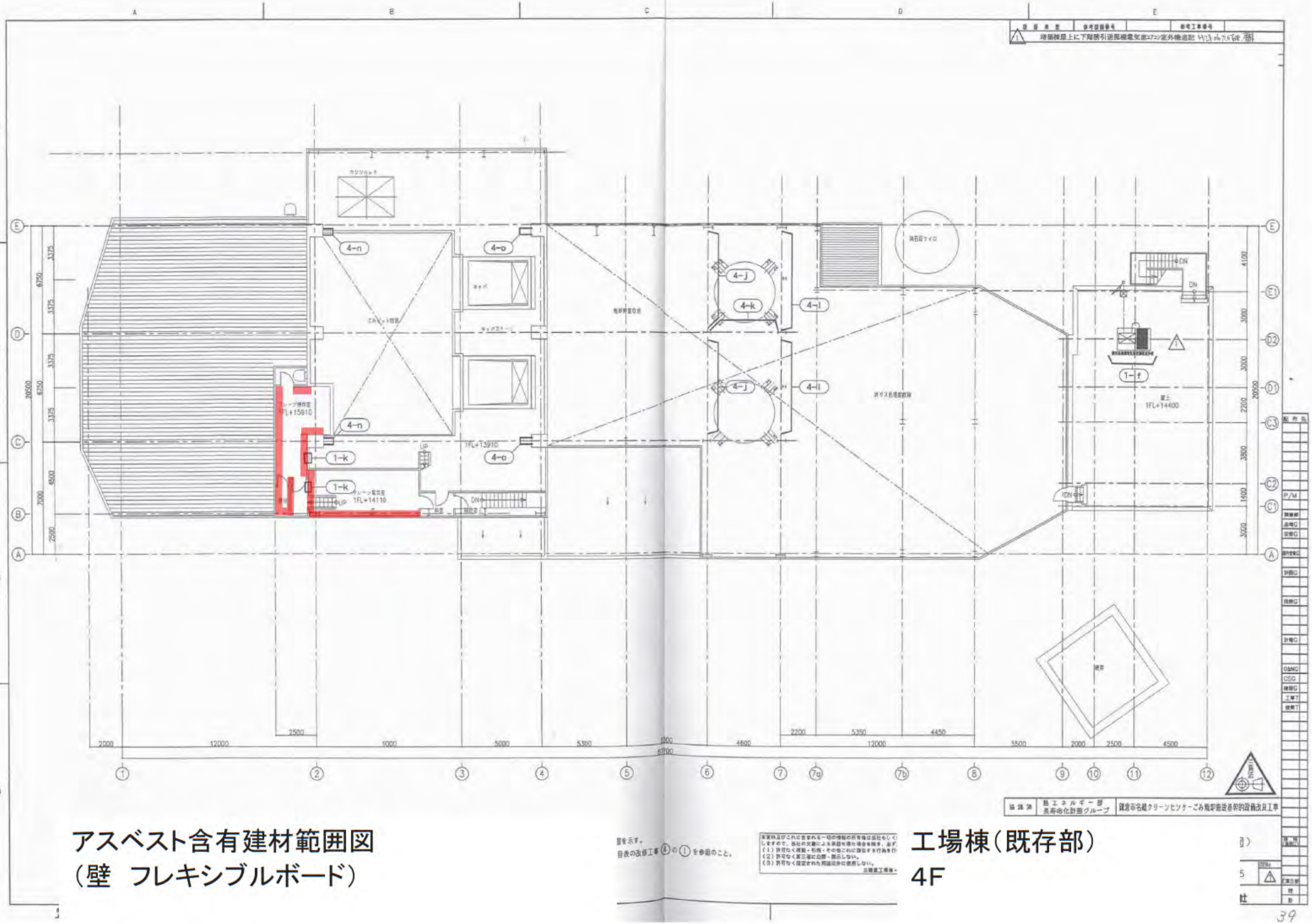
アスベスト含有建材範囲図
（壁　フレキシブルボード）

工場棟（既存部）
5F



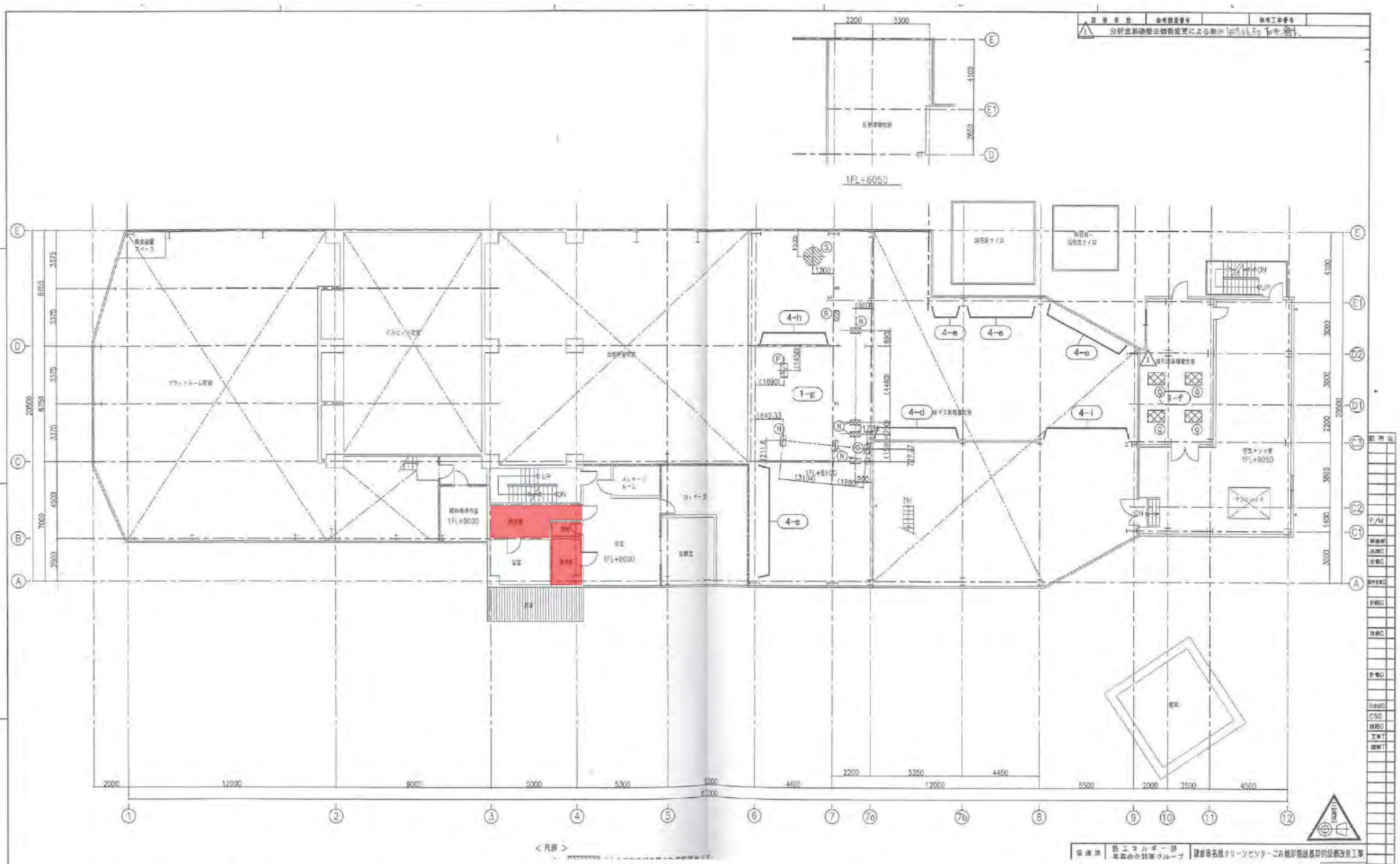
アスベスト含有建材範囲図
（天井　フレキシブルボード）

工場棟（既存部）
4F



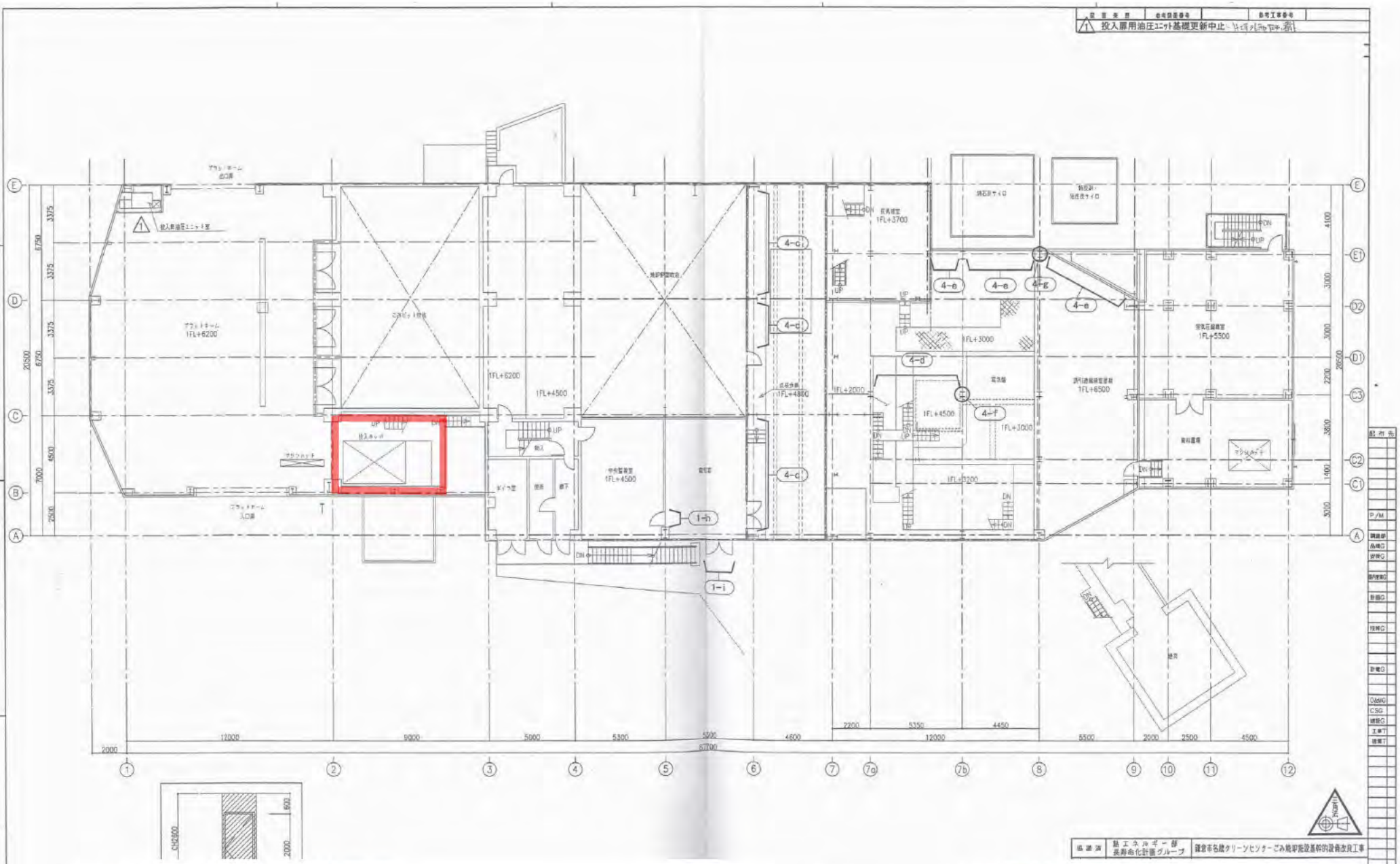
アスベスト含有建材範囲図
（壁　フレキシブルボード）

工場棟（既存部）
4F



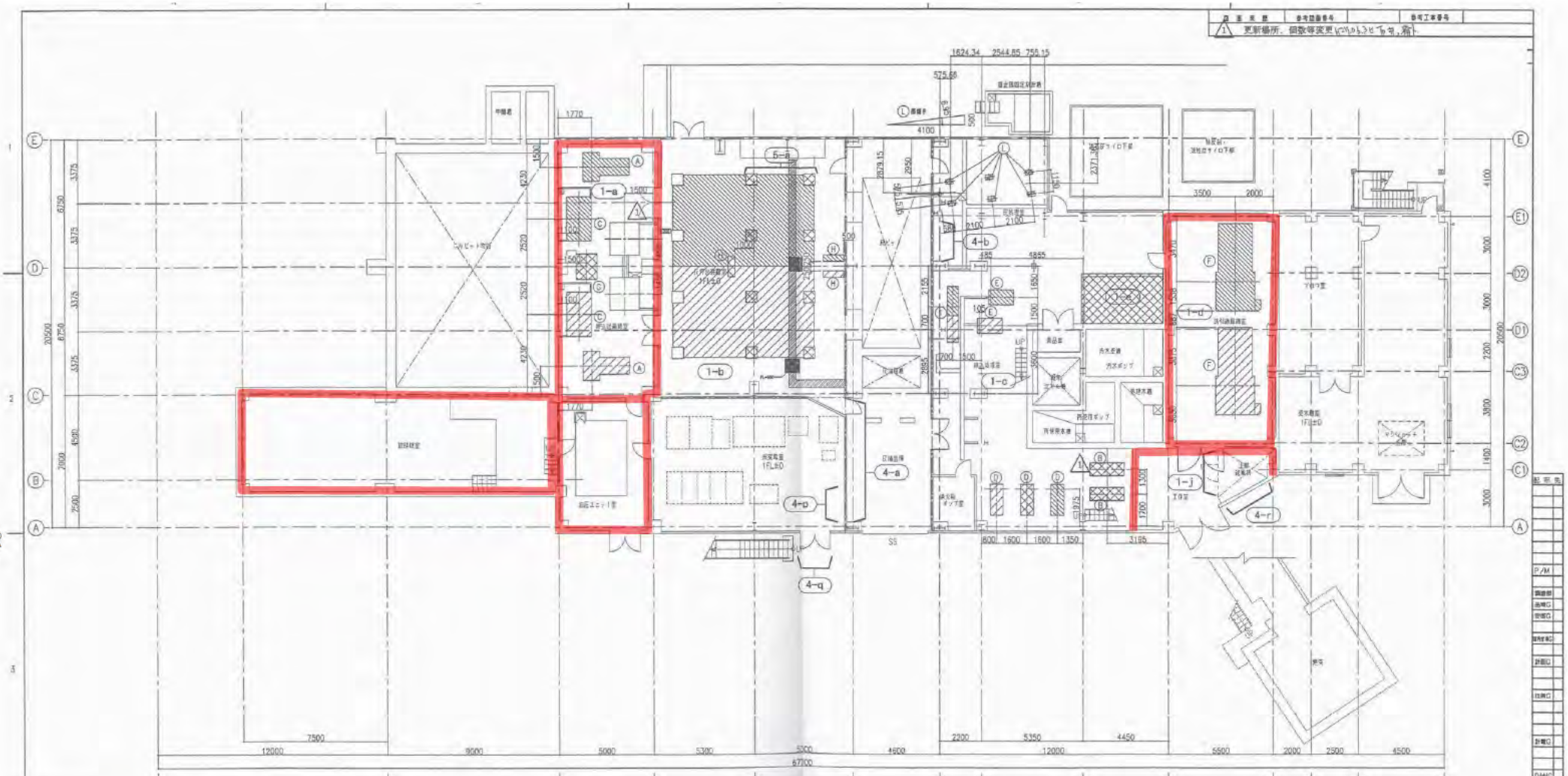
アスベスト含有建材範囲図
（天井　フレキシブルボード）

工場棟（既存部）
3F



アスベスト含有建材範囲図
（壁　吹付け材）

工場棟（既存部）
2F

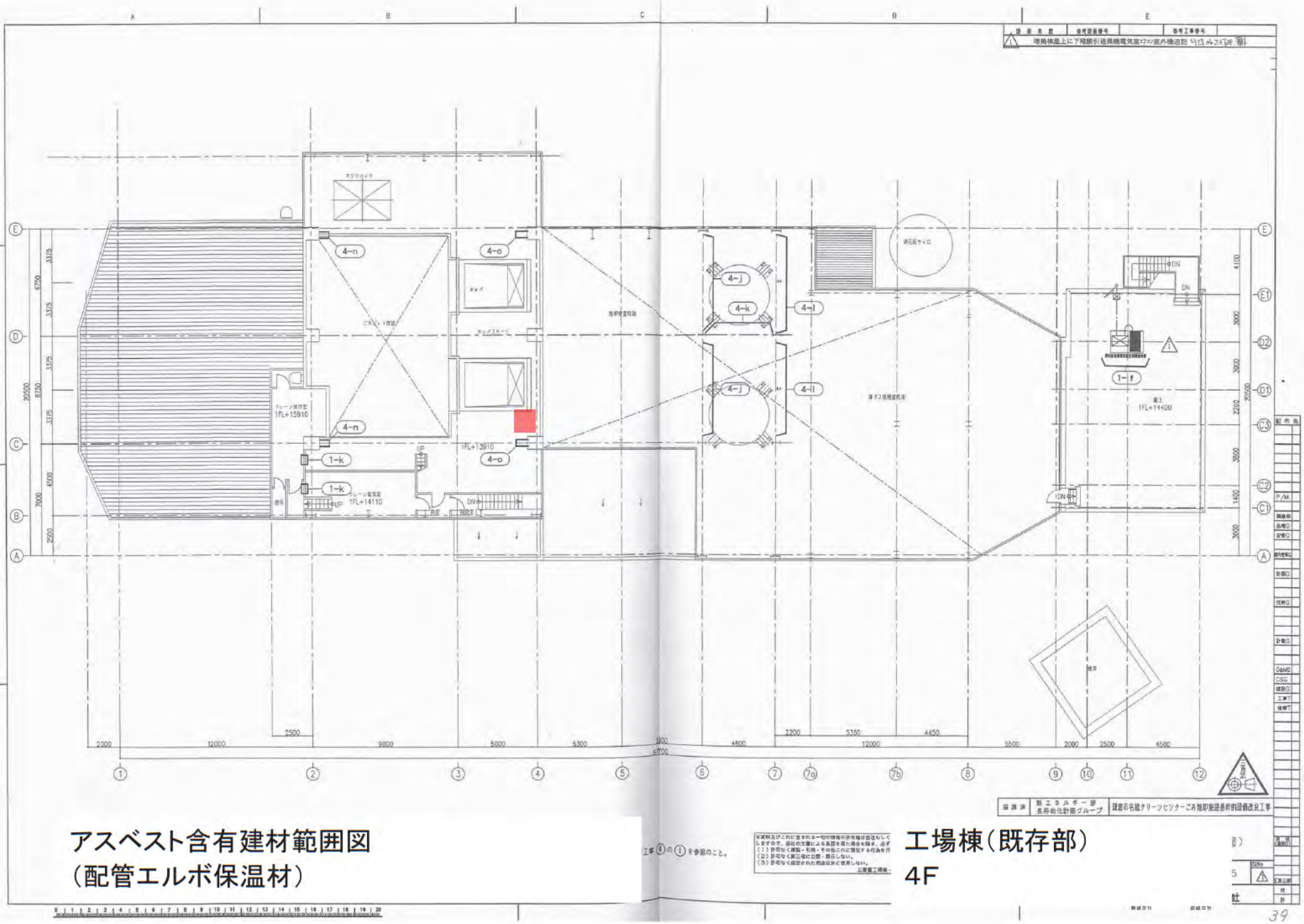


符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	室名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(給用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引通風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	階段用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	純粋水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

アスベスト含有建材範囲図
(壁・梁　吹付け材)

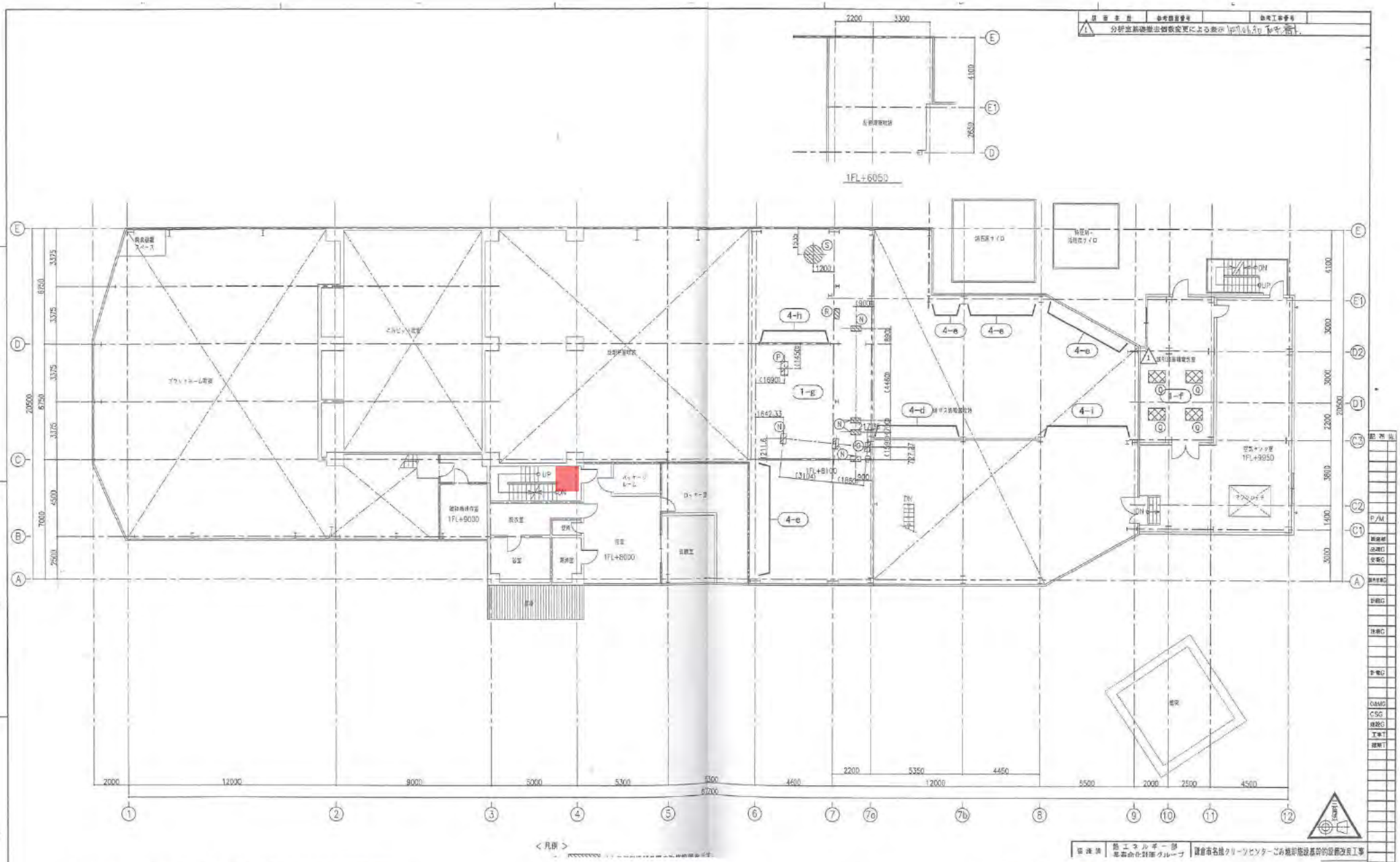
＜凡例＞
1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▩ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

工場棟(既存部)
1F



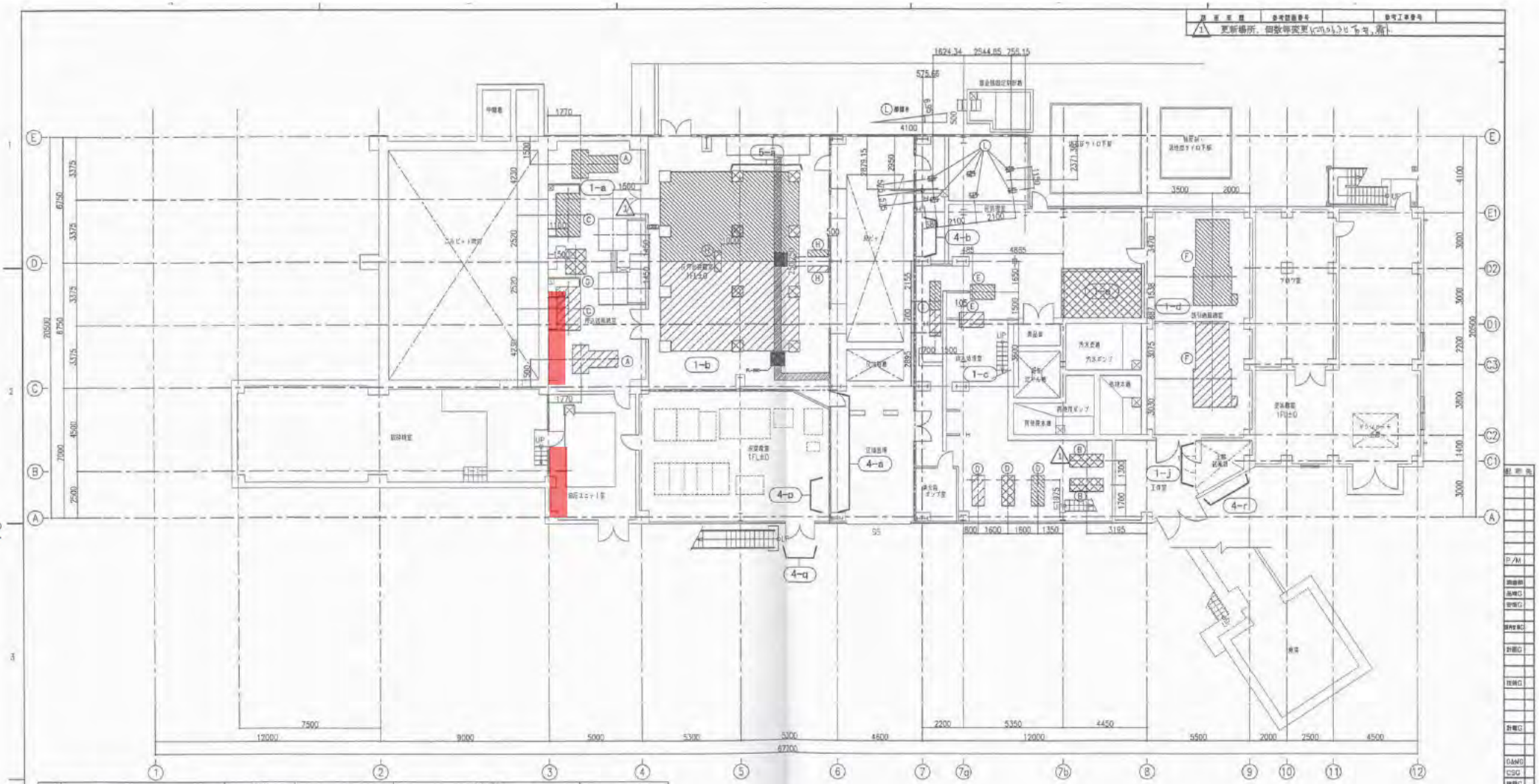
アスベスト含有建材範囲図
（配管エルボ保温材）

工場棟（既存部）
4F



アスベスト含有建材範囲図
（配管エルボ保温材）

工場棟（既存部）
3F



符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	室名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(雑用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引通風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	除塵用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	減温水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

<凡例>

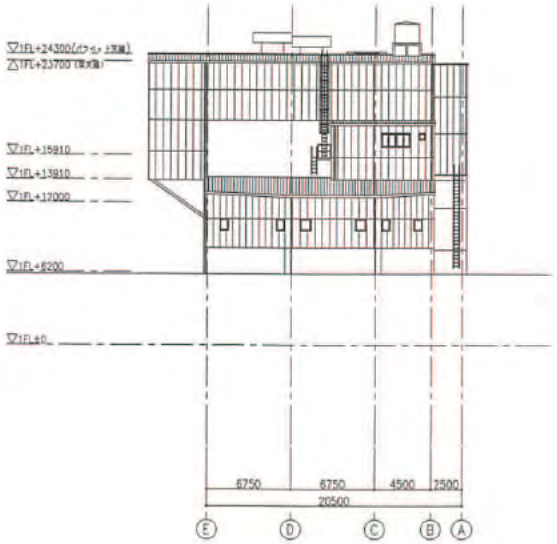
1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▩ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

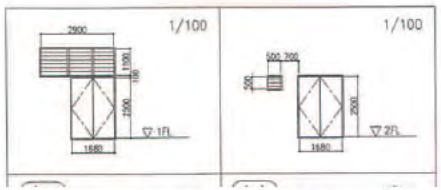
本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社にあります。当社の文書による承認を得た場合を除き、(1) 許可なく複製・引用・その他これに類似する行為を (2) 許可なく第三者に公開・開示しない。(3) 許可なく指定された用途以外に使用しない。
広島建工株式会社

協議先 熱エネルギー部 廃棄物処理グループ 諫倉市名越クリーンセンターごみ焼却設備部分設備改良工事

アスベスト含有建材範囲図
(配管エルボ保温材)

工場棟(既存部)
1F

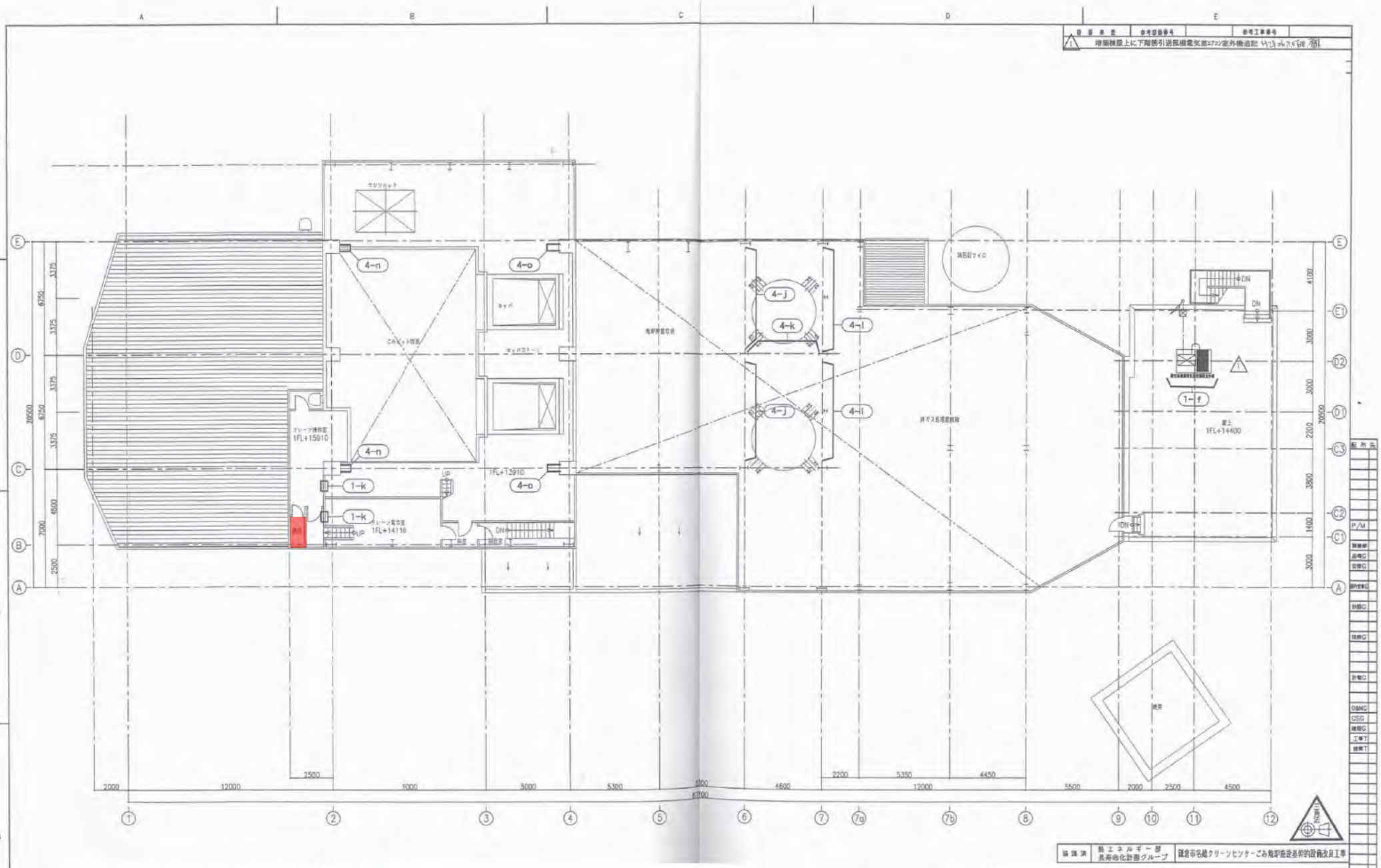




<凡例>
1. 4-a は A-07 工事項目表のお修工事 ④ の ① を参照のこと。

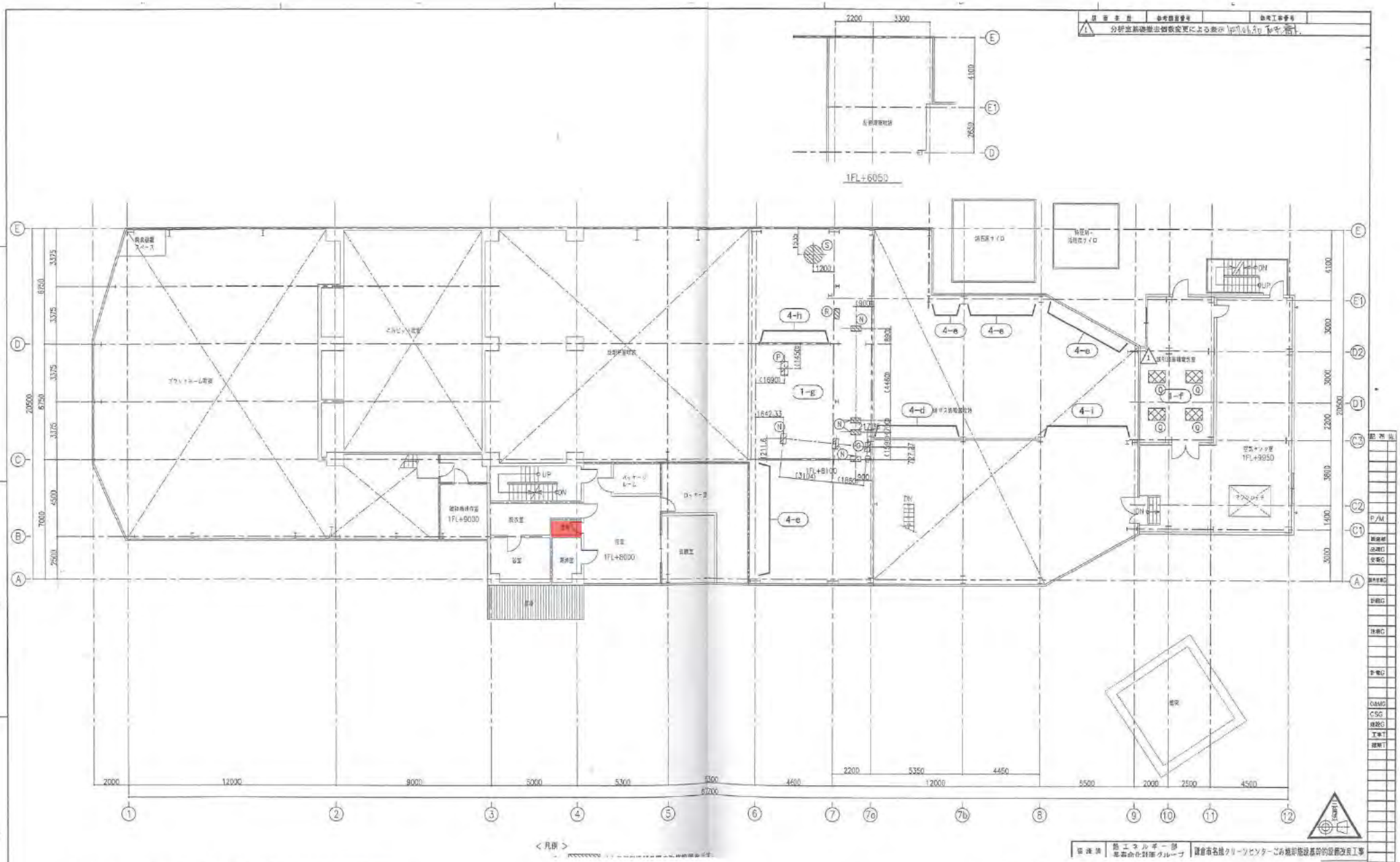
アスベスト含有建材範囲図
（サイディング）

工場棟（既存部）
外部



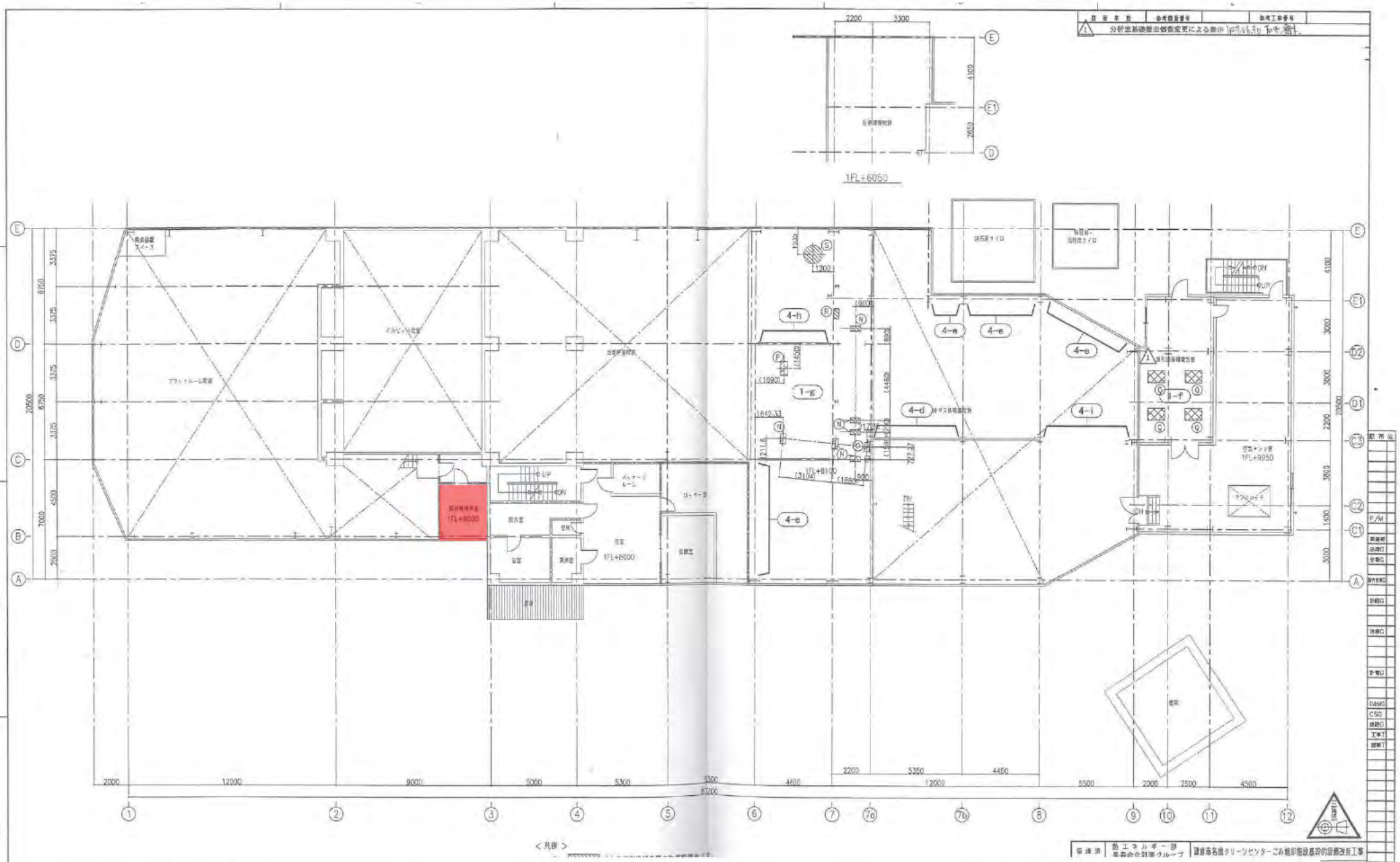
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床シート）

工場棟（既存部）
4F



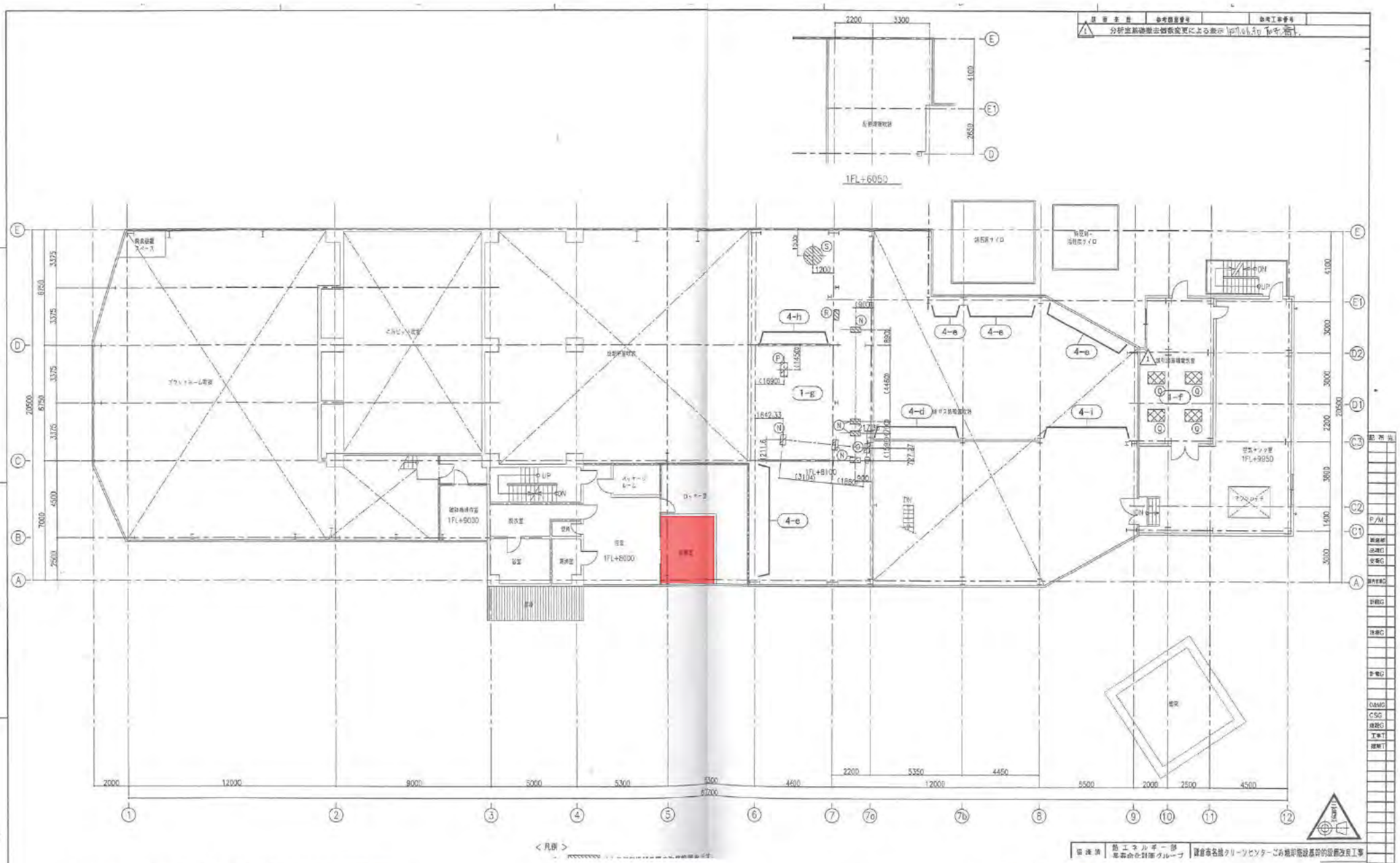
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床シート）

工場棟（既存部）
3F



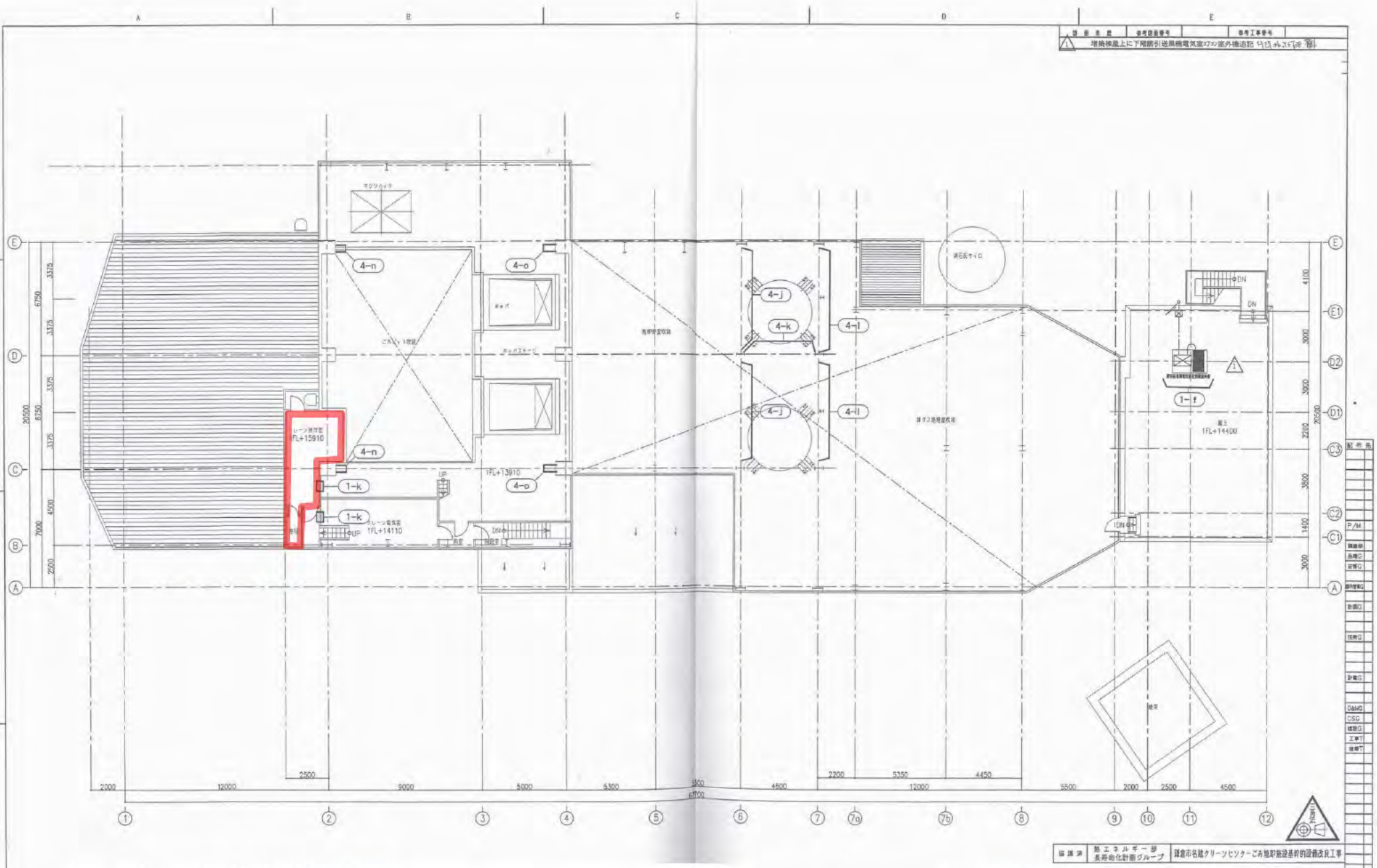
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（水色））

工場棟（既存部）
M4F



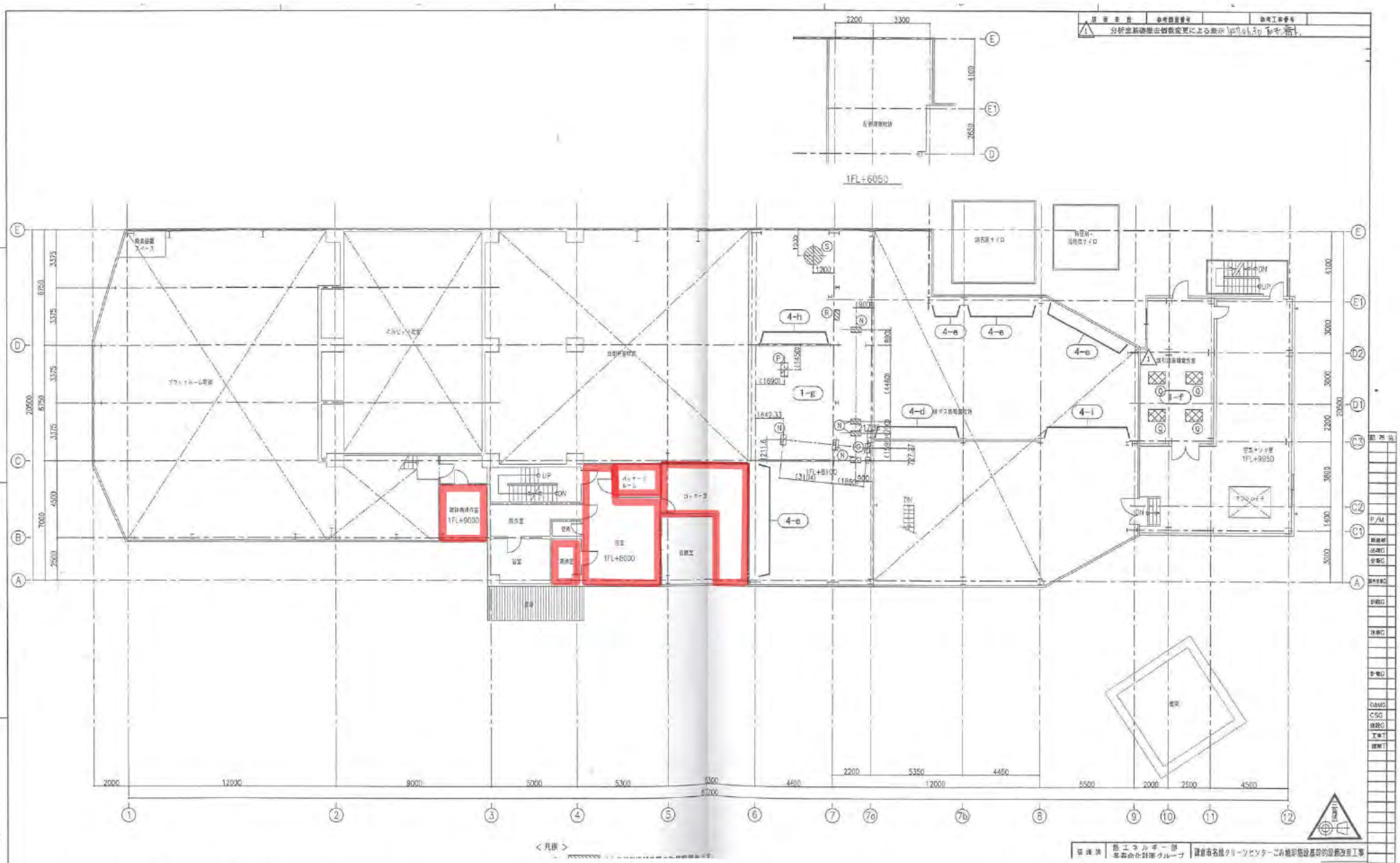
アスベスト含有建材範囲図
（天井　化粧石膏ボード（柾目））

工場棟（既存部）
3F



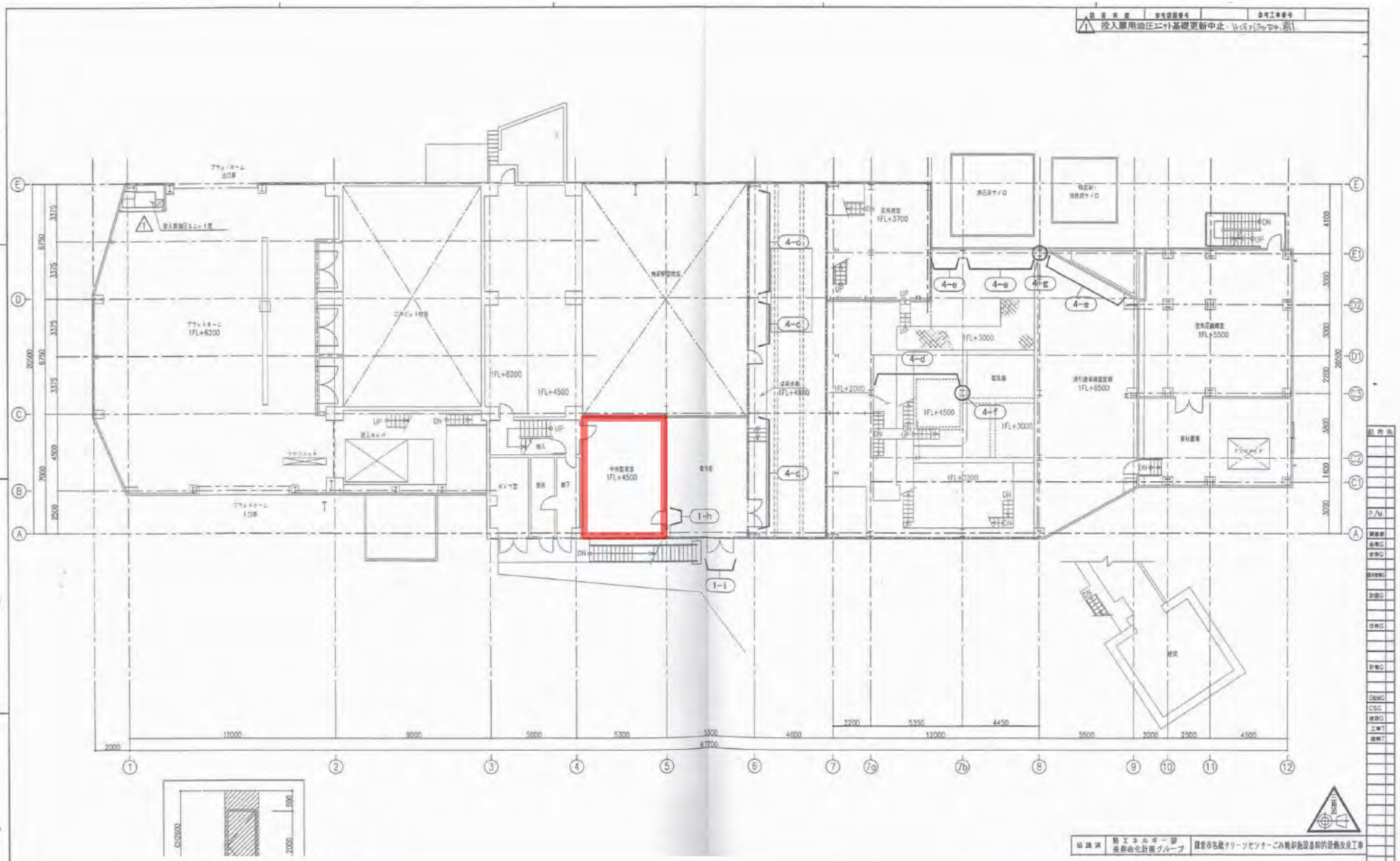
アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木（灰））

工場棟（既存部）
4F



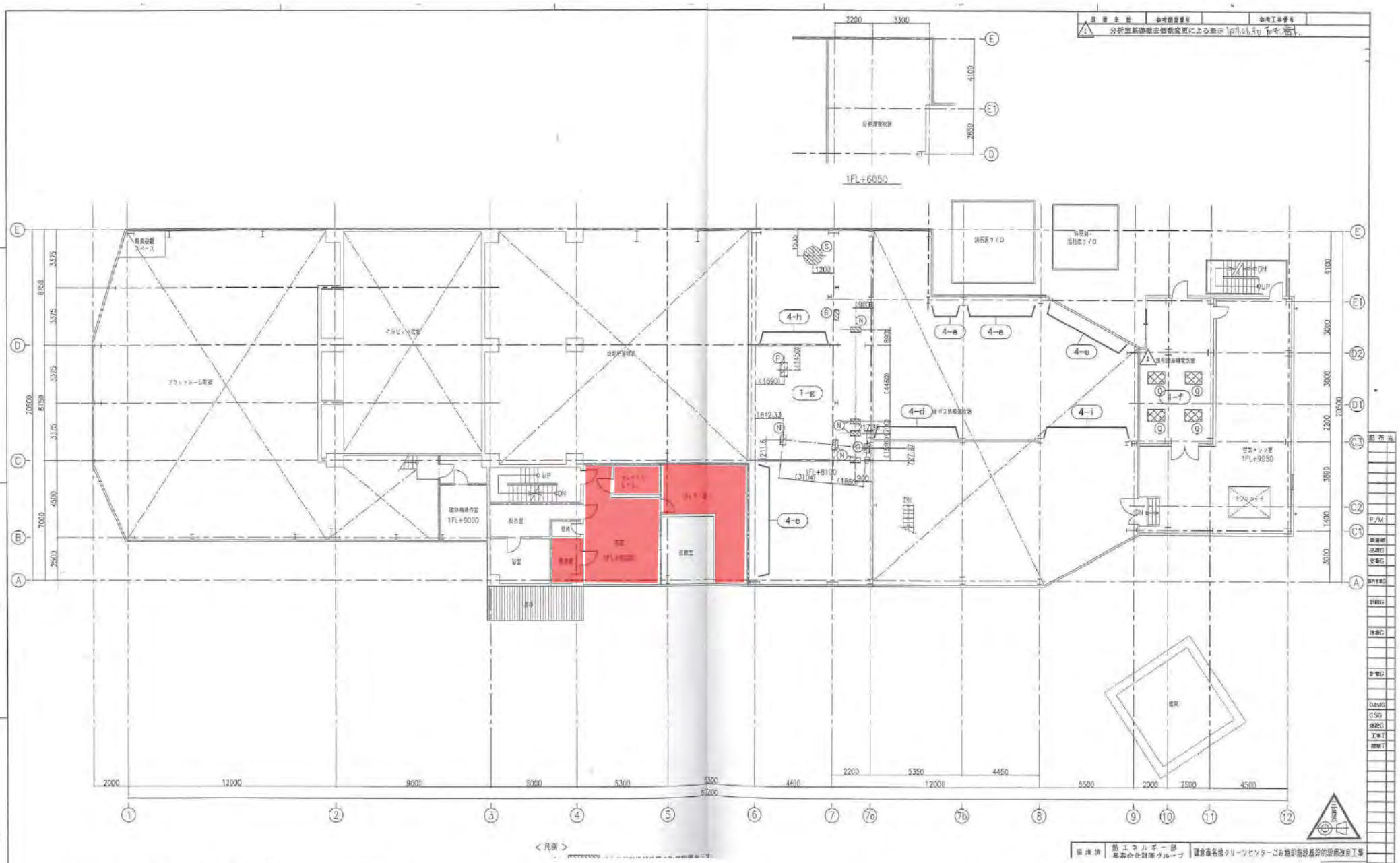
アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木（灰））

工場棟（既存部）
M4F、3F



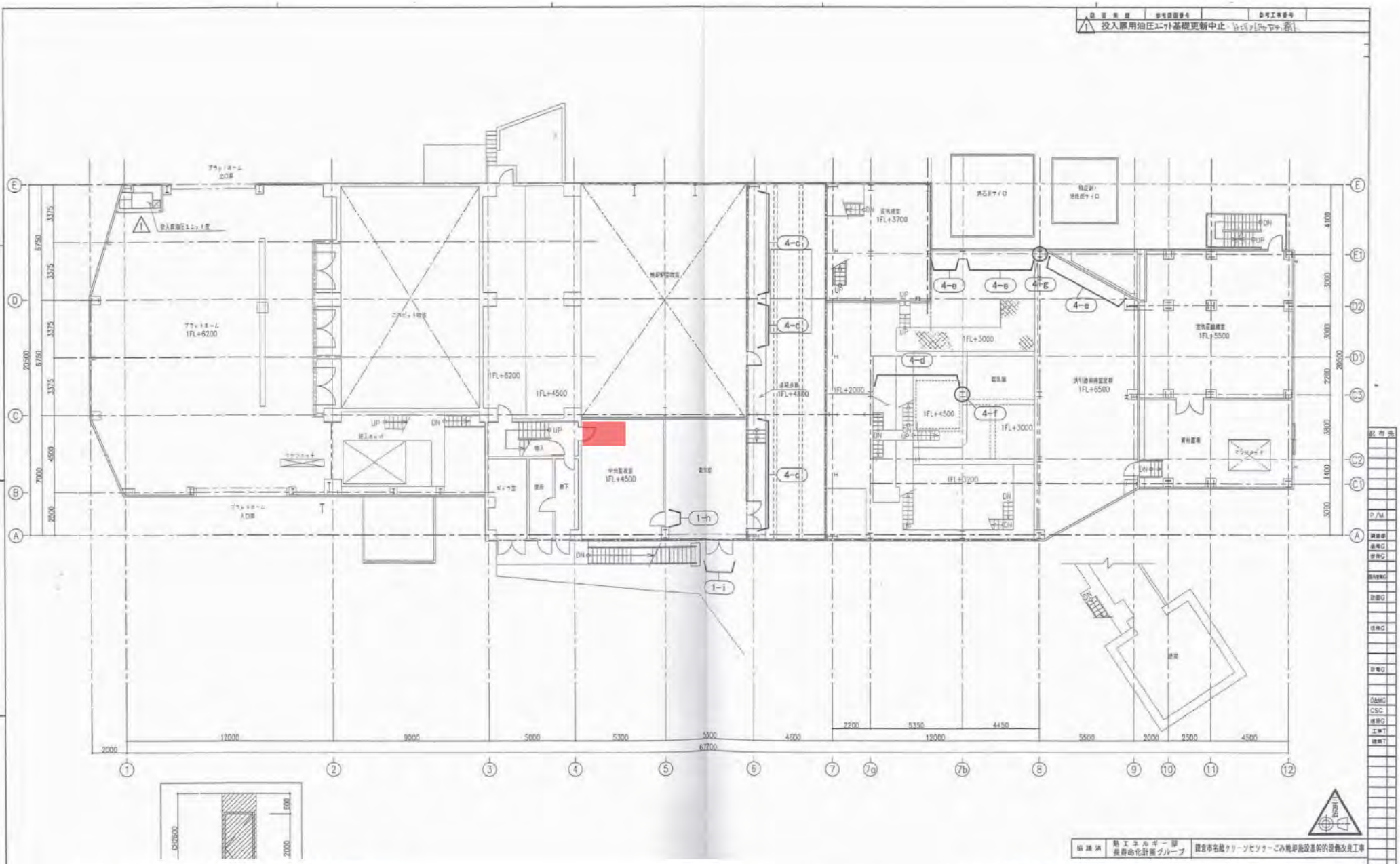
アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木（灰））

工場棟（既存部）
2F



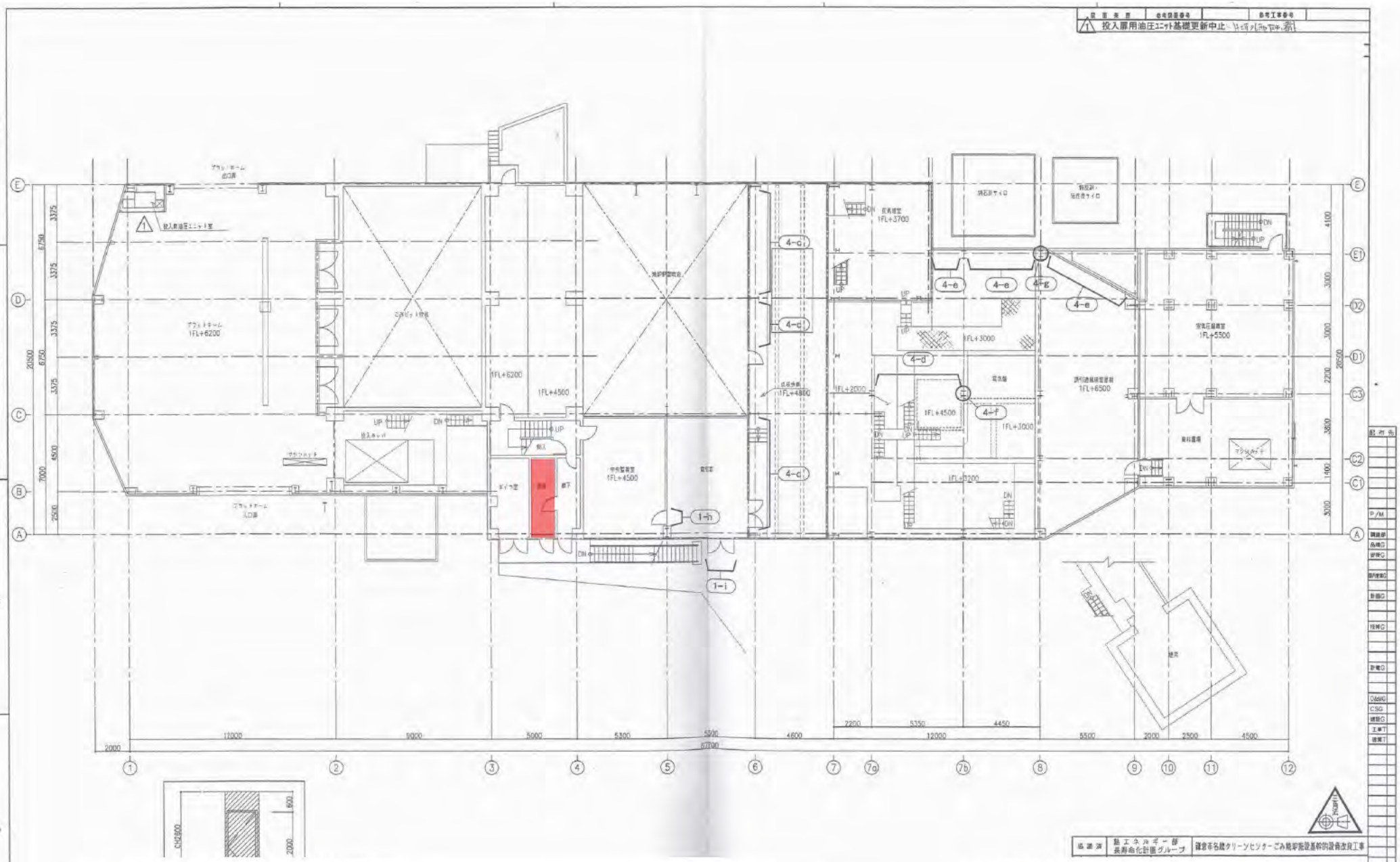
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（白））

工場棟（既存部）
3F



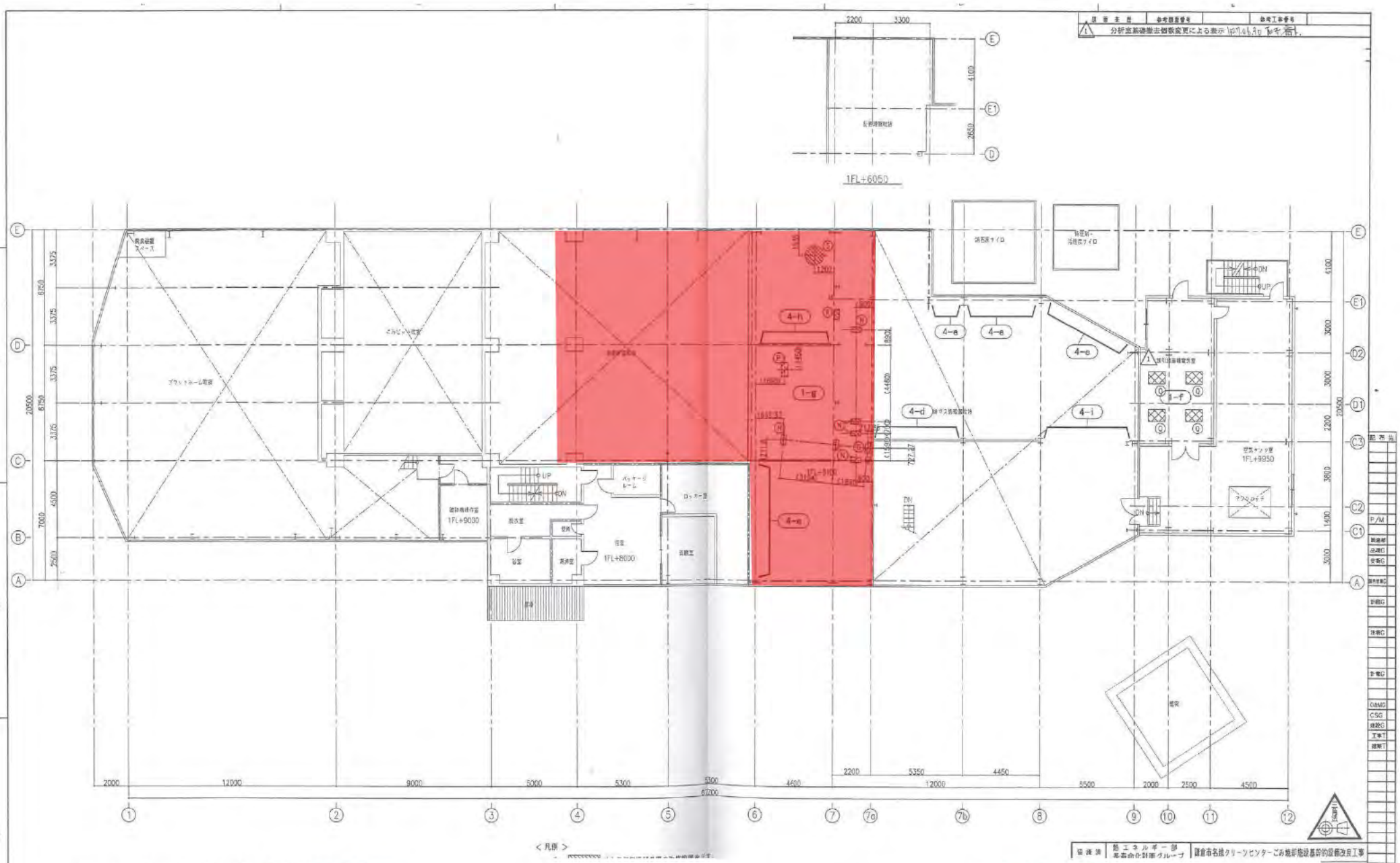
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（白））

工場棟（既存部）
2F



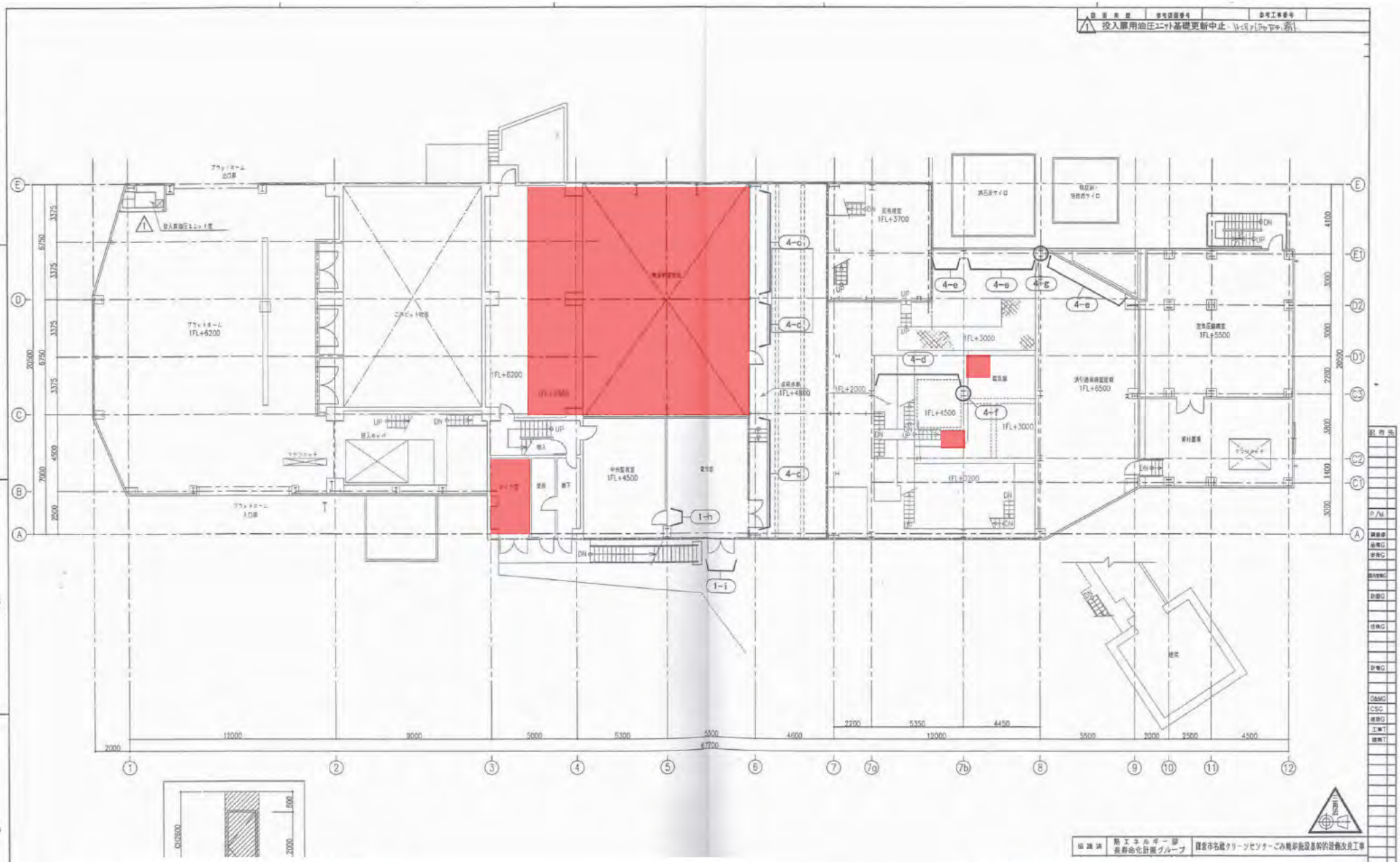
アスベスト含有建材範囲図
（天井　けい酸カルシウム板第１種）

工場棟（既存部）
2F



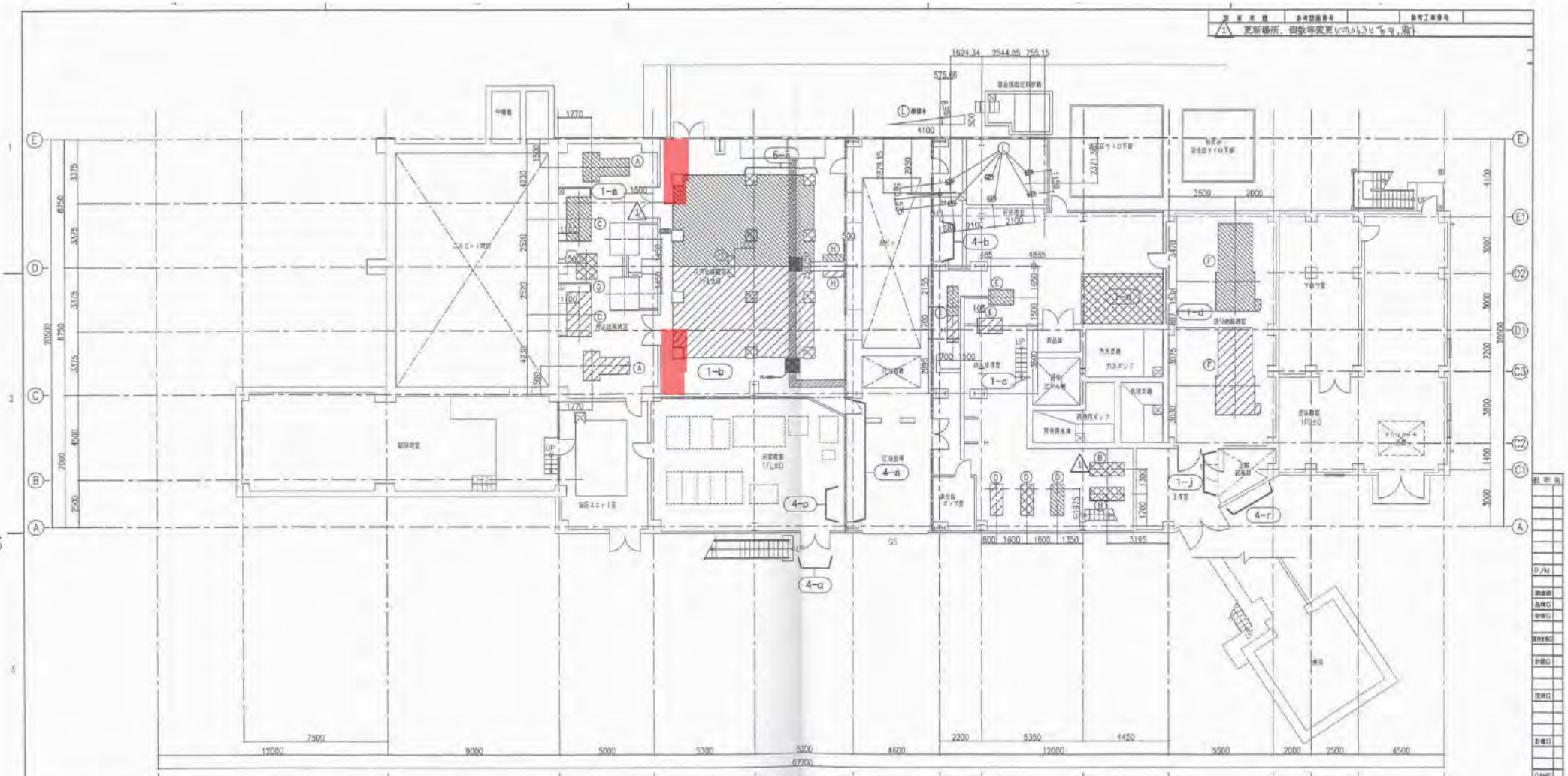
アスベスト含有建材範囲図
（ガスケット）

工場棟（既存部）
3F



アスベスト含有建材範囲図
（ガスケット）

工場棟（既存部）
2F



符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	部名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(雑用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引送風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	除塵用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	減温水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

<凡例>

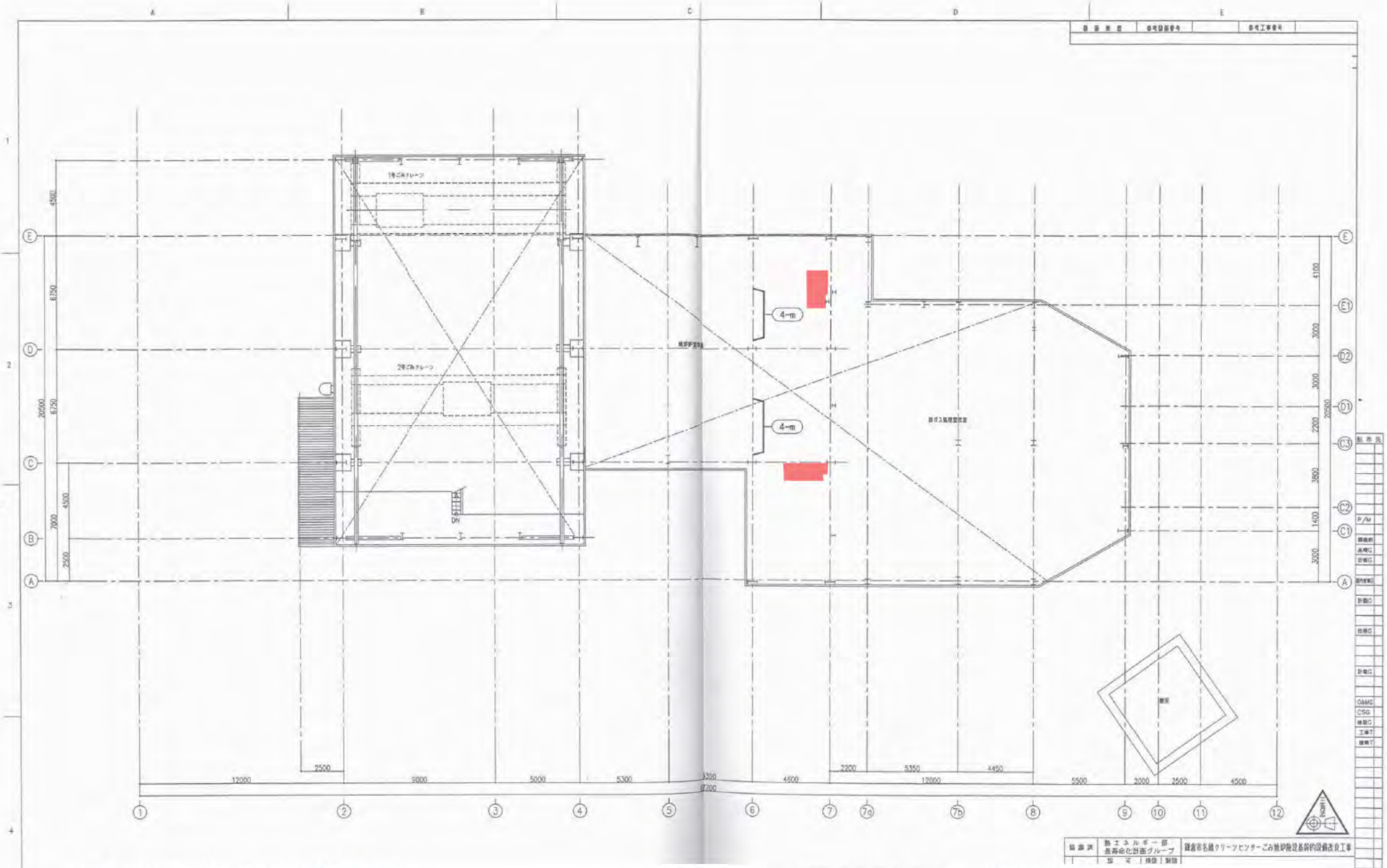
1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▩ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ——— は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社にあります。当社の文書による承認を得た場合を除き、(1) 許可なく複製・引用・その他これに類似する行為をすること、(2) 許可なく第三者に公開・開示しないこと、(3) 許可なく指定された用途以外に使用しないこと。

協議先 熱エネルギー部 廃棄物処理グループ 諫早市名護クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事

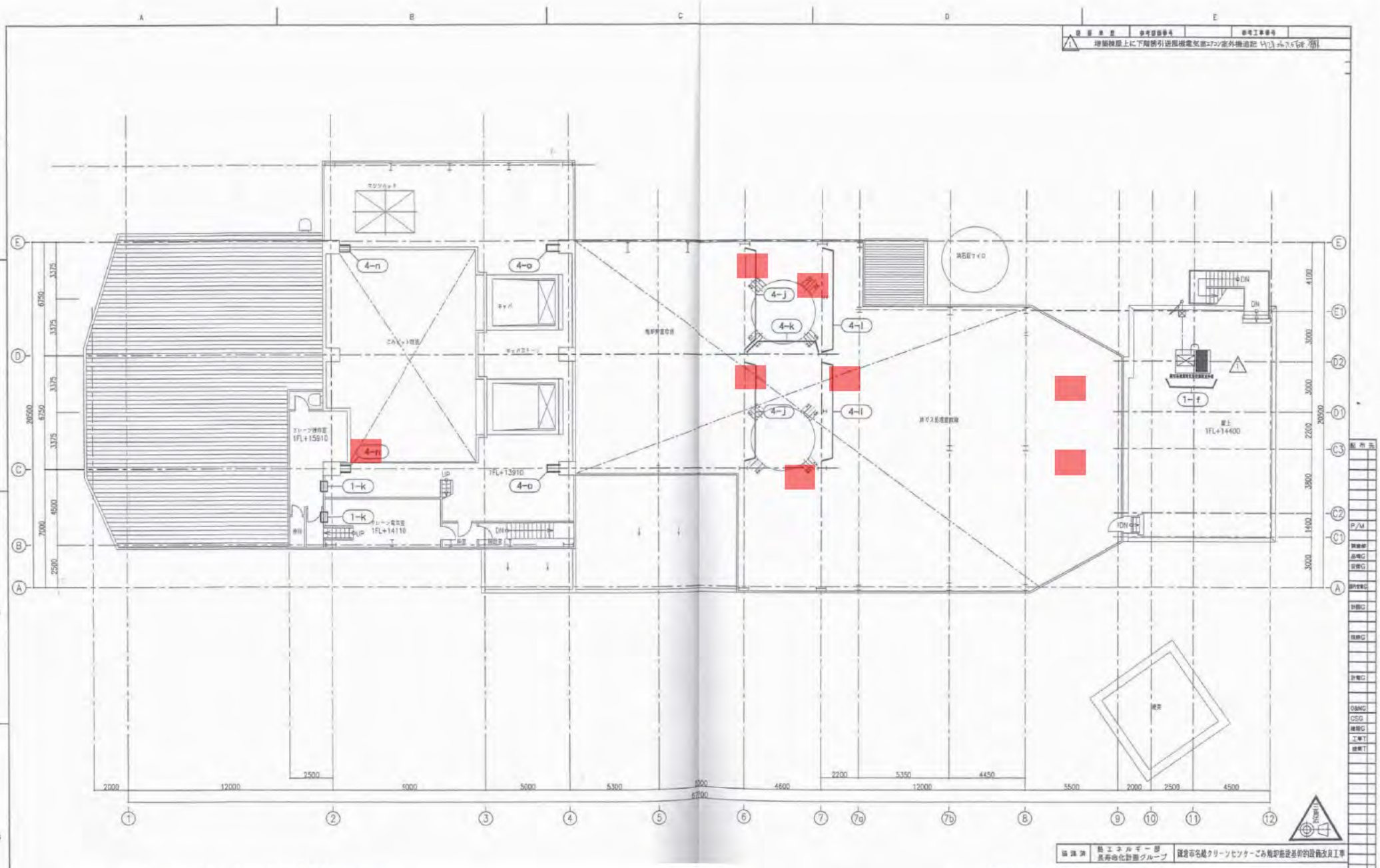
アスベスト含有建材範囲図（ガスケット）

工場棟（既存部）1F



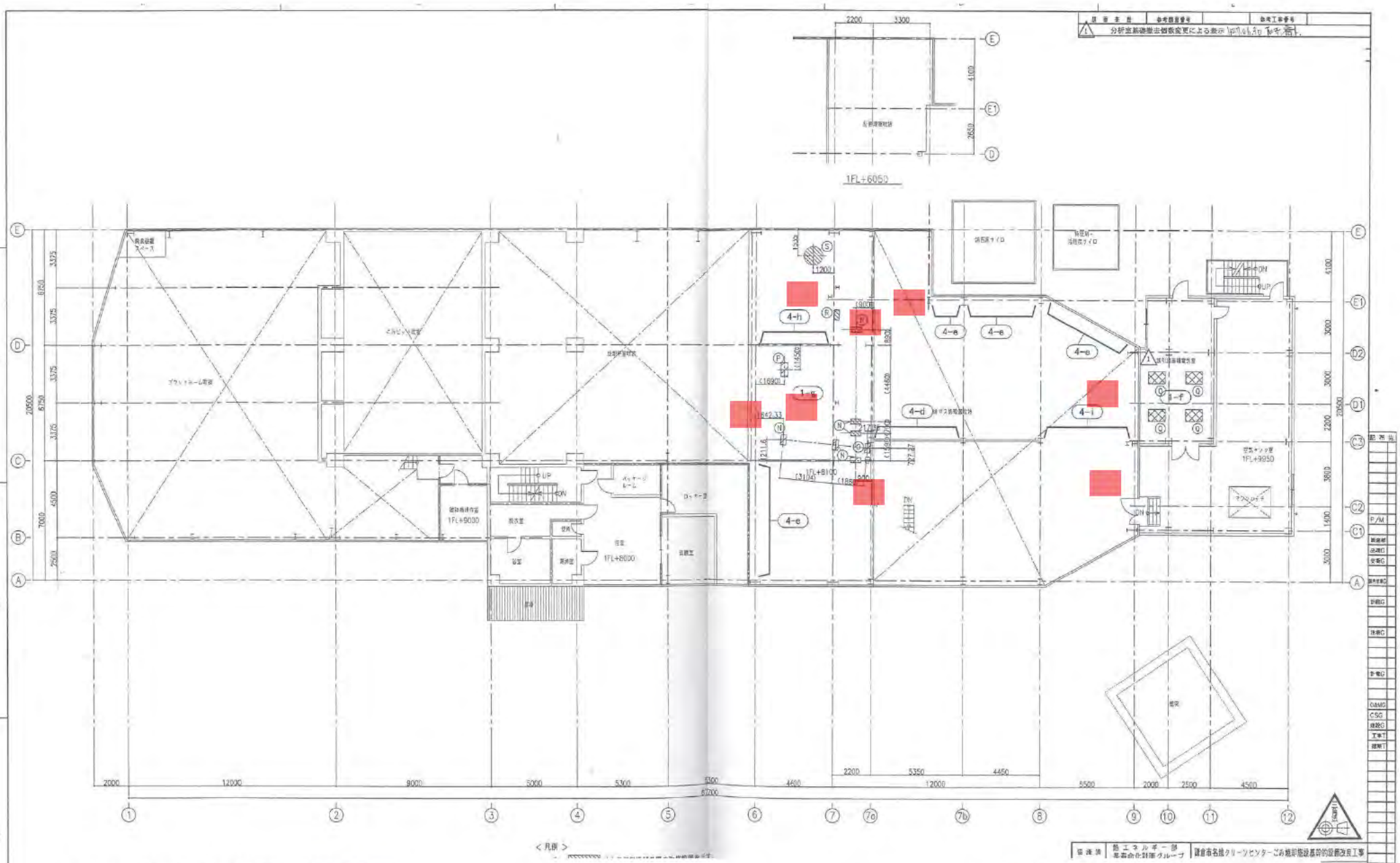
アスベスト含有建材範囲図
（たわみ継手）

工場棟（既存部）
5F



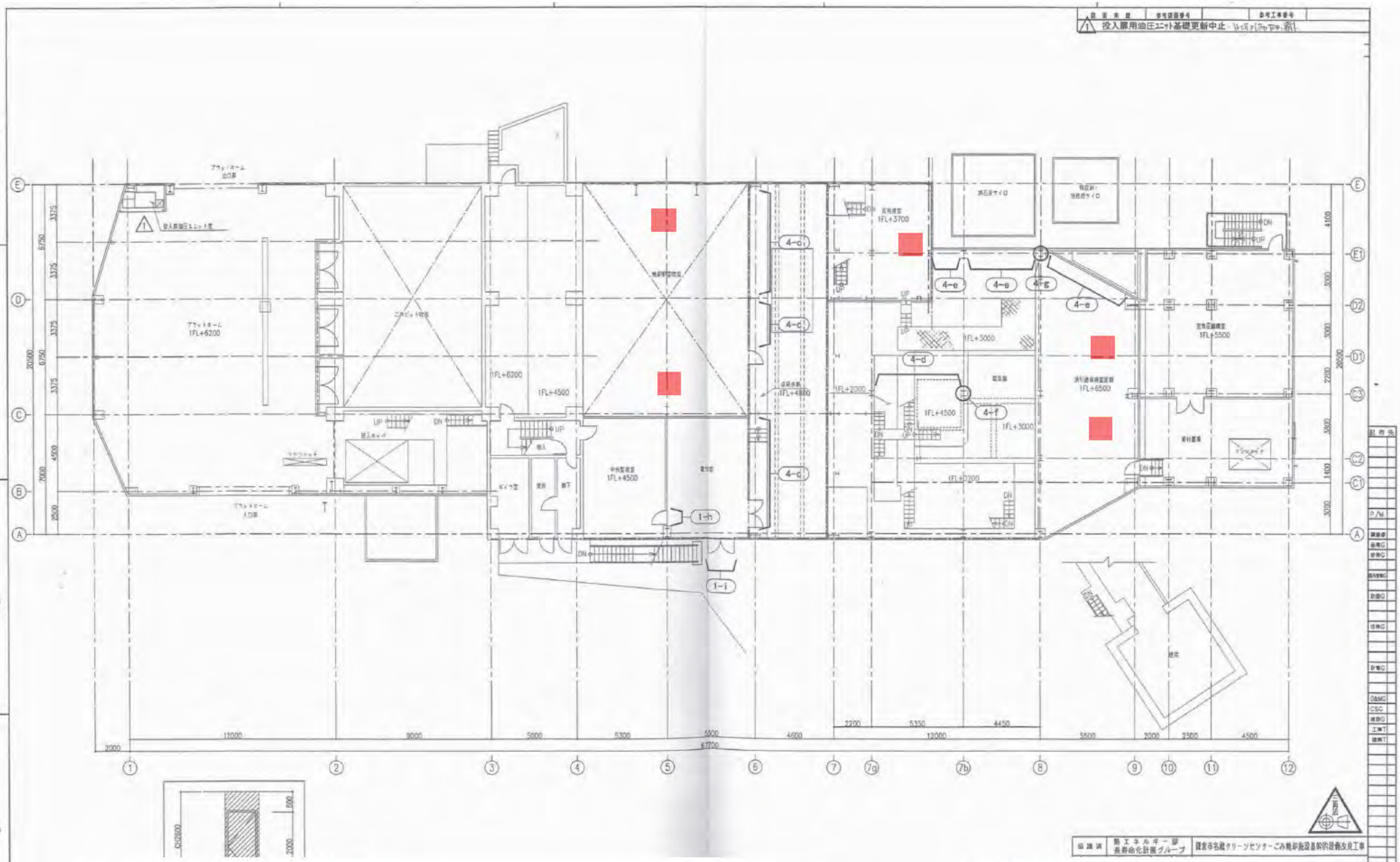
アスベスト含有建材範囲図
（たわみ継手）

工場棟（既存部）
4F



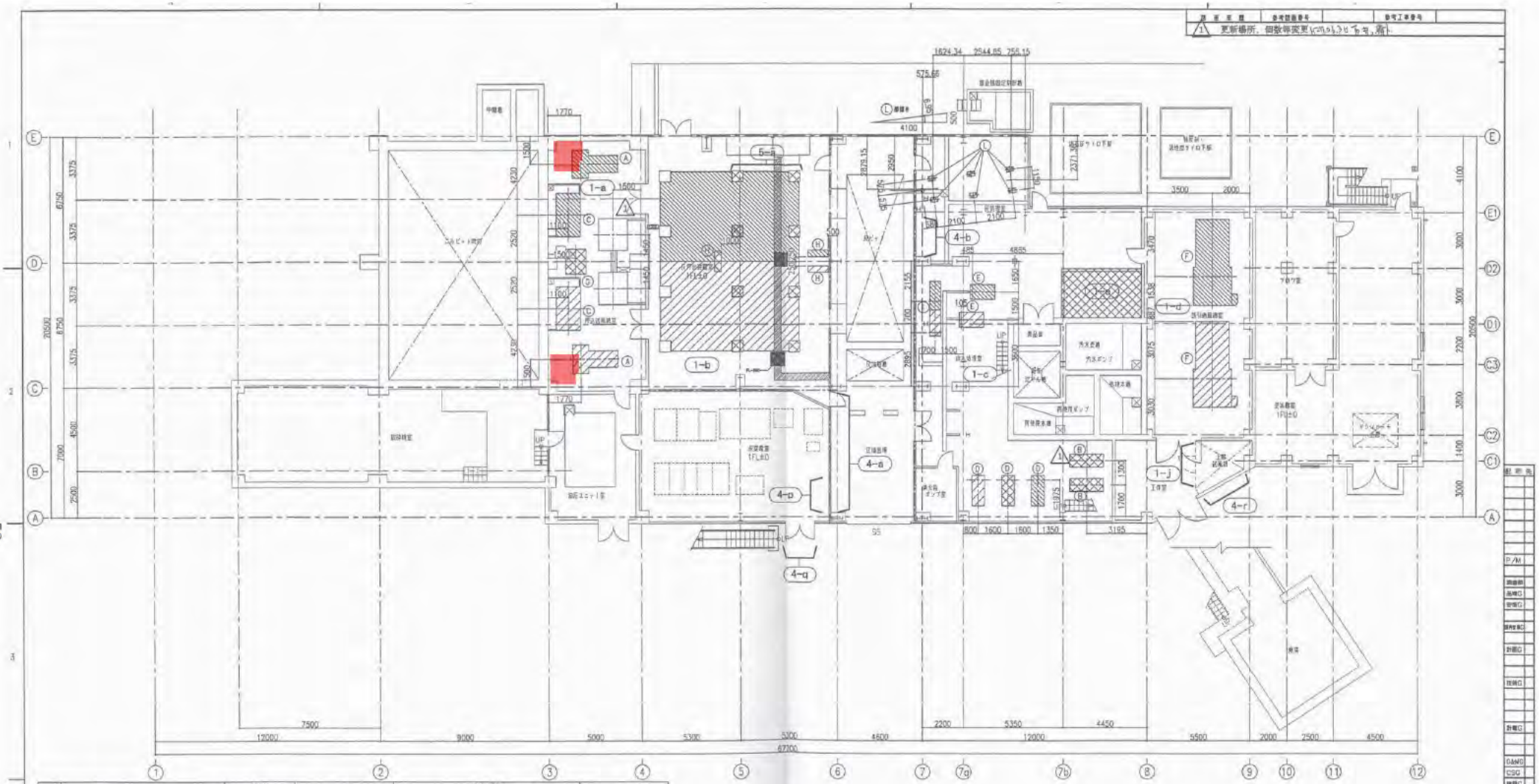
アスベスト含有建材範囲図
（たわみ継手）

工場棟（既存部）
3F



アスベスト含有建材範囲図
（たわみ継手）

工場棟（既存部）
2F



符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	室名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(雑用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引通風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	除除用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	減温水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			

<凡例>

1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▩ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

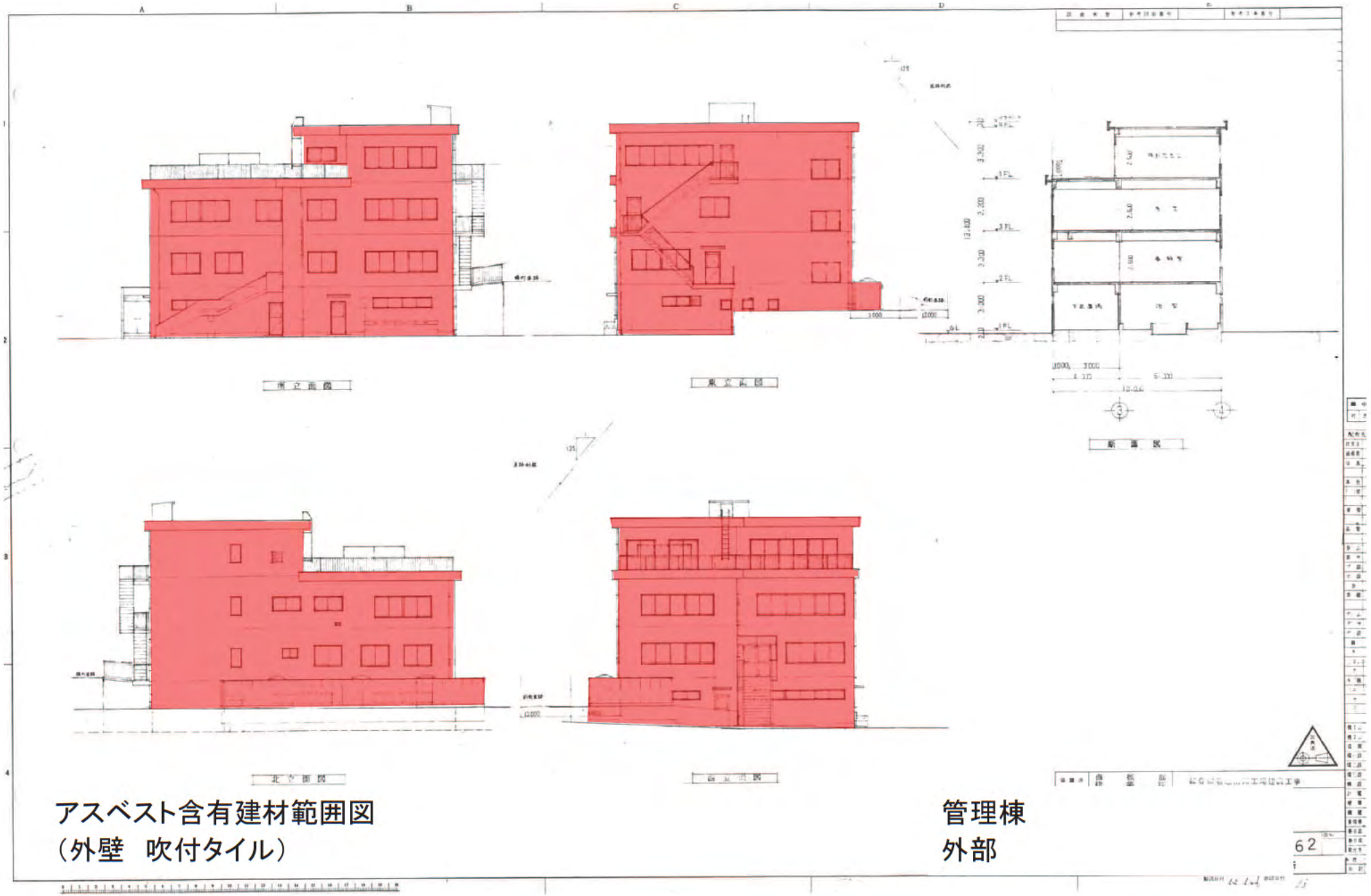
本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社にあります。当社の文書による承認を得た場合を除き、(1) 許可なく複製・引用・その他これに類似する行為を (2) 許可なく第三者に公開・開示しない。(3) 許可なく指定された用途以外に使用しない。

協議先 熱エネルギー部 長寿命化計画グループ

議倉市名越クリーンセンターごみ焼却設備延命化工事

アスベスト含有建材範囲図（たわみ継手）

工場棟（既存部）1F



アスベスト含有建材範囲図
（外壁　吹付タイル）

管理棟
外部

アスベスト含有建材範囲図
（リシン吹付）

アスベスト含有建材範囲図
（天井　化粧石膏ボード）

アスベスト含有建材範囲図
（塗床）

アスベスト含有建材範囲図
（配管エルボ保温材）

アスベスト含有建材範囲図
（シート防水（茶））

管理棟

アスベスト含有建材範囲図
（塗膜防水（灰））

アスベスト含有建材範囲図
（アスファルト防水）

アスベスト含有建材範囲図
（天井　石膏ボード）

アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木（灰））

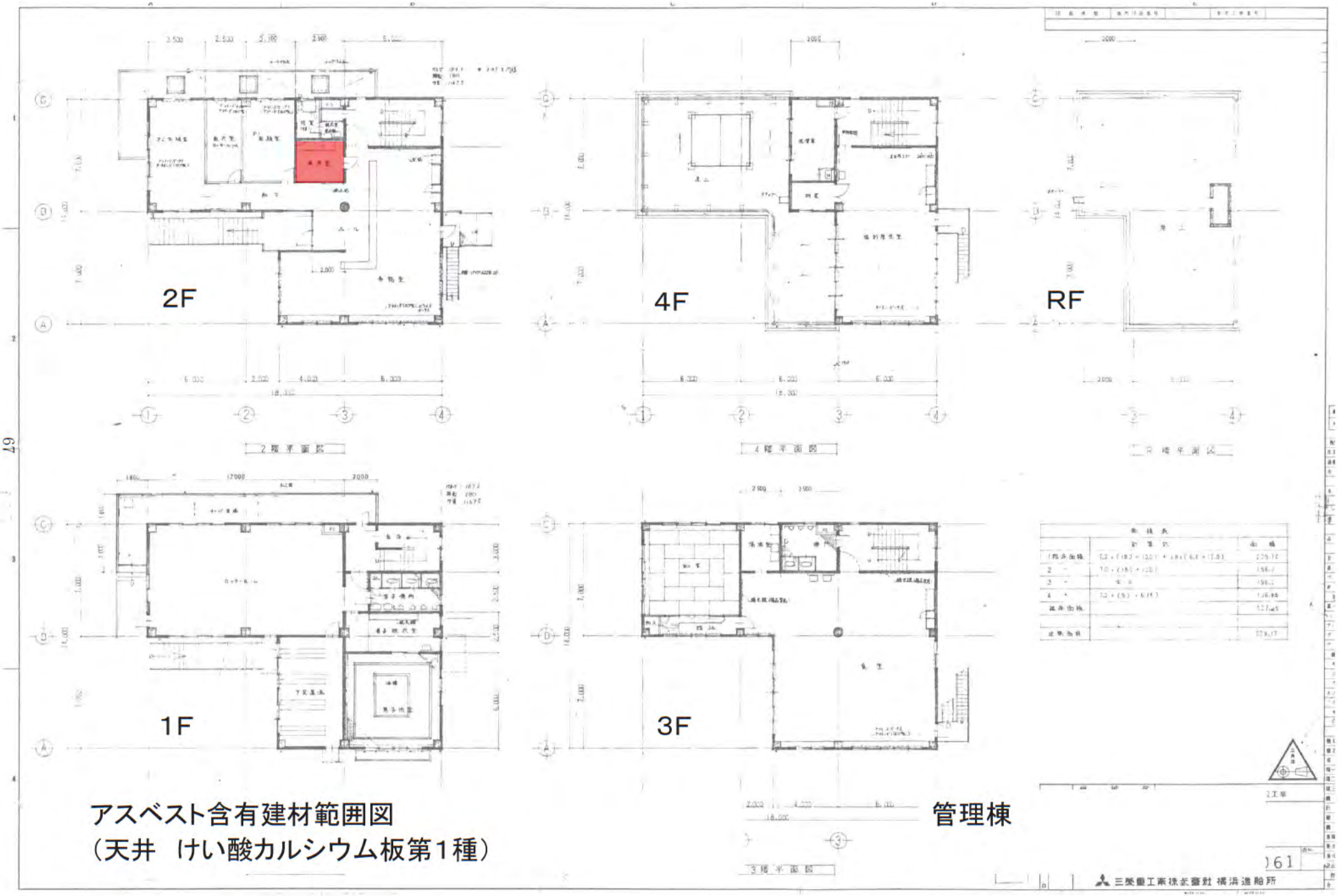
管理棟

アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（青））

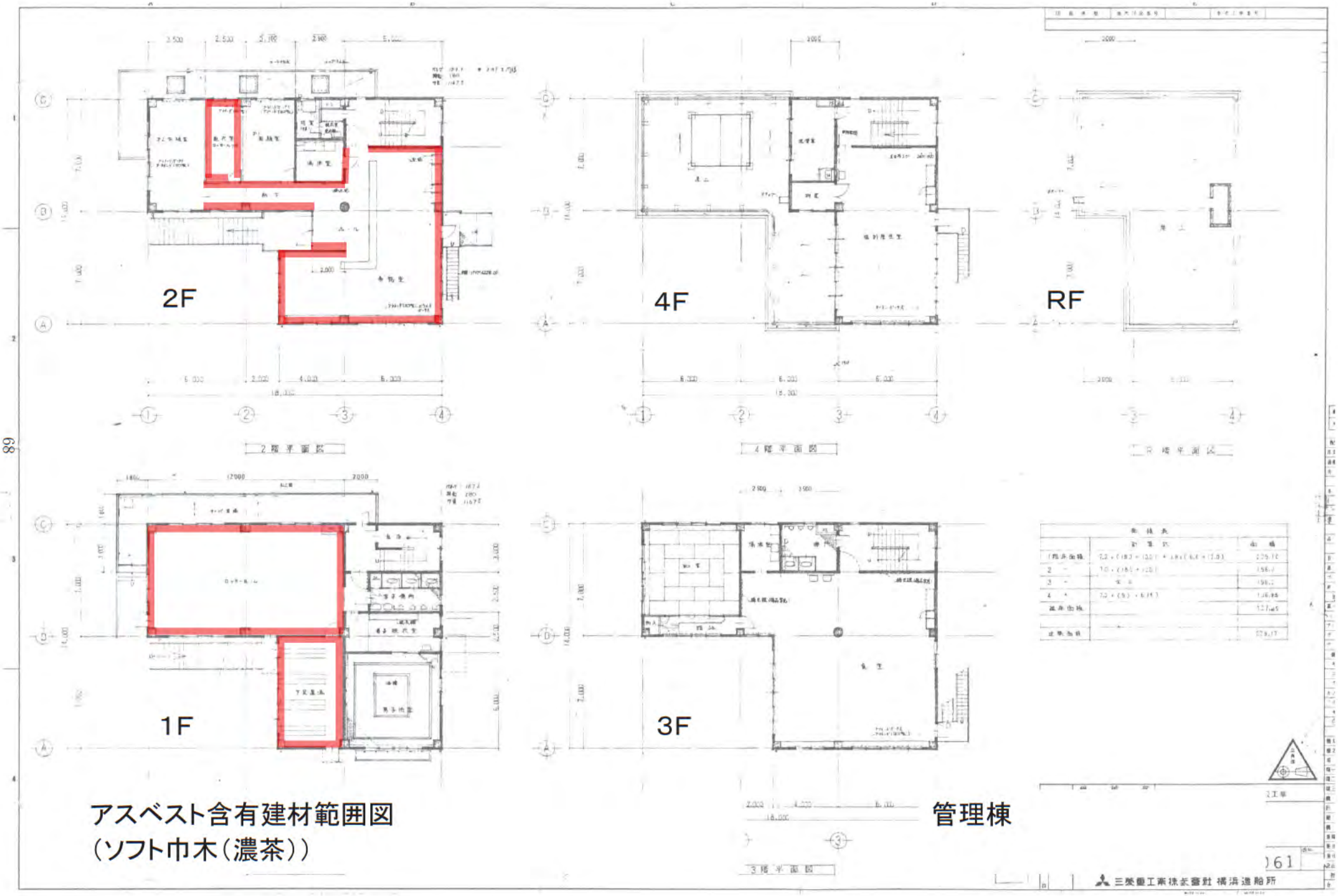
アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木（茶））

管理棟

アスベスト含有建材範囲図
（天井　化粧石膏ボード（柾目））



アスベスト含有建材範囲図
（天井　けい酸カルシウム板第1種）



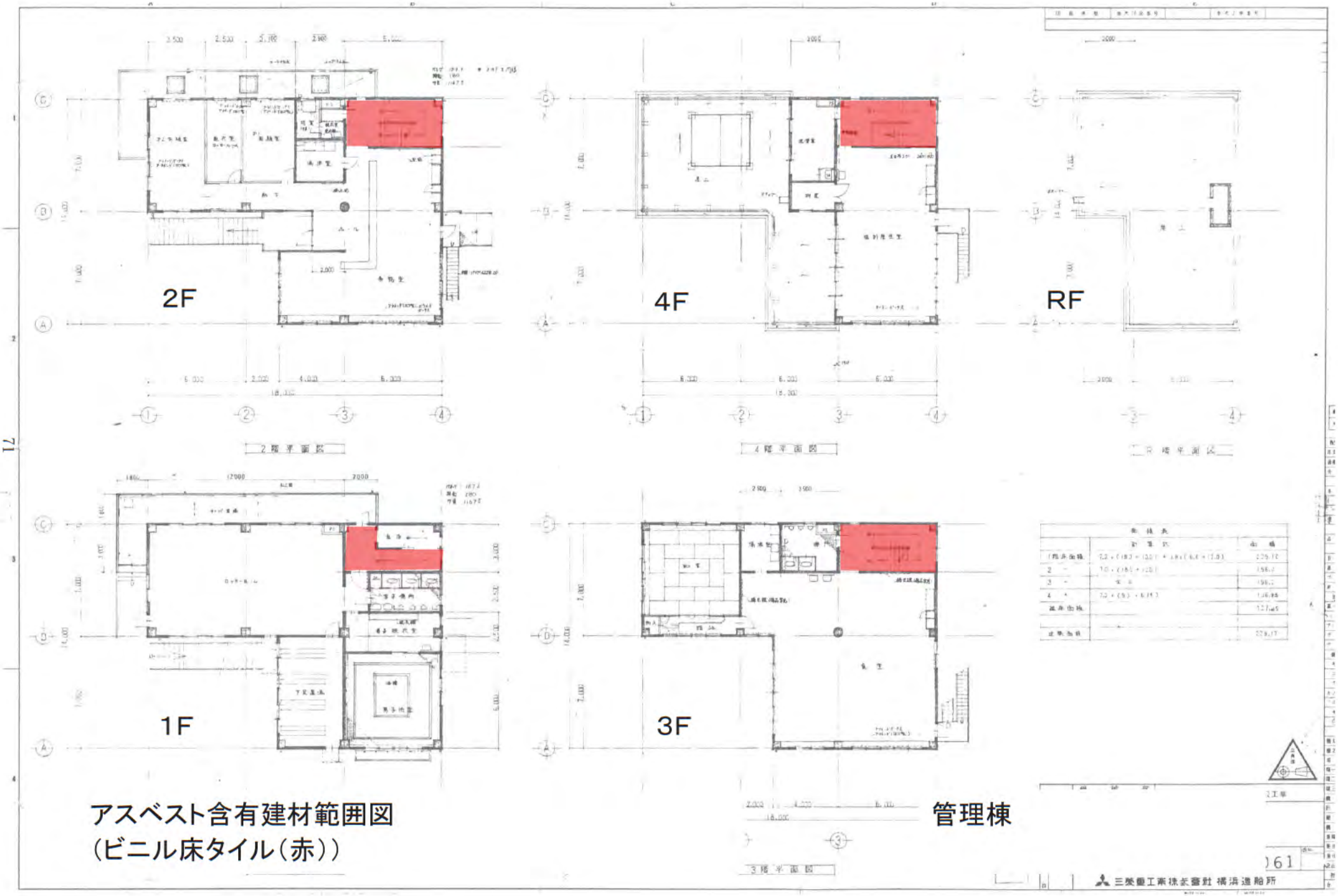
アスベスト含有建材範囲図
（ソフト巾木（濃茶））

管理棟

アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（桃））

管理棟

アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（茶））



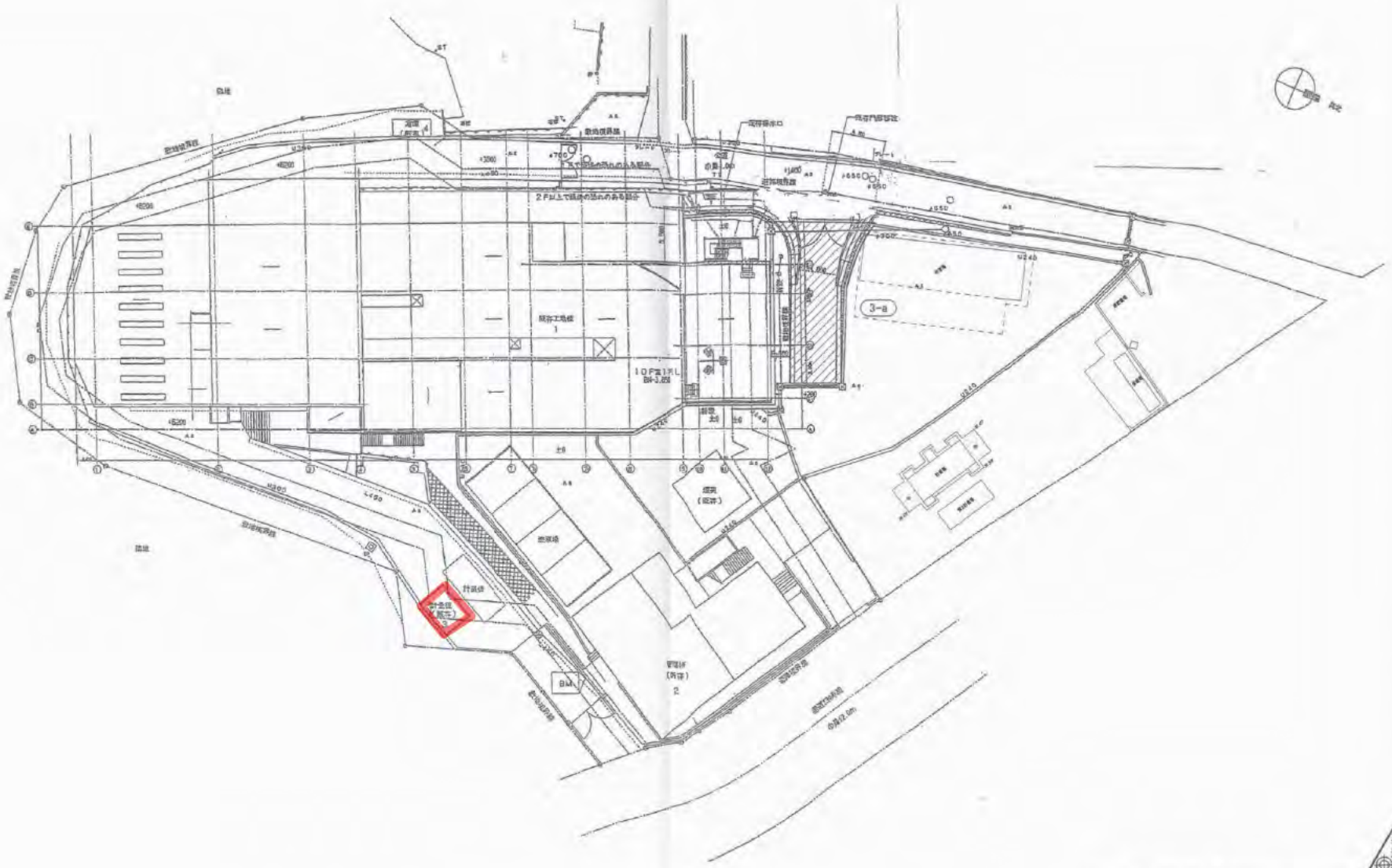
アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（赤））

管理棟

三菱重工業株式会社 横浜造船所

アスベスト含有建材範囲図
（ビニル床タイル（白））

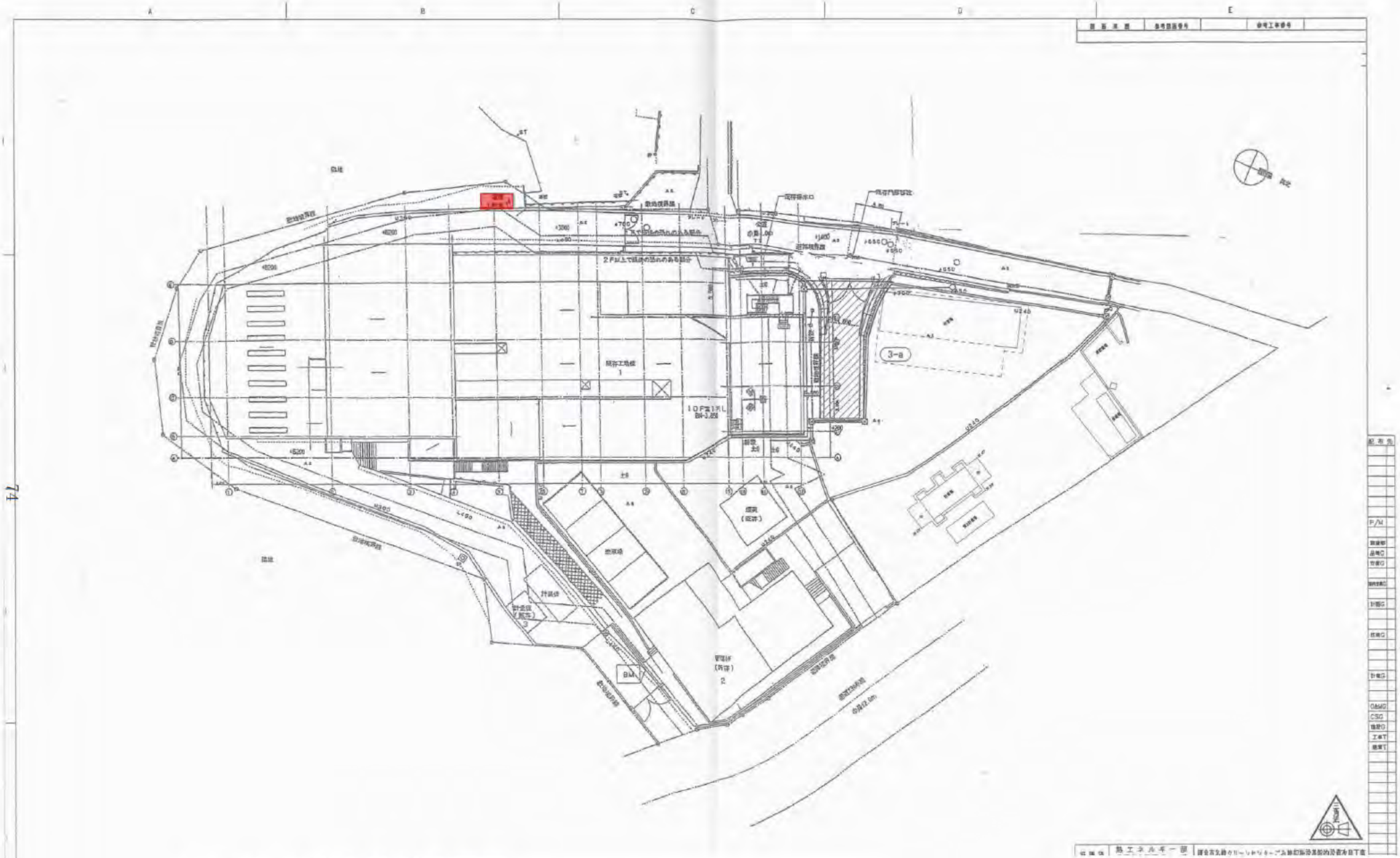
管理棟



アスベスト含有建材範囲図
（壁　石膏ボード）

第1計量棟

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社



アスベスト含有建材範囲図
（屋根　波型スレート（小波））

危険物庫

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

別添３「分析結果報告書」

（試料採取位置図、試料採取写真含む）

分 析 結 果 報 告 書

発 行 日　2023年1月13日

発行番号 G2022-01494,03423　1/7

鎌倉市長 様

[redacted]
中[redacted]社
関[redacted]ー
千[redacted]大野台2丁目2番16
Tel(043)-295-1101(代)[redacted]
計量管理者 [redacted]
分析責任者 [redacted]

件名

鎌倉市名越中継施設整備発注支援等業務委託

採取場所

名越クリーンセンター(神奈川県鎌倉市大町五丁目11番16号)

ご依頼のありました試料中の石綿(アスベスト)分析結果を以下の通り報告申し上げます。

＜分析方法＞　JIS A 1481-1(2016)
建材製品中のアスベスト含有率測定方法－第1部:市販バルク材からの試料採取及び定性的判定方法

＜分析実施日＞　2022年10月14日 ～11月24日、12月6日 ～ 9日

＜分 析 者＞　[redacted] (公社)日本作業環境測定協会 (JIS A 1481-1,5 Aランク [redacted]号)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
1	工場棟(増設部) 外壁 吹付タイル	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:2%	含有
		層2	無検出	0	主材 白色 層割合:43%	
		層3	クリソタイル	0.1～5	下地調整材 灰色 層割合:55%	
2	工場棟(増設部) 3F 空気タンク室 梁 吹付け材	層1	無検出	0	主材 灰色 層割合:100%	不含

備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

採取年月日:2022年10月12日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
3	工場棟(増設部) 3F 誘引送風機電気室 壁 石膏ボード	層1	無検出	0	クロス 白色 層割合:10%	不含
		層2	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
		層3	無検出	0	本体 白色 層割合:80%	
		層4	無検出	0	紙材 薄灰色 層割合:5%	
4	工場棟(増設部) 2F 空気圧縮機室 柱 けい酸カルシウム板第2種	層1	無検出	0	本体 白色 層割合:100%	不含
5	工場棟(増設部) 1F ブロア室 壁 けい酸カルシウム板第2種	層1	無検出	0	本体 白色 層割合:100%	不含
6	工場棟(増設部) 1F ブロア室 壁 耐熱シール材	層1	無検出	0	本体 灰色 層割合:100%	不含
7	工場棟(増設部) 1F ブロア室 壁 吹付タイル	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:2%	不含
		層2	無検出	0	主材 白色 層割合:58%	
		層3	無検出	0	下地調整材 灰色 層割合:35%	
		層4	無検出	0	主材 薄茶色 層割合:5%	
8	工場棟(増設部) 1F 受水槽室 設備 ガスケット	層1	クリソタイル	5～50	本体 茶色 層割合:100%	含有

備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

採取年月日:2022年10月12日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
9	工場棟(既存部) 外壁 リシン吹付	層1	無検出	0	上塗材 薄茶色 層割合:2%	不含
		層2	無検出	0	主材 薄茶色 層割合:43%	
		層3	無検出	0	下地調整材 白色 層割合:55%	
10	工場棟(既存部) ボイラー室 外壁 リシン吹付	層1	クリソタイル	0.1～5	主材 薄茶色 層割合:100%	含有
11	工場棟(既存部) ボイラー室 設備 ガスケット	層1	無検出	0	アルミ箔 銀色 層割合:20%	不含
		層2	無検出	0	本体 緑色 層割合:80%	
12	工場棟(既存部) 折板屋根 折板断熱材	層1	無検出	0	本体 薄橙色 層割合:100%	不含
13	工場棟(既存部) 5F ゴミピット 壁 フレキシブルボード	層1	クリソタイル	5～50	本体 薄灰色 層割合:100%	含有
14	工場棟(既存部) 4F 倉庫 天井 木毛セメント板	層1	無検出	0	本体 茶色+灰色 層割合:100%	不含
15	工場棟(既存部) 4～2F 階段室 段裏 リシン吹付	層1	無検出	0	主材 白色 層割合:20%	不含
		層2	無検出	0	下地調整材 灰色 層割合:80%	

備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

採取年月日:2022年10月12日、12月5日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
16	工場棟(既存部) 3F パッケージルーム 天井 化粧石膏ボード	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:5%	不含
		層2	無検出	0	紙材 薄灰色 層割合:10%	
		層3	無検出	0	本体 白色 層割合:75%	
		層4	無検出	0	紙材 薄灰色 層割合:10%	
17	工場棟(既存部) 3F ロッカー室 壁 石膏ボード	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:5%	不含
		層2	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
		層3	無検出	0	本体 白色 層割合:85%	
		層4	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
18	工場棟(既存部) 3F 1号炉内 壁 キャスタブル	層1	無検出	0	本体 黄土色 層割合:100%	不含
19	工場棟(既存部) 2F 誘引通風機室屋根 設備 角ダクトパッキン	層1	無検出	0	本体 白色 層割合:100%	不含
20	工場棟(既存部) 1F 受変電室 壁 けい酸カルシウム板第2種	層1	無検出	0	本体 白色 層割合:100%	不含
21	工場棟(既存部) 1F 受変電室 壁 耐熱シール材	層1	無検出	0	本体 灰色 層割合:100%	不含
22	工場棟(既存部) 1F 油圧ユニット、押込送風機室 壁 吹付け材	層1	クリソタイル	0.1～5	主材 白色 層割合:100%	含有

備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

採取年月日:2022年10月12日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
23	工場棟(既存部) 1F 油圧ユニット 設備 配管エルボ保温材	層1	アモサイト アクチノライト	0.1～5 0.1～5	本体 茶色 層割合:100%	含有
24	管理棟 外壁 吹付タイル	層1	無検出	0	上塗材 薄茶色 層割合:2%	含有
		層2	無検出	0	主材 白色 層割合:88%	
		層3	クリソタイル	0.1～5	下地調整材 薄灰色 層割合:10%	
25	管理棟 3F 和室 壁 ジュラク塗＋石膏ボード(2重張)	層1	無検出	0	主材 茶色 層割合:5%	不含
		層2	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
		層3	無検出	0	本体 白色 層割合:45%	
		層4	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
		層5	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
		層6	無検出	0	本体 白色 層割合:30%	
		層7	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
26	管理棟 3～2F 階段室 段裏 リシン吹付	層1	無検出	0	主材 白色 層割合:75%	含有
		層2	クリソタイル	0.1～5	下地調整材 薄灰色 層割合:25%	

備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

採取年月日:2022年10月12日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
27	管理棟 2F 会議室 天井 化粧石膏ボード	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:5%	含有
		層2	クリソタイル	0.1～5	紙材 薄茶色 層割合:5%	
		層3	無検出	0	本体 白色 層割合:85%	
		層4	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:5%	
28	管理棟 2F 更衣室 塗床	層1	無検出	0	上塗材 緑色 層割合:5%	含有
		層2	クリソタイル	0.1～5	下塗材 白色 層割合:3%	
		層3	無検出	0	下地材 薄灰色 層割合:92%	
29	管理棟 1F カッパ置場 天井・壁 リシン吹付	層1	無検出	0	主材 白色 層割合:40%	含有
		層2	クリソタイル	0.1～5	下地調整材 灰色 層割合:60%	
30	管理棟 1F ロッカー室 設備 配管エルボ保温材	層1	アモサイト アクチノライト	0.1～5 0.1～5	本体 薄灰色 層割合:100%	含有
31	第1計量棟 外壁 リシン吹付	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:2%	不含
		層2	無検出	0	主材 薄灰色 層割合:33%	
		層3	無検出	0	下地調整材 白色 層割合:65%	

備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

採取年月日:2022年10月12日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

試料名			アスベスト種類	推定アスベスト含有率(%)	コメント	判定
32	第1計量棟 天井 化粧石膏ボード	層1	無検出	0	上塗材 白色 層割合:5%	不含
		層2	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:10%	
		層3	無検出	0	本体 白色 層割合:75%	
		層4	無検出	0	紙材 薄茶色 層割合:10%	
33	危険物庫 外壁 リシン吹付	層1	無検出	0	主材 薄灰色 層割合:80%	不含
		層2	無検出	0	下地調整材 灰色 層割合:20%	
34	煙突棟 1号炉煙突 煙道内壁 ライニング材	層1	無検出	0	主材 茶色 層割合:5%	不含
		層2	無検出	0	主材 薄灰色 層割合:95%	
	以下余白					

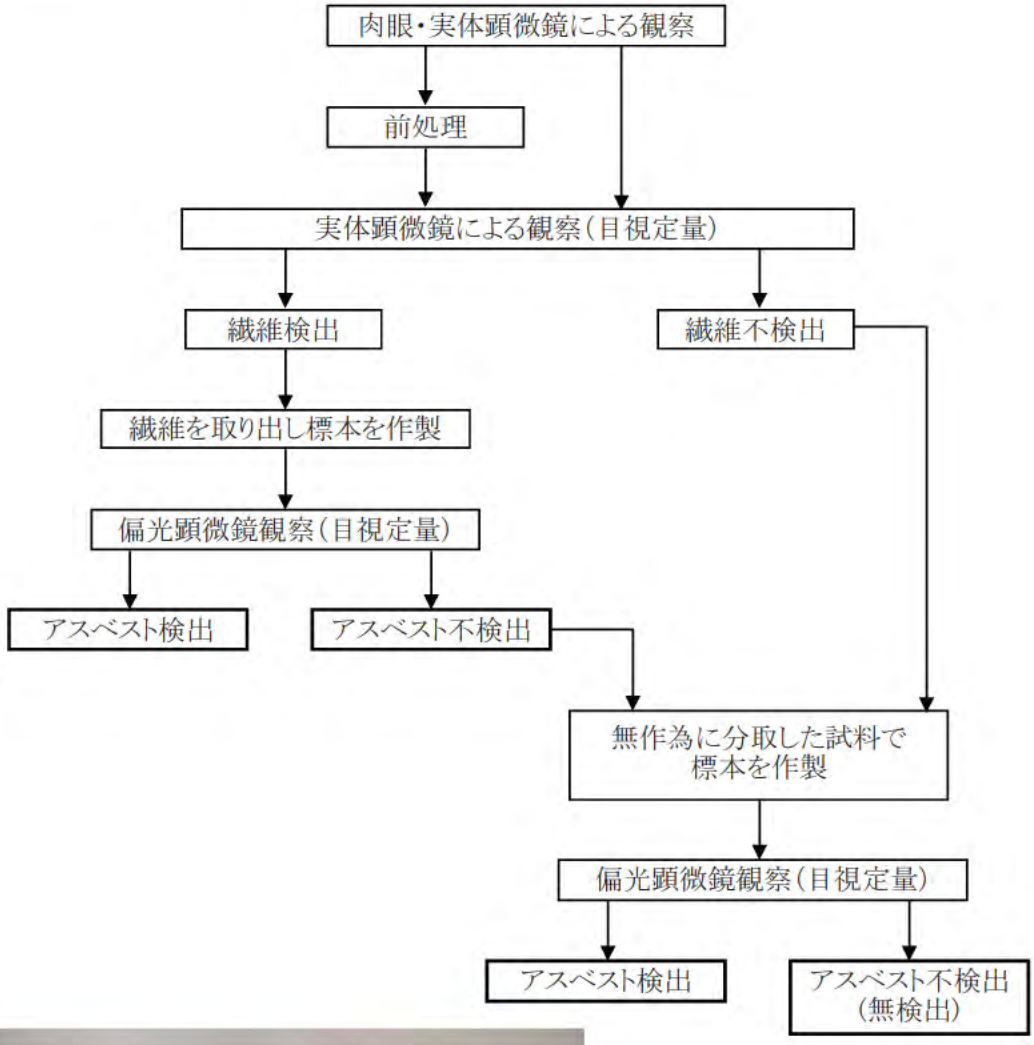
備考1:対象としたアスベストはクリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アクチノライト、アンソフィライト、ウィンチャイト、リヒテライトとします。
備考2:含有と判定された建材等は、石綿障害予防規則に基づく石綿含有製剤等としての適用の対象となります。(平成18年9月1日施行)
備考3:層の表記は表層より層1、層2、層3と示します。
備考4:コメント欄に示す各層の素材分類、外観色、層割合は分析者が目視で判断したものであり、実際とは異なる場合があります。

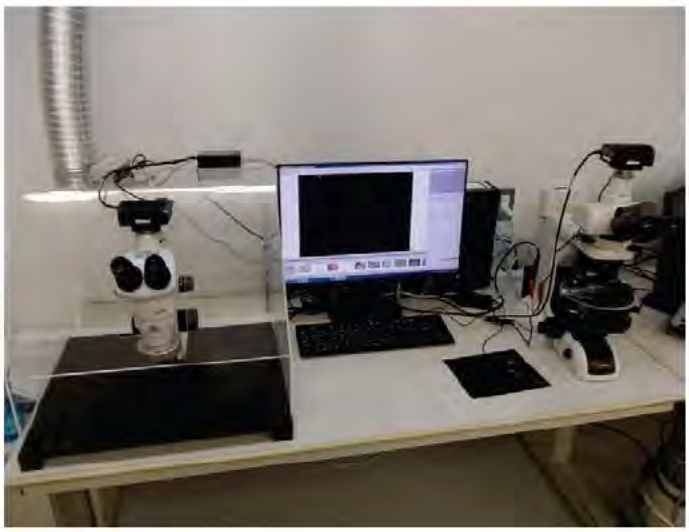
採取年月日:2022年10月12日

採取者氏名:中外テクノス株式会社 [redacted](一般建築物石綿含有建材調査者)

アスベスト分析フロー

試料を肉眼及び実体顕微鏡により予備観察を行う。試料から繊維または素材を取り出し、PLM（偏光顕微鏡）による光学顕微鏡分析を行い、アスベスト検出、不検出を確認する。
（伸長の符号、消光角、分散色、多色性、繊維の形状からアスベスト検出、不検出を確認する。）





使用機器；位相差偏光顕微鏡

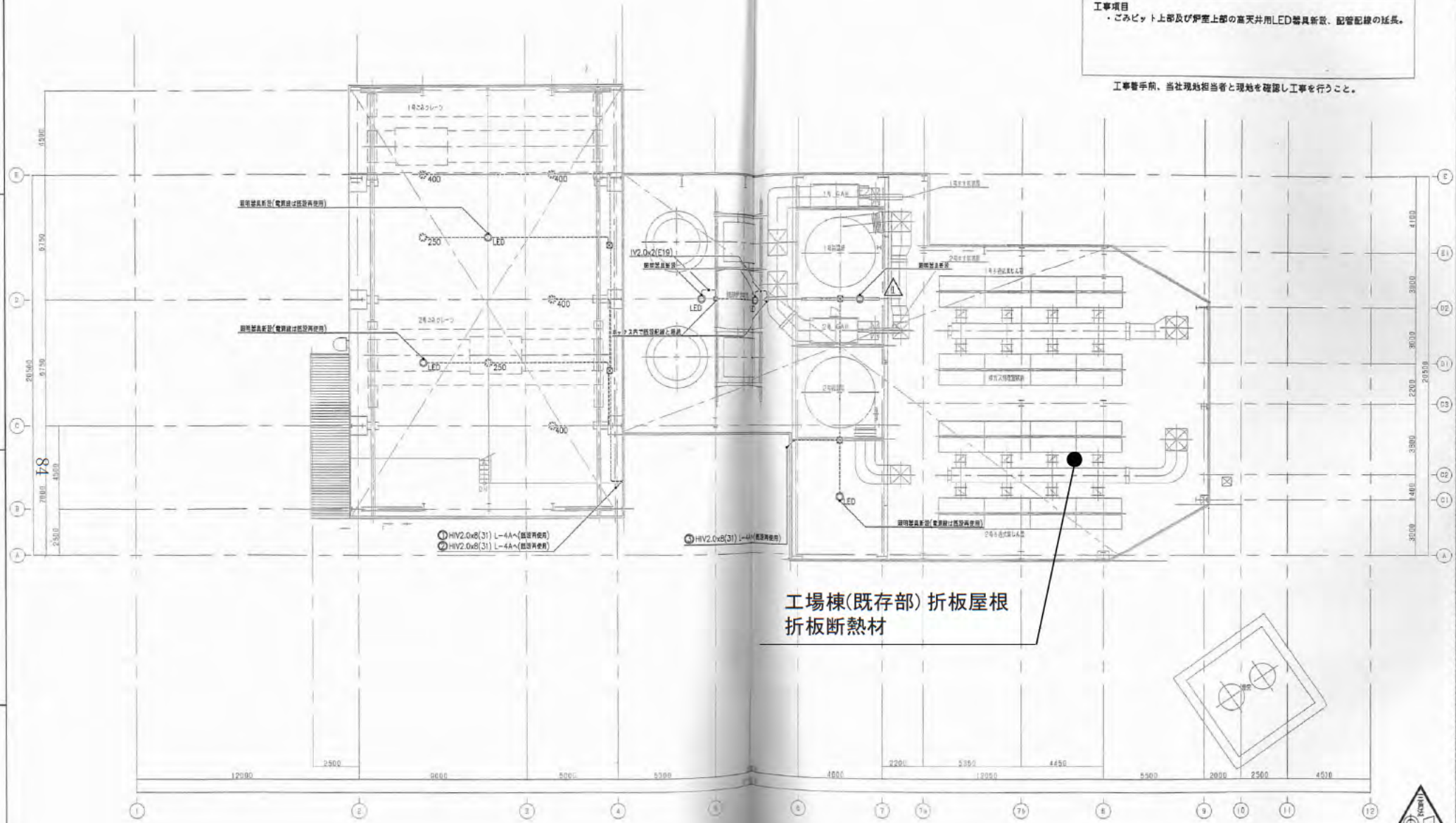
メーカー名；ニコン

型式；ECLIPSE LV100

設計変更	参考図面番号		参考工事番号
1 LEDライトの位置変更に伴い、ケーブル延長を追記。			

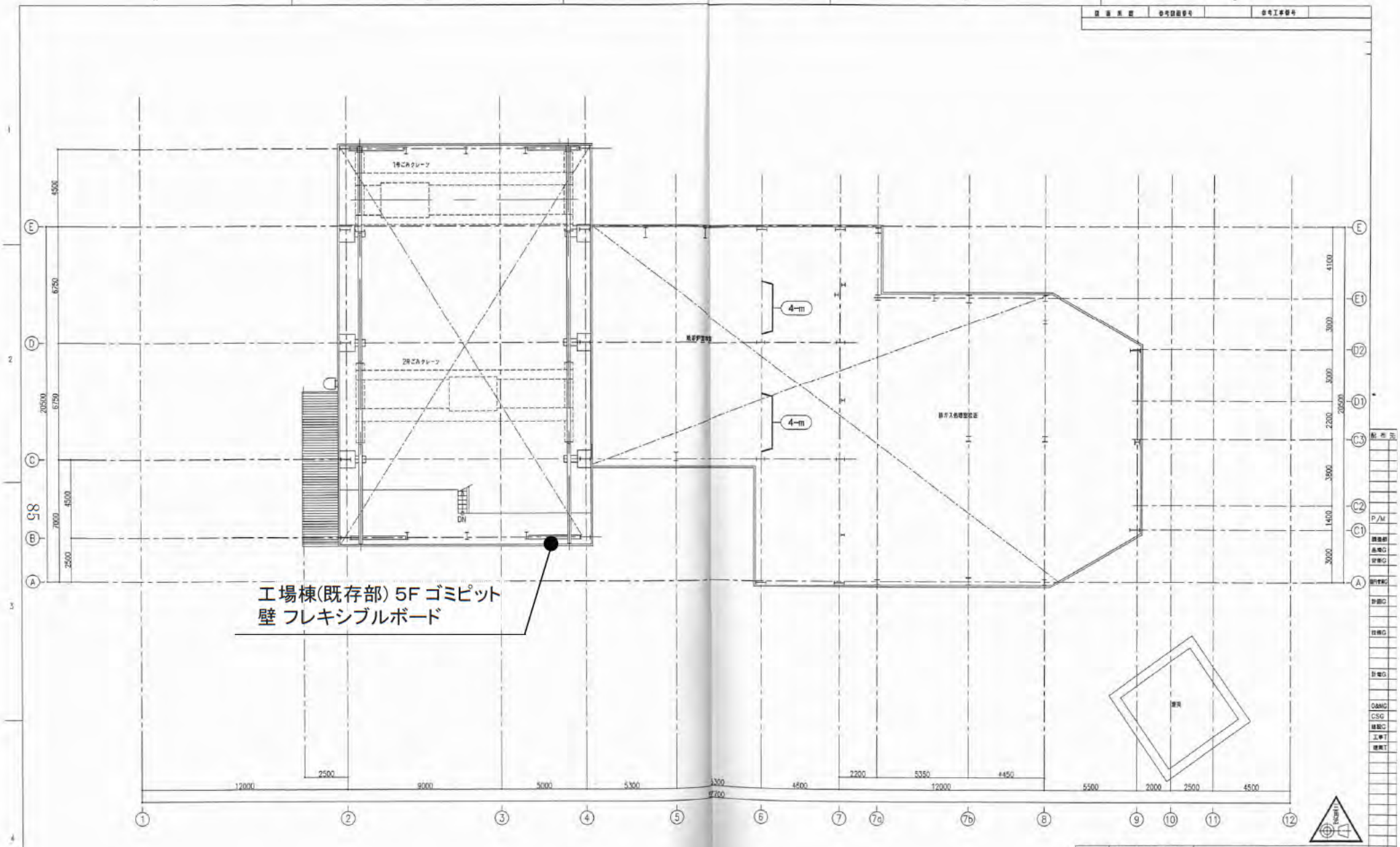
工事項目
・ごみピット上部及び炉室上部の高天井用LED器具新設、配管配線の延長。

工事着手前、当社現地担当者と現地を確認し工事を行うこと。



本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社もしくは三菱重工業株式会社に帰属しますので、当社の文書による承認を得た場合を除き、必ず次の事項を守って下さい。
(1) 許可なく複製・引用・その他これに類似する行為を行わない。
(2) 許可なく第三者に公開・開示しない。
(3) 許可なく指定された用途以外に使用しない。
三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)

協議欄	熱エネルギー部 長寿命化計画グループ	鎌倉市名越クリーンセンターごみ処理施設基幹的設備改良工事
	決 可 / 検図 / 製図	電灯設備 クレーンガーダー階平面図(改修図)
P/M	R 度 1/100	図番 熱工-G0A104601-00643
	工事番号 CS110003699	改版 1
	図面番号	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社



＜凡例＞

1. ——— は改修部材等の範囲を示す。
2. (4-m) は A-07 工事項目表の改修工事 (4) の (m) を参照のこと。

本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社もしくは三菱重工機械式会社に帰属しますので、当社の文書による承認を得た場合を除き、必ず次の事項を守って下さい。
(1) 許可なく複製・引用・その他これに類似する行為を行わない。
(2) 許可なく第三者に公開・提示しない。
(3) 許可なく指定された用途以外に使用しない。
三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)

協議済	熱エネルギー部 長寿命化計画グループ	建倉市名越クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事	
認可	検図	製図	クレーンガーダー階平面図（改修図）
[redacted]			尺度 1/100
工事番号 CS110003699		図番 熱工-GOA104601-00546	図No.

P/M

図面番号

三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

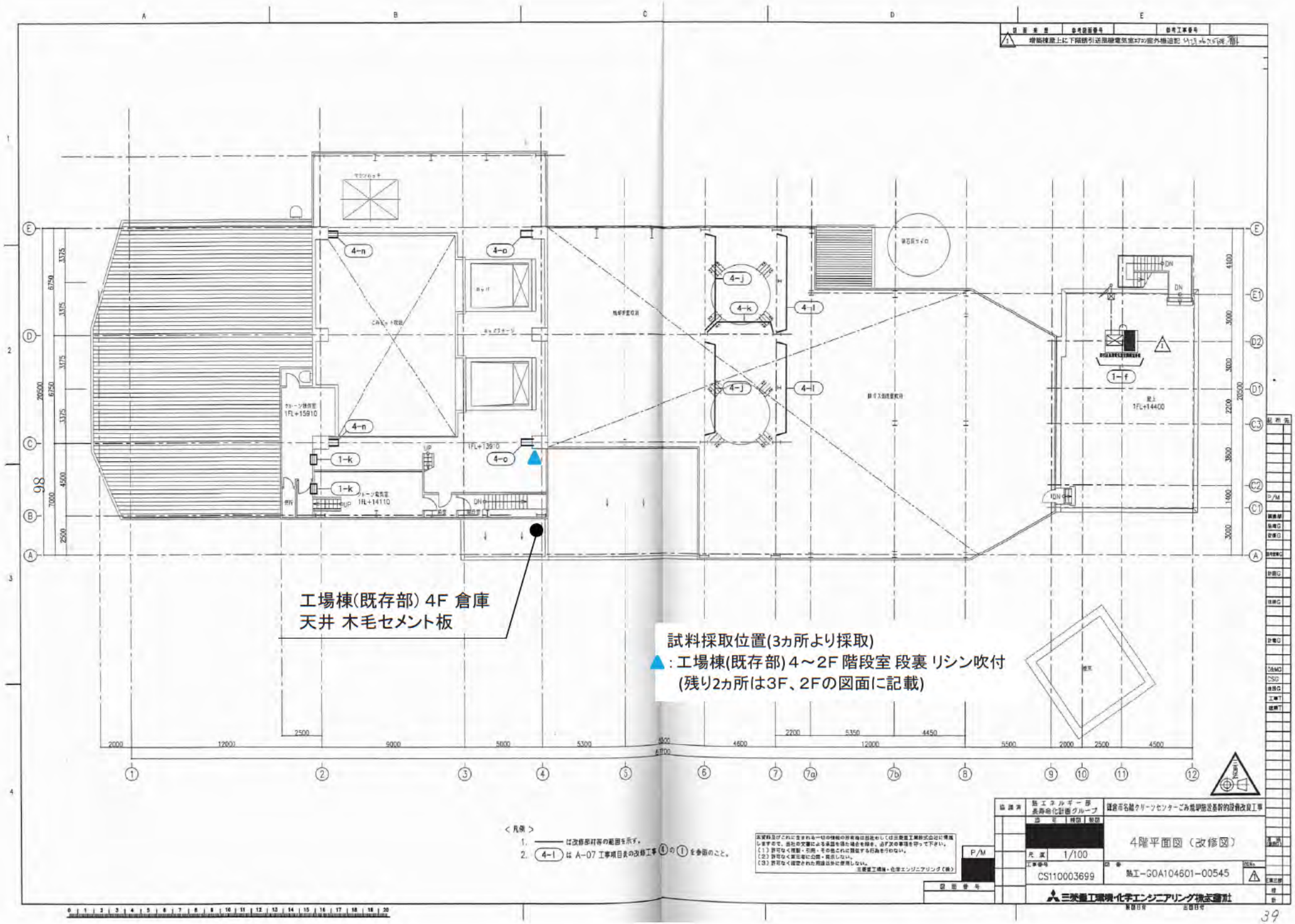
配布先

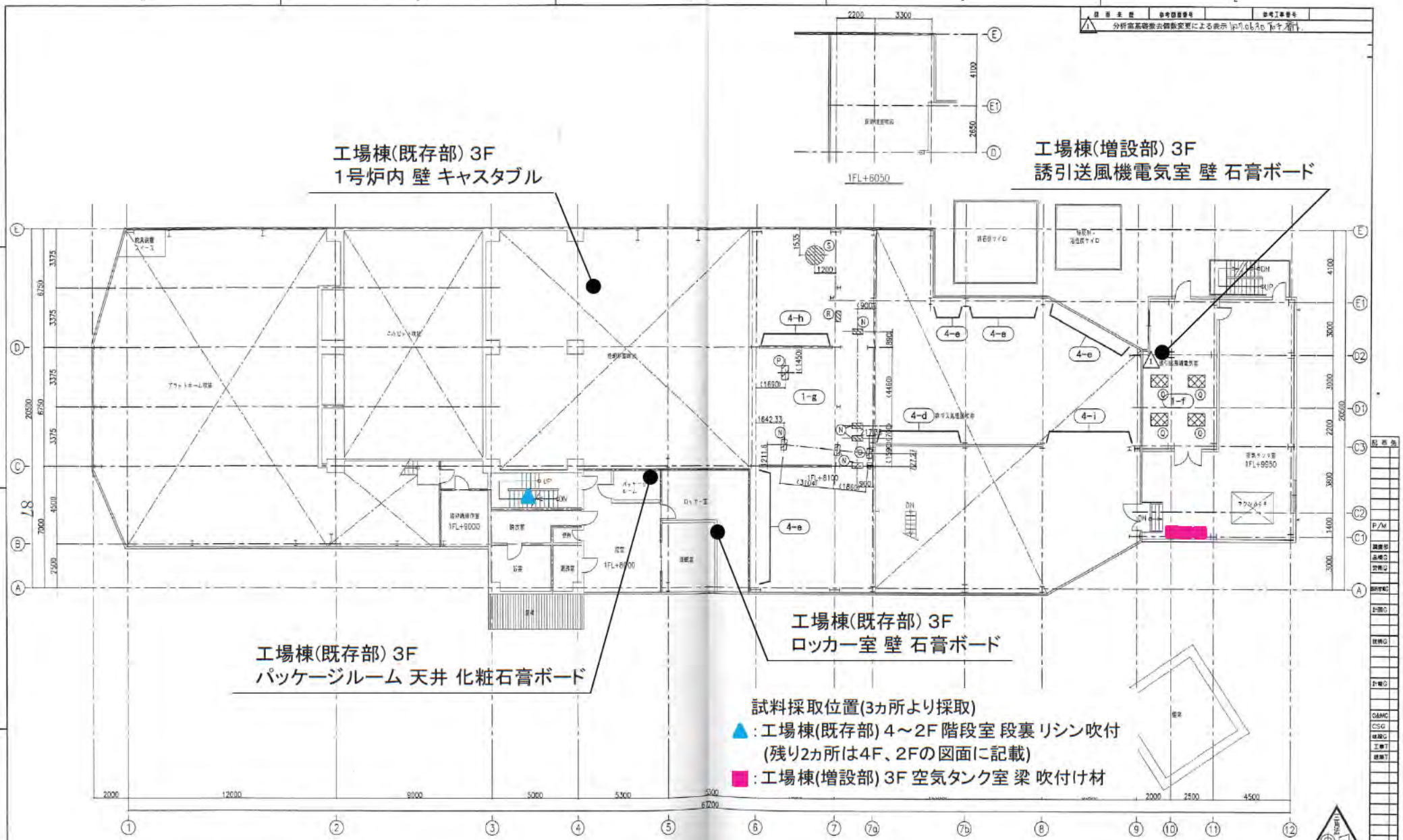
P/M

調査部 品質G 研究G 設計管理G 計画G 技術G 計画G G&MC CSG 建設G 工事T 建築T

85

40


工場棟(既存部) 4F 倉庫
天井 木毛セメント板
試料採取位置(3ヵ所より採取)
▲:工場棟(既存部) 4～2F 階段室 段裏 リシン吹付
(残り2ヵ所は3F、2Fの図面に記載)
4階平面図（改修図）
1/100
CS110003699
熱工-GOA104601-00545
三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社

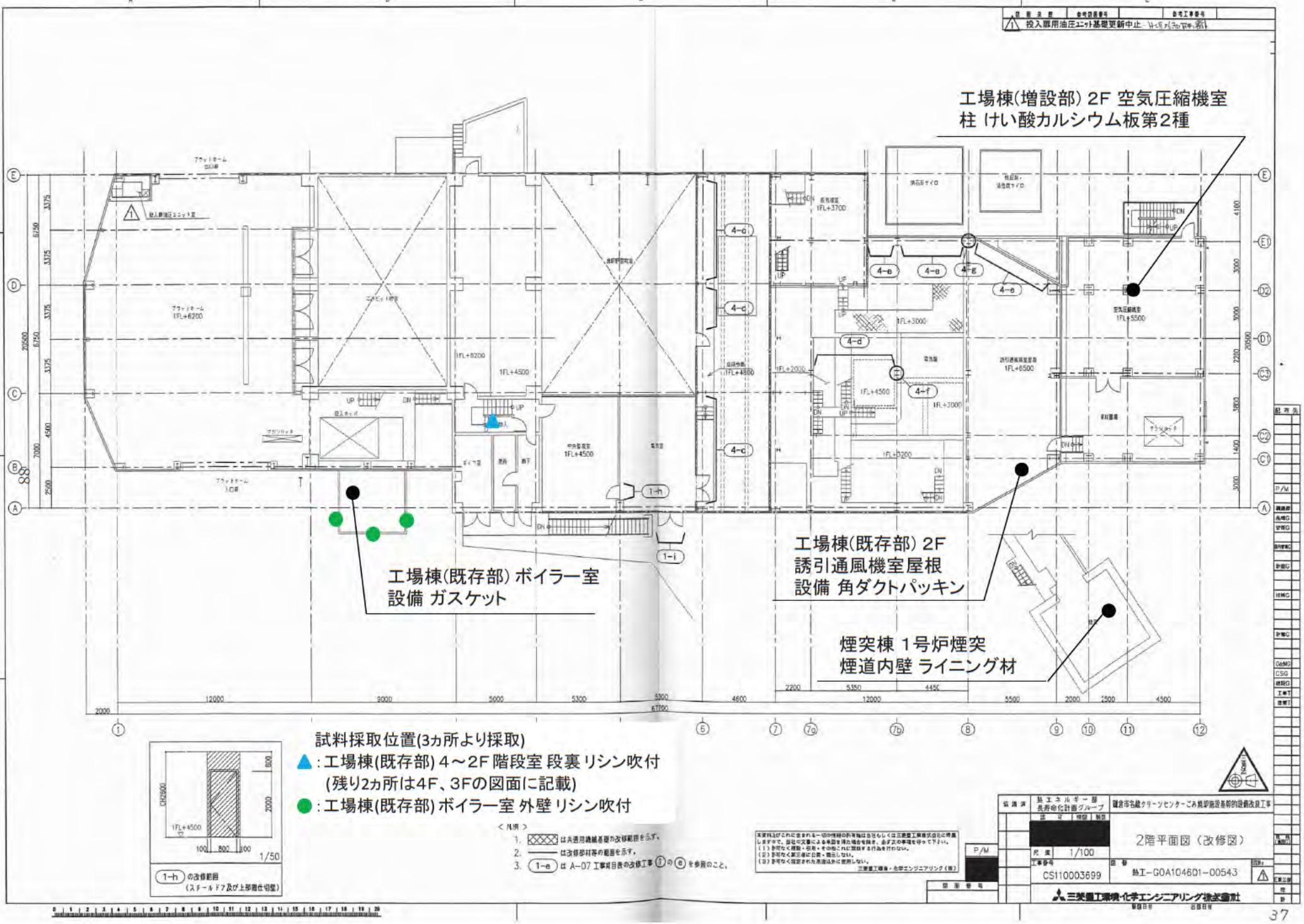


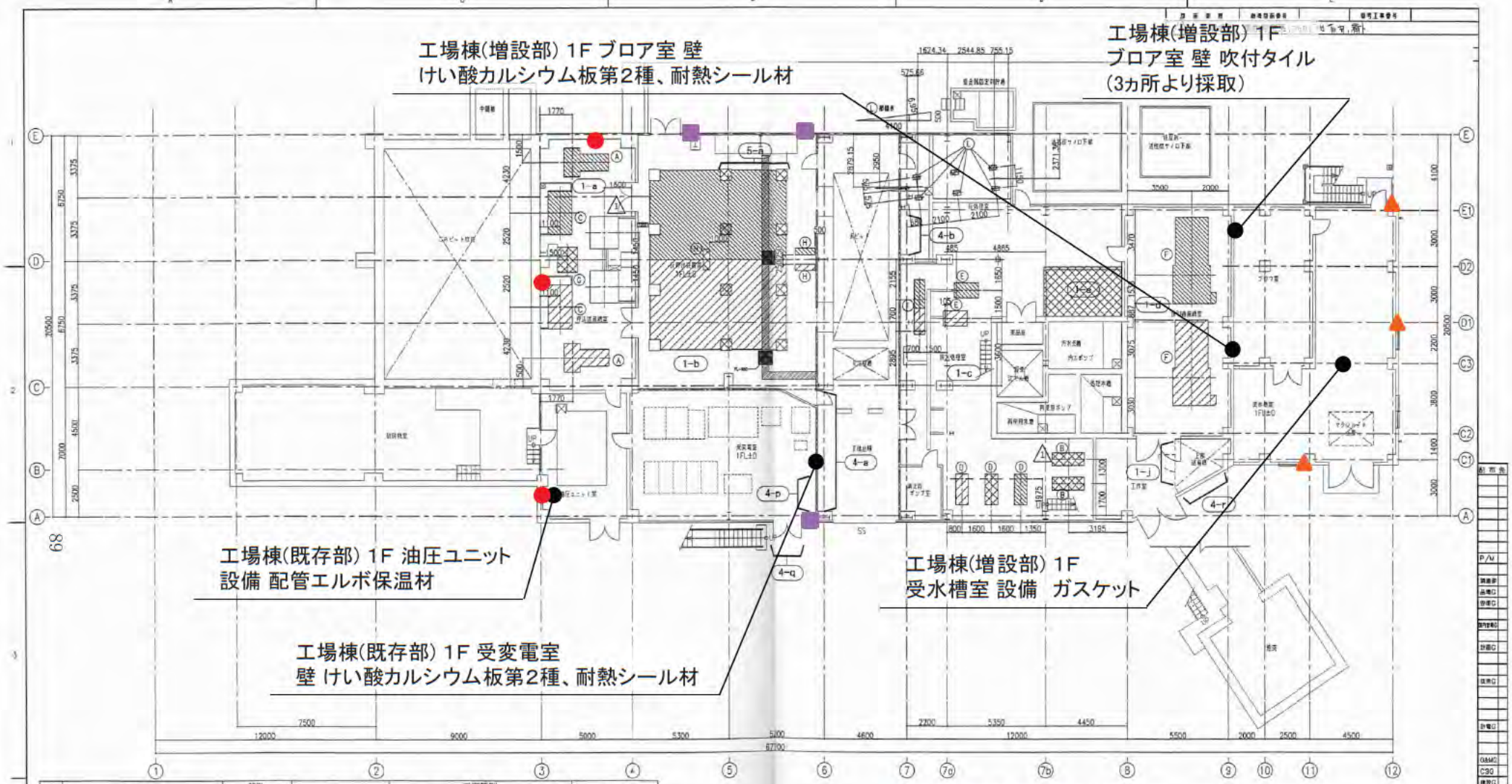
<凡例>

1. ▨ は1号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用機械基礎の改修範囲を示す。
3. ▨ は共通用機械基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-f) は A-07 工事項目表の改修工事 ① の ⓕ を参照のこと。

本資料及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社もしくは三菱重工業株式会社に帰属します なので、当社の文書による承認を得た場合を除き、必ず次の事項を守って下さい。
(1) 許可なく複製・引渡・その他これに類似する行為を行わない。
(2) 許可なく第三者に公表・開示しない。
(3) 許可なく指定された用途以外に使用しない。
三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)

協議欄	熱エネルギー部 長寿命化計画グループ	建設番号	設備名称 クリーンセンター ごみ焼却施設基幹的設備改良工事
	設計 / 検図 / 承認	3階平面図（改修図）
	尺度 1/100	
	工事番号 CS110003699	図番 熱工-GOA104601-00544
	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社	


工場棟(増設部) 2F 空気圧縮機室
柱 けい酸カルシウム板第2種
工場棟(既存部) ボイラー室
設備 ガスケット
工場棟(既存部) 2F
誘引通風機室屋根
設備 角ダクトパッキン
煙突棟 1号炉煙突
煙道内壁 ライニング材
試料採取位置(3ヵ所より採取)
▲:工場棟(既存部) 4～2F 階段室 段裏 リシン吹付
(残り2ヵ所は4F、3Fの図面に記載)
●:工場棟(既存部) ボイラー室 外壁 リシン吹付
1-h の改修範囲
(スチールドア及び上部間仕切壁)
1/50
2階平面図（改修図）
1/100
CS110003699
熱工-G0A104601-00543
三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社



符号	機械基礎名	基数 1号用	基数 2号用	基数 共通	室名	工事種別 撤去のみ	工事種別 撤去後新設	工事種別 新設	工事種別 再利用	備考
Ⓐ	押込送風機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓑ	再使用ポンプ基礎			2	1階 排水処理室		○			
Ⓒ	(雑用) 空気圧縮機基礎	1	1		1階 押込送風機室		○			
Ⓓ	噴射水加圧ポンプ基礎	1	1	1	1階 排水処理室		○			
Ⓔ	機器冷却水ポンプ基礎	1	1				○			
Ⓕ	誘引送風機基礎	1	1		1階 誘引送風機室		○			
Ⓖ	噴霧用空気圧縮機基礎			1	1階 押込送風機室	○				
Ⓗ	階段用基礎	1	1	1	1階 灰押出装置室		○			
Ⓘ	減温水噴射ポンプ基礎	1	1		1階 排水処理室		○			
Ⓛ	処理物搬送コンベヤ基礎			6	1階 灰処理室		○			
Ⓝ	2号減温塔ダスト搬送コンベヤ基礎	2			3階 灰処理室上部		○			
	1,2号ろ過式集塵器ダスト搬送コンベヤ基礎	3	1				○			
Ⓞ	2号減温塔ダスト搬送コンベヤ駆動装置基礎		1		3階 灰処理室上部		○			
Ⓟ	階段用基礎、梯子用基礎	1			3階 灰処理室上部		○			
Ⓠ	分析計室 設備基礎		1	4	3階 分析計室	○				
Ⓡ	1号減温塔ダスト搬送コンベヤ基礎	1			3階 灰処理室上部		○			

試料採取位置(3ヵ所より採取)

▲ : 工場棟(増設部) 外壁 吹付タイル

■ : 工場棟(既存部) 外壁 リシン吹付

● : 工場棟(既存部) 1F 油圧ユニット、押込送風機室 壁 吹付け材

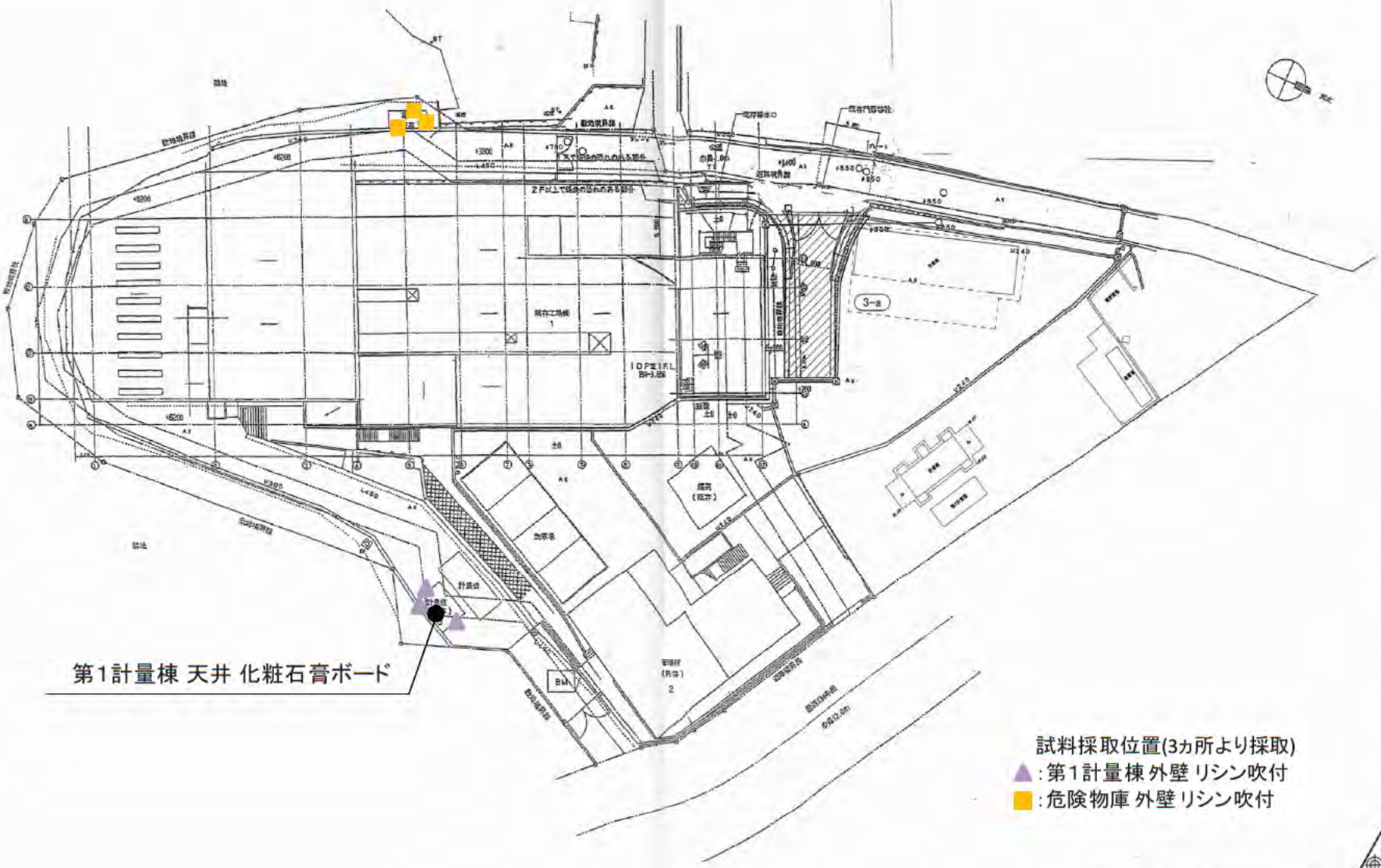
<凡例>

1. ▨ は1号炉用鋼滅基礎の改修範囲を示す。
2. ▨ は2号炉用鋼滅基礎の改修範囲を示す。
3. ▩ は共通用鋼滅基礎の改修範囲を示す。
4. ―― は改修部材等の範囲を示す。
5. (1-a) は A-07 工事項目表の改修工事 (1) の (a) を参照のこと。

本資料及び これに含まれる一切の情報の所有権は当社もしくは三菱重工関係会社に帰属しますので、当社の文書による承認を得た場合を除き、必ず次の事項を守って下さい。
(1) 許可なく複製・引渡・その他これに類似する行為を行わない。
(2) 許可なく第三者に公表・開示しない。
(3) 許可なく当空されたり用途以外に使用しない。
三菱重工機械・化学エンジニアリング(株)

協議済	熱エネルギー部 長寿命化計画グループ	尾鷲市名瀬クリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事
設図番号	尺度 1/100	1階平面図（改修図）
	工事番号 CS110003699	図番 熱エ-G0A104601-00542
	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社	

管理棟 2F 会議室
天井 化粧石膏ボード
管理棟 2F 更衣室 塗床
(3ヵ所より採取)
管理棟 1F カッパ置場
天井・壁 リシン吹付
(3ヵ所より採取)
管理棟 1F ロッカー室
設備 配管エルボ保温材
試料採取位置(3ヵ所より採取)
:管理棟 外壁 吹付タイル
:管理棟 3F 和室 壁 ジュラク塗＋石膏ボード(2重張)
:管理棟 3～2F 階段室 段裏 リシン吹付
2 階 平 面 図
4 階 平 面 図
1 階 平 面 図
3 階 平 面 図
平 面 図
32129
KZB-01-H9061
三菱重工業株式会社 横浜造船所



<凡例>

1. ▨ は改修範囲を示す。
2. (3-a) は A-07 工事項目表の改修工事 ③ の ⓐ を参照のこと。

本図面及びこれに含まれる一切の情報の所有権は当社もしくは三菱重工業株式会社に帰属しますので、当社の文書による承諾を得た場合を除き、必ず次の事項を守って下さい。
(1) 許可なく複製・改竄・その他これに類似する行為を行わない。
(2) 許可なく第三者に公表・開示しない。
(3) 許可なく指定された用途以外に使用しない。
三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)

協議	熱エネルギー部 長寿命化計画グループ	建設石名城クリーンセンターごみ処理施設基幹的設備改良工事	
設計	検図	新図	配置図（改修図）
尺度 1/200			
工事番号 CS110003699	図番 熱工−GOA104601−00541		
三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社			

P/M